

書評 201806



地名

露口 啓二 著
赤々舎

アイヌ語に起源を持つと言われている北海道の「地名」。その起源の根拠を、目を隔てて撮影した2枚続きのパノラマ的風景写真で視覚化した写真集。地名にはアイヌ語の音をローマ字で併記し、当該のアイヌ語の意味も付記する。

2018:2./ 1冊(ページ付なし)

978-4-86541-080-8

本体 ¥5,000+税



産経新聞 2018/06/02



困難な結婚

内田 樹 著
アルテスパブリッシング

結婚するのはなんのためか? 他人とうまく暮らすには? 結婚を続けるには? 結婚できない理由や、結婚式の本質、夫婦間コミュニケーションを巡る諸問題などについて綴った、「真に役立つ」結婚論。

2016:7./ 266p

978-4-86559-139-2

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/06/02



学年誌が伝えた子ども文化史<昭和50?64年編>(ワンダーライフスペシャル)

小学館

昭和のニュースと流行と人物を、学年誌とともに振り返る。昭和50?64年編では、新東京国際空港や青函トンネルの完成、東京ディズニーランドの開園、スーパーカーブーム、ファミコン等を取り上げる。

2018:5./ 103p

978-4-09-106615-2

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2018/06/03



隠蔽人類

鳥飼 否宇 著
光文社

アマゾン奥地で日本調査団が新種の人類を発見した。しかし、世紀の大発見は、恐るべき大量殺人の幕開けだった…。皮肉と逆説をはらんで疾走する、驚愕のミステリー。『ジャーロ』掲載を単行本化。

2018:4./ 254p

978-4-334-91216-1

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/06/03



100年後の世界~SF映画から考えるテクノロジーと社会の未来~(DOJIN選書76)

鈴木 貴之 著
化学同人

気鋭の哲学者が、生殖医療、遺伝子操作、サイボーグ、不老長寿、人工知能、仮想現実などを取り上げ、それぞれのテクノロジーの現状を整理。SF映画も参照しながら、テクノロジーと社会の関係を予測する。「問い」も収録。

2018:5./ 246p

978-4-7598-1676-1

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2018/06/03

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2018年6月時点での税抜価格です。



ピーターラビットの仲間たち写真集

菜十木 ゆき 著

辰巳出版

ウサギ、リス、キツネ、アヒル、ネコ、ブタ…。ピーターラビットの作者、ビアトリクス・ポターが愛した湖水地方など、イギリスの自然の中で生き生きと暮らす動物たちの姿を撮影した写真集。

産経新聞 2018/06/03

2018:5./ 1冊(ページ付なし)

978-4-7778-2082-5

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 7 7 7 8 2 0 8 2 5 *



誰でもない(韓国文学のオクリモノ)

ファン ジョンウン、斎藤 真理子 著

晶文社

韓国で現在最も期待される作家、ファン・ジョンウンの短編集。恋人をなくした老婦人や、非正規労働で未来に希望を見出せない若者など、今をかろうじて生きる人々の切なく、まがまがしいまでの日常を描いた8つの物語を収録。

産経新聞 2018/06/03

2018:1./ 253p

978-4-7949-6987-3

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 7 9 4 9 6 9 8 7 3 *



「海道東征」とは何か

新保 祐司 著

藤原書店

昭和15年に北原白秋と信時潔によって生み出された、初代天皇・神武天皇の東征を題材とした交声曲「海道東征」。この曲がどういうものなのか、戦後の封印からどのような経緯で復活したのかを語る。「海道東征」の歌詞も掲載。

産経新聞 2018/06/03

2018:4./ 206p

978-4-86578-172-4

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 8 6 5 7 8 1 7 2 4 *



100歳の100の知恵

吉沢 久子 著

中央公論新社

100歳の生活評論家が、毎日の生活のなかで見つけた「幸せに生きる方法」や「暮らしのアイデア」「簡単に作れるおいしい料理」などを伝授。前向きな人生になる“お福分け”エッセイ集。

産経新聞 2018/06/03、東京・中日新聞 2018/06/10

2018:4./ 229p

978-4-12-005073-2

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 1 2 0 0 5 0 7 3 2 *



誤解された大統領～フーヴァーと総合安全保障構想～

井口 治夫 著

名古屋大学出版会

大恐慌への対応を批判され、無能とされた大統領フーヴァーの役割やその活動の意義について、人道支援・環境保護などの先駆的政策から再評価。米国政治の群像を鮮やかに捉えるとともに、日本の占領政策にも新たな光を当てる。

産経新聞 2018/06/03、読売新聞 2018/06/17

2018:3./ 6p,366p,48p

978-4-8158-0904-1

本体 ¥5,800+税



* 9 7 8 4 8 1 5 8 0 9 0 4 1 *



司馬さん、みつけました。

山野 博史 著

和泉書院

既刊本未収録の文業に、知友や仕事をめぐる逸話を交え、その風貌姿勢の一端を軽妙に再現する司馬遼太郎追想記。『産経新聞』大阪版、『本の話』ほか掲載を加筆し単行本化。

産経新聞 2018/06/09、朝日新聞 2018/06/10

2018:5./ 202p

978-4-7576-0874-0

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 7 5 7 6 0 8 7 4 0 *



さよなら未来～エディターズ・クロニクル 2010-2017～

若林 恵 著
岩波書店

人文知をコンパスに、勇気を胸に、地図なき未来によりよく迷え! 『WIRED』日本版・前編集長として、21 世紀の最前線に触れてきた著者の思索と発信の軌跡を集成。『WIRED』ほか掲載を書籍化。

2018:4./ 511p
978-4-00-023070-4
本体 ¥2,200+税



産経新聞 2018/06/10



つながりの蔵

椰月 美智子 著
KADOKAWA

幽霊屋敷という噂の、古い蔵がある四葉の家で、遼子と美音は放課後よく遊ぶようになった。小学校 5 年生の少女たちは、それぞれの心に“哀しみ”を抱えていて…。『小説屋 sari-sari』連載に加筆修正し単行本化。

2018:4./ 216p
978-4-04-106757-4
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/06/10



わかって下さい

藤田 宜永 著
新潮社

恋の熾火にふと気づいて、掻き廻したくなる時。たまさか出会った相手に、自分の過去を重ねてみるとき…。ジンワリ来る珠玉の短篇全 6 篇を収録する。『小説新潮』掲載を単行本化。

2018:3./ 252p
978-4-10-411707-9
本体 ¥1,700+税



産経新聞 2018/06/10



素子の碁～サルスベリがとまらない～

新井 素子 著
中央公論新社

弱い人の話も聞いて! 40 歳を過ぎてから囲碁を始めた小説家・新井素子による、解説コラムも付した囲碁エッセイ。何が判らなくて、どんなことに苦労したのかを綴る。『週刊碁』連載を大幅加筆して単行本化。

2018:3./ 293p
978-4-12-005063-3
本体 ¥1,700+税



産経新聞 2018/06/10



歌舞伎座の快人～1984 年の團十郎、猿之助、仁左衛門、玉三郎、勘三郎～

松島 奈巳 著
淡交社

1984 年、日本が大きく変わりつつあるバブル前夜に歌舞伎界では何が起こっていたのか? 歌舞伎黄金期である 1984 年?1988 年の特定の公演と役者をピックアップし、編年体で綴った回想録。恣意的年表も掲載。

2018:4./ 255p
978-4-473-04249-1
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/06/10



メディアは死んでいた～検証北朝鮮拉致報道～

阿部 雅美 著
産経新聞出版

40 年前、拉致事件を発掘し、21 年前、横田めぐみさん拉致疑惑を初報した新聞記者が、取材の経過を辿り、マスメディアが拉致をどう報じたか、報じなかったか、事実にして綴る。『産経新聞』連載を大幅に加筆し書籍化。

2018:5./ 289p
978-4-8191-1339-7
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/06/10



ロシアの躁と鬱～ビジネス体験から覗いたロシア～

中尾 ちゑこ 著
成文社

社会主義から資本主義へ、統制経済から自由経済へ。1990年のクーデター直後、混乱の渦中にあったロシアのビジネスに徒手空拳、直感を頼りに乗り込んだ著者が、その目に映ったロシア、ロシア人たちを赤裸々に描く。

2018:5./ 198p
978-4-86520-028-7
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/06/10



銀幕に愛をこめて～ぼくはゴジラの同期生～

宝田 明、のむみち 著
筑摩書房

過酷な戦争体験、涙したゴジラ第1作、石原裕次郎、美空ひばりら往年のスターとの交遊、名監督たちの思い出、舞台ミュージカルにかけた夢…。大スター宝田明が、60数年に及ぶ役者人生のすべてを語りつくす。

2018:5./ 297p,10p
978-4-480-81543-9
本体 ¥2,000+税



産経新聞 2018/06/10、朝日新聞 2018/06/30



はかれないものはかる

工藤 あゆみ 著
青幻舎

元気な日のサイズを測る、あなたの励ましの効力をはかる、本能と理性の温度差を計る、恋のわか雨の雨量を測る…。数字では表せない感情や言葉、出来事の質や重みを、一行詩とユーモラスな絵で紡ぐ。本体は背表紙なし糸綴じ。

2018:4./ 1冊(ページ付なし)
978-4-86152-673-2
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/06/16



未来の年表<2> 人口減少日本であなたに起きること(講談社現代新書 2475)

河合 雅司 著
講談社

東京や大阪の繁華街に出現する幽霊屋敷、続出する灯油難民-。人口減少日本で起きることを家庭、職場、地域社会といったトピックに分け、図表を交えて解説。今からできる対策も提示する。折り込みの「人口減少カタログ」付き。

2018:5./ 238p
978-4-06-511768-2
本体 ¥840+税



産経新聞 2018/06/17



うかれ女島

花房 観音 著
新潮社

主婦、女優、一流企業のOL。死んだはずの女から、手紙が届く。彼女たちの共通点は「売春島」で体を売っていたということ-。性と欲望を、禁忌を、恍惚を、人間の尊さと愚かさを謳いあげた小説。

2018:5./ 262p
978-4-10-351821-1
本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/06/17



辺境の思想～日本と香港から考える～

福嶋 亮大、張 彘【マン】 著
文藝春秋

西洋の近代性は綻びつつある。「中心」が力を失ったいま、未来のヒントはどこにあるのか-。日本の文芸評論家と、香港の社会学者・日本研究者による、日本と香港という2つの辺境で交わされた往復書簡の記録。

2018:5./ 331p
978-4-16-390830-4
本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/06/17



明日への一步

津村 節子 著
河出書房新社

文学を志した若き日々、愛おしい故郷、懐かしき師と友。遙かなる歳月を心に抱き、あらたな一步を踏みしめる人生の旅路…。全 41 篇のエッセイを収録。『オール讀物』『季刊文科』ほか掲載を単行本化。

産経新聞 2018/06/17

2018:4./ 203p
978-4-309-02664-0
本体 ¥1,600+税



よく生き、よく死ぬための仏教入門～「神仏和合」の修験道ならではの智恵～(扶桑社新書 266)

田中 利典 著
扶桑社

逝く前に知っておくべき仏教のことは？ 日本独自の「神仏和合」=修験道の僧侶が、日本ならではの死生観、弔いのこころ、そして仏教の基本的なことを説く。著者が塾頭を務める勉強会をもとに書籍化。

産経新聞 2018/06/17

2018:4./ 190p
978-4-594-07948-2
本体 ¥850+税



宮沢賢治の元素図鑑～作品を彩る元素と鉱物～

桜井 弘 著
化学同人

小学生のころ石集めに夢中だった宮沢賢治は科学者になり、石や元素など自然科学に関する知識を深めつつ、たくさんの詩や童話を書いた。宮沢賢治の作品に出てくる 45 の元素と鉱物などを解説する。

産経新聞 2018/06/17

2018:6./ 159p
978-4-7598-1966-3
本体 ¥1,600+税



ねみみにみみず

東江 一紀、越前 敏弥 編
東江 一紀 著
作品社

迫りくる締切地獄で七転八倒しながらも、言葉とパチンコと競馬に真摯に向き合い、200 冊を超える訳書を生んだ翻訳の巨人、東江一紀。その日常と知られざる生態、翻訳哲学を明かすエッセイ集。

産経新聞 2018/06/17

2018:4./ 256p
978-4-86182-697-9
本体 ¥1,800+税



日本代表を、生きる。～「6月の軌跡」の20年後を追って～

増島 みどり 著
文藝春秋

日本が W 杯初出場を果たした 1998 年フランス大会から 20 年。「日本代表」の物語は終わっていなかった。岡田武史、中山雅史、川口能活など、当時の選手やスタッフが歩んだ様々な人生を丹念に辿る。

産経新聞 2018/06/17、毎日新聞 2018/06/24

2018:6./ 309p
978-4-16-390845-8
本体 ¥1,750+税





日の出

佐川 光晴 著
集英社

明治末、13歳の清作は徴兵から逃れ故郷を飛び出す。一方、清作を曾祖父にもつ現代の女子大生・あさひは、教師を目指し猛勉強中だった。時代をへだてたふたりの希望の光が、小さく輝きはじめ…。『すばる』掲載を単行本化。

産経新聞 2018/06/23

2018:5./ 276p
978-4-08-771140-0

本体 ¥1,600+税



デイス・イズ・ザ・デイ

津村 記久子 著
朝日新聞出版

ファンたちはそれぞれの思いを抱いて最後の試合の「その日」に向かう。人間関係に悩む会社員、再会した祖母と孫…普通の人々のかけがえのない喜びを、サッカーを通して鮮やかに描き出す連作短編集。『朝日新聞』連載に加筆。

産経新聞 2018/06/24

2018:6./ 366p
978-4-02-251548-3

本体 ¥1,600+税



おばあちゃんのごめんねリスト

フレドリック・バックマン、坂本 あおい 著
早川書房

唯一の味方だった祖母を亡くした7歳の少女エルサ。遺言にしたがって祖母の謝罪の手紙を持ち、様々な人々を訪ねるうちに、知らなかった祖母の姿と、自分を取り巻く強い絆を知り…。心温まる物語。

産経新聞 2018/06/24

2018:3./ 486p
978-4-15-209750-7

本体 ¥2,200+税



ぼく、おたまじゃくし?

田島 征三 著
佼成出版社

ぼくはおたまじゃくし!なのにいつまでたっても、足も手も生えてきません。仲間みんな池から出ていき、ぼくはひとりぼっちになってしまい…。大胆なタッチと鮮やかな色彩で身近な水生動物を描いた、夏にぴったりの絵本。

産経新聞 2018/06/24

2018:6./ 32p
978-4-333-02778-1

本体 ¥1,300+税



新選組の料理人

門井 慶喜 著
光文社

京の大火で長屋を焼かれ、妻子ともはぐれた浪人・鉢四郎は、ふとしたきっかけで、まかない専門として新選組に入隊することになり…。新選組の知られざる内証を生き活きと描く。『小説宝石』掲載を単行本化。

産経新聞 2018/06/24

2018:5./ 331p
978-4-334-91222-2

本体 ¥1,500+税



日本で楽しむ「世界の絶景」(PHP文庫 35-1)

日本絶景研究会 著
PHP研究所

わざわざ海外に行かなくていい! 千葉県「ウユニ塩湖」、兵庫県「マチュピチュ」など、世界の絶景に「瓜二つ」の日本の景観を、美しいカラー写真とともに紹介する。旅先を決める時にも役に立つ一冊。

産経新聞 2018/06/24

2018:5./ 205p
978-4-569-76831-1

本体 ¥820+税





蜂と蟻に刺されてみた～「痛さ」からわかった毒針昆虫のヒミツ～

ジャスティン・O.シュミット、今西 康子 著

白揚社

虫刺されの痛さを数値化した「シュミット指数」の生みの親が、ハチ・アリ 82 種に刺された体験談を交えながら、進化の視点からその防衛戦略をひもとく。毒針をもつ昆虫に刺されたときの痛さ一覧付き。

2018:6./ 366p

978-4-8269-0202-1

本体 ¥2,500+税



* 9 7 8 4 8 2 6 9 0 2 0 2 1 *

産経新聞 2018/06/24



グルジア映画への旅～映画の王国ジョージアの人と文化をたずねて～

はらだ たけひで 著

未知谷

24 歳の頃に出会った 1 本の映画、「ピロスマニ」が私の人生を変えました。岩波ホールで、数多くのジョージア映画を紹介してきた著者の、約 40 年にわたる映画への旅の軌跡をまとめる。写真も多数収録。

2018:4./ 246p

978-4-89642-548-2

本体 ¥2,200+税



* 9 7 8 4 8 9 6 4 2 5 4 8 2 *

産経新聞 2018/06/24



山東直砥～明治を駆けぬけた紀州人～

中井 けやき 著

百年書房

読み書きが好きで幼いときから漢学塾に通っていたが、8 歳のとき家の事情で貧しくなり…。「陸奥宗光の懐刀」として活躍した、明治維新の縁の下の力持ち、山東直砥の生涯を描く。「明治の一郎 山東直砥」を読みやすく再構成。

2018:4./ 175p

978-4-907081-40-9

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 9 0 7 0 8 1 4 0 9 *

産経新聞 2018/06/24



今こそお寺に言いたいこと～各界第一人者 25 人による～

菅 直人、三浦 雄一郎、横尾 忠則、『月刊住職』編集部 編

菅 直人、三浦 雄一郎、横尾 忠則 著

興山舎

因果応報や魂の話をもっとしてほしい。宗教が形だけでもいいじゃないか…。政治家をはじめ各界で活躍する 25 人の人々が、今日のお寺やお坊さん、仏教に向けて忌憚らない思いや率直な要望を綴る。『月刊住職』掲載を単行本化。

2018:6./ 213p

978-4-908027-61-1

本体 ¥2,500+税



* 9 7 8 4 9 0 8 0 2 7 6 1 1 *

産経新聞 2018/06/24



幸福論～詩集～

若松 英輔 著

叡紀書房

こころに 祈りを与えよ 終わりなき 願望ではなく 彼方からの声を受け容れるための 藍色をした沈黙を(「余白」より) 幸福の小さなきらめきを静かにつむぐ、第 2 詩集。

2018:2./ 114p

978-4-7505-1535-9

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 7 5 0 5 1 5 3 5 9 *

産経新聞 2018/06/30



常世の花 石牟礼道子

若松 英輔 著

叡紀書房

人間を超え、生類へと広がる世界を見つめ続けた石牟礼道子。数々の名著を遺して世を去った作家が、生涯を賭して闘ったものとは何だったのか。親しく交流した批評家が、その精髓に迫る。石牟礼道子との対談も収録。

2018:4./ 175p

978-4-7505-1546-5

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 7 5 0 5 1 5 4 6 5 *

産経新聞 2018/06/30



レ・ミゼラブル<1> 改版(岩波文庫 赤 531-1)

ユーゴー 著
岩波書店

ユーゴーは主人公ジャン・ヴァルジャンの波瀾の一生を描きつつ、貧しい民衆に寄せる限りなき愛情、そして人類社会の進歩へのゆるがぬ確信を表現したのである。三百枚に及ぶ原書挿絵を収録。

1987:4./ 608p
978-4-00-325311-3

本体 ¥960+税



朝日新聞 2018/06/02



壊れる男たち～セクハラはなぜ繰り返されるのか～(岩波新書 新赤版 996)

金子 雅臣 著
岩波書店

男たちはなぜセクハラを繰り返すのか。告発されて「加害者」となった男性たちは、なぜ自らの加害性に無自覚なのだろうか。相談現場で接した多くの当事者の声を通して「セクハラをする男たち」の意識のありようを探る。

2006:2./ 225p

978-4-00-430996-3

本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/06/02



リベラルアーツの学び～理系的思考のすすめ～(岩波ジュニア新書 871)

芳沢 光雄 著
岩波書店

長年にわたり、リベラルアーツ教育に携わってきた著者が、リベラルアーツの学びを紹介。具体的な事例をあげながら、論理的に考え、幅広い視野を養う学びのあり方を語る。

2018:4./ 8p,206p

978-4-00-500871-1

本体 ¥860+税



朝日新聞 2018/06/02



ハコヅメ～交番女子の逆襲～(1)(モーニング KC)

泰 三子 著
講談社

辞表を握りしめた新米女性警察官・川合の交番に、なぜか刑事課から超美人の藤部長が配属されてきた。「岡島県警(の男性陣)を絶望におとし入れるコンビの誕生である。理不尽のち愚痴、時々がんばる、誰も見たことのない警察漫画。

2018:4./ 160p

978-4-06-511322-6

本体 ¥570+税



朝日新聞 2018/06/02



本日の高座～演芸写真家が見つめる現在と未来～<<この芸を見よ いまの名人、未来の看板より改題>>

橘 蓮二 著
講談社

何千年、何万年もの時を経て星の光が届くように、演芸界の新星たちは、きょうの、そして未来のお客様の心に届けと、光を放ち続けている。これからの落語界、演芸界を担う数多くの若手芸人を写し撮り、想いを添えた写真集。

2018:5./ 253p

978-4-06-511993-8

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/06/02



後宮の鳥(集英社オレンジ文庫 し 1-10)

白川 紺子 著
集英社

妃でありながら夜伽をすることのない、「鳥妃」と呼ばれる特別な妃。不思議な術を使い、呪殺から失せ物さがしまで、何でも引き受けてくれるという。しかし、その正体が暴かれるとき、歴史をも覆す「禁忌」に触れることに...

2018:4./ 318p

978-4-08-680188-1

本体 ¥600+税



朝日新聞 2018/06/02



部長、その恋愛はセクハラです！(集英社新書 0696B)

牟田 和恵 著
集英社

多くのセクハラは、恋愛とのグレーゾーンで発生する。なぜ女性はノーと言わないのか。訴えられたらどうすればいいのか。セクハラ問題の第一人者が、豊富な具体例を紹介しつつ、男が嵌りやすい勘違いの構図をあぶりだす。

2013:6./ 219p
978-4-08-720696-8
本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/06/02



国体論~菊と星条旗~(集英社新書 0928)

白井 聡 著
集英社

「戦後の国体」とは、天皇制というピラミッドの頂点に、アメリカを鎮座させたものだ。なぜかとも奇妙な「国体」が生まれたのか。「戦後の国体」はわれわれをどこに導くのか。白井聡が、日本の深層を明らかにする。

2018:4./ 347p
978-4-08-721028-6
本体 ¥940+税



朝日新聞 2018/06/02



一発屋芸人列伝

山田ルイ 53 世 著
新潮社

「消えた」「死んだ」と揶揄されがちな一発屋。彼らは今この瞬間も、精一杯足?きながら生き続けている。一度?んだ栄光を手放した人間の“その後”に、「髭男爵」の山田ルイ 53 世が迫る。『新潮 45』連載に加筆修正。

2018:5./ 236p
978-4-10-351921-8
本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/06/02



ユナイテッド・ステイツ・オブ・ジャパン<上>(ハヤカワ文庫 SF 2098)

ピーター・トライアス 著
早川書房

第二次大戦で日独が勝利し、アメリカ西海岸は日本の統治下にある世界。帝国陸軍の石村大尉は、かつての上官であり、軍事ゲーム開発の第一人者である六浦賀が、消息を絶っていることを知らされ…。単行本も同時刊行。

2016:10./ 308p
978-4-15-012098-6
本体 ¥700+税



朝日新聞 2018/06/02



ユナイテッド・ステイツ・オブ・ジャパン<下>(ハヤカワ文庫 SF 2099)

ピーター・トライアス 著
早川書房

先の大戦で日独が負けた改変歴史世界を舞台とするゲームを開発し、アメリカ人抵抗組織に協力している六浦賀将軍。彼を追う石村大尉は、行く手を阻む敵メカを撃破し、抵抗組織の本拠地へ向かうのだが…。単行本も同時刊行。

2016:10./ 287p
978-4-15-012099-3
本体 ¥700+税



朝日新聞 2018/06/02



メカ・サムライ・エンパイア<上>(ハヤカワ文庫 SF 2179)

ピーター・トライアス、中原 尚哉 著
早川書房

大日本帝国統治下のアメリカ西海岸の「日本合衆国」。軍人の両親を失った二本誠は、皇国機甲軍の巨大ロボット「メカ」のパイロットをめざすが…。「ユナイテッド・ステイツ・オブ・ジャパン」の続篇。単行本も同時刊行。

2018:4./ 314p
978-4-15-012179-2
本体 ¥720+税



朝日新聞 2018/06/02



メカ・サムライ・エンパイア<下>(ハヤカワ文庫 SF 2180)

ピーター・トライアス、中原 尚哉 著

早川書房

メカパイロットになるための苛酷な訓練が続くなか、誠は旧友のドイツ人留学生グゼルダと再会。だが、ドイツと日本合衆国の関係は不安定で...。「ユナイテッド・ステイツ・オブ・ジャパン」の続篇。単行本も同時刊行。

2018:4./ 334p

978-4-15-012180-8

本体 ¥720+税



朝日新聞 2018/06/02



ブラックボックス

伊藤 詩織 著

文藝春秋

信頼していた人物からの、思いもよらない行為。しかし、その事実を証明するには、あらゆるところに“ブラックボックス”があった...。レイプ被害に遭ったジャーナリストが、自ら被害者を取り巻く現状に迫るノンフィクション。

2017:10./ 255p

978-4-16-390782-6

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/06/02



日本の分断～切り離される非大卒若者たち～(光文社新書 945)

吉川 徹 著

光文社

団塊世代の退出後、見えてくるのは新たな分断社会の姿だった-。計量社会学者が最新の社会調査データを元に、大卒層と非大卒層の分断の深刻さに注目しながら、社会を支える現役世代の意識と分断の実態を描き出す。

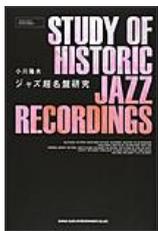
2018:4./ 262p

978-4-334-04351-3

本体 ¥860+税



朝日新聞 2018/06/02



ジャズ超名盤研究

小川 隆夫 著

シンコーミュージック

ビリー・ホリデイ、マイルス・デイヴィス、ジョン・コルトレン...。ジャズ・ファンなら誰もが一度は聴いておくべき名盤中の名盤を選び、さまざまな角度から徹底的に紹介する。『スイングジャーナル』連載を単行本化。

2018:5./ 463p

978-4-401-64605-0

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/06/02



宇宙ビジネスの衝撃～21世紀の黄金をめぐる新時代のゴールドラッシュ～

大貫 美鈴 著

ダイヤモンド社

スペース X、グーグル、アマゾン、フェイスブック、マイクロソフト、アップル...。なぜ、ITの巨人たちは宇宙に巨額投資するのか? 清水建設宇宙開発室、JAXA 出身の著者が、宇宙ビジネスの最前線を明かす。

2018:5./ 257p

978-4-478-06810-6

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/06/02



世界一美しい人体の教科書～カラー新書～(ちくまプリマー新書 297)

坂井 建雄 著

筑摩書房

いまだ解き明かされない神秘に満ち溢れた人体。第一線の研究と、光学顕微鏡や走査顕微鏡をはじめとする最新鋭の技術で撮影した 100 枚の超マイクロカラー写真で、主要な臓器の成り立ちと働きをわかりやすく解説する。

2018:4./ 191p

978-4-480-68322-9

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/06/02



完全犯罪～加田伶太郎全集～(創元推理文庫 M ふ 8-1)

福永 武彦 著
東京創元社

資産家が住まう洋館に届いた英文の脅迫状と、奇怪な密室殺人-。迷宮入になった事件を巡って 4 人の男が推理を競う「完全犯罪」ほか、幻の推理作家・加田伶太郎=文学者・福永武彦が謎解きの粋を凝らした全 8 編を収める。

2018:4./ 449p
978-4-488-47811-7
本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/06/02



ナチズムに囚われた子どもたち～人種主義が踏みにじった欧州と家族～<上>

リン・H.ニコラス、若林 美佐知 著
白水社

「子どもは国民の最も貴重な宝」という「わが闘争」の宣言の一方で、「人種的に望ましくない」人々への迫害が横行する世界。ヒトラーの人種主義が子どもたちと家族に課した過酷な処遇を、歴史家が包括的に論じる。

2018:3./ 384p,27p
978-4-560-09618-5
本体 ¥4,800+税



朝日新聞 2018/06/02



ナチズムに囚われた子どもたち～人種主義が踏みにじった欧州と家族～<下>

リン・H.ニコラス、若林 美佐知 著
白水社

純粋な民族に属する身体的に完璧な人々によって支配され、人種的に受け入れ難く、経済的に役に立たない者は排除される-。ヒトラーの人種主義が子どもたちと家族に課した過酷な処遇を、歴史家が包括的に論じる。

2018:3./ 409p,53p
978-4-560-09619-2
本体 ¥5,200+税



朝日新聞 2018/06/02



国策紙芝居からみる日本の戦争(神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センター研究成果報告書 第3期)

安田 常雄 著
勉誠出版

戦時中、1000 種類以上も作成されたという「国策紙芝居」は、銃後の子どもたちに何を伝えたのか。現存する紙芝居約 240 点をフルカラーで掲載し、あらすじを紹介するとともに制作の背景に迫る。所蔵を網羅したリスト付き。

2018:3./ 5p,463p
978-4-585-27044-7
本体 ¥6,000+税



朝日新聞 2018/06/02



はじまりのひ～写真絵本～

かわうち りんこ 著
求龍堂

いのちがひとつ生まれることと、いのちがひとつ終わることは、どこかでつながっている-。写真家・川内倫子が、出産、そして母になる体験を通して芽生えた気づきを短い言葉と写真で綴り、絵本仕立てにした一冊。

2018:5./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-7630-1809-0
本体 ¥2,315+税



朝日新聞 2018/06/02



公開性の根源～秘密政治の系譜学～

大竹 弘二 著
太田出版

公開された情報の真偽がわからなくなり、「ポスト真実」に政治が翻弄される現代。公開性とは何か。近代国家、近代政治の起源にまで遡り、公開性の根源にある秘密政治の系譜を解明する。『at プラス』連載を単行本化。

2018:4./ 548p,8p
978-4-7783-1600-6
本体 ¥4,600+税



朝日新聞 2018/06/02



青春 1968

石黒 健治 著
彩流社

1968年の『アサヒカメラ』連載や、『アサヒグラフ』『婦人公論』等に発表した写真を集成。激動の時代の“主役”とも言うべき、当時のスターの若き日の肖像を俯瞰できる写真集。見返しに写真あり。

朝日新聞 2018/06/02

2018:4./ 183p

978-4-7791-2453-2

本体 ¥3,200+税



人新世とは何か〜<地球と人類の時代>の思想史〜

クリストフ・ボヌイユ、ジャン＝バティスト・フレソズ、野坂 しおり 著
青土社

<人新世>を思考することは、地球システム科学のデータやモデルが、地質学的な時間スケールで異常を示していることを受け止めることである。人類の新たな生存の条件<人新世>の全貌を明らかにする。

朝日新聞 2018/06/02

2018:3./ 416p,5p

978-4-7917-7046-5

本体 ¥3,200+税



進歩〜人類の未来が明るい10の理由〜

ヨハン・ノルベリ、山形 浩生 著
晶文社

ニュースやメディアが書き立てるネガティブな終末世界は本当か? 反グローバリズム運動への批判を展開してきたスウェーデンの歴史家が、明快なデータとエピソードで、明るい未来への指針を示す。

朝日新聞 2018/06/02

2018:4./ 342p

978-4-7949-6997-2

本体 ¥1,850+税



百年の《泉》〜便器が芸術になるとき〜

京都国立近代美術館 編
LIXIL出版

フランス出身のアーティスト、マルセル・デュシャンの作品「泉」(=男性用小便器)を多視点から検証。京都国立近代美術館の展覧会でのインスタレーション風景、キュレーターによる解説文とトークの内容などを収録。

朝日新聞 2018/06/02

2018:3./ 255p

978-4-86480-035-8

本体 ¥2,400+税



キネマトグラフィカ

古内 一絵 著
東京創元社

老舗映画会社に新卒入社した“平成元年組”6人の男女が、2018年春、ある地方の映画館で再会する。今はそれぞれの道を歩む彼らは、思い出の映画を鑑賞しながら26年前の“全国フィルムリレー”に思いを馳せ…。

朝日新聞 2018/06/02、産経新聞 2018/06/03

2018:4./ 296p

978-4-488-02785-8

本体 ¥1,600+税



県立!再チャレンジ高校〜生徒が人生をやり直せる学校〜(講談社現代新書2477)

黒川 祥子 著
講談社

貧困、生活保護、虐待、ひとり親-。「底辺校」「課題集中校」「教育困難校」などと形容される高校で、困難な境遇で生きざるを得なかった子どもたちを、全力で身体を張って、命を懸けて支え続けてきた教師たちの闘いの記録。

朝日新聞 2018/06/02、読売新聞 2018/06/03

2018:4./ 309p

978-4-06-288477-8

本体 ¥880+税





世界図書館遺産～壮麗なるクラシックライブラリー23 選～

ギョーム・ド・ロビエ、ジャック・ボセ、遠藤 ゆかり 著

創元社

フランスの建築写真の第一人者が、ヨーロッパを中心に世界 12 カ国、計 23 の由緒ある図書館を巡り、絢爛豪華な空間・意匠を約 200 点の美しい写真に収める。それぞれの図書館の成り立ちや歴史をひもとく解説も収録。

2018:5./ 247p

978-4-422-31107-4

本体 ¥4,500+税



朝日新聞 2018/06/02、毎日新聞 2018/06/10



グローバル化する靖国問題～東南アジアからの問い～(岩波現代全書 113)

早瀬 晋三 著

岩波書店

靖国問題が「慰安婦」問題や領土問題などとも連動しながら東アジア全域の歴史問題に変容してゆく過程を、東南アジア各国の英字新聞報道の論調の変遷を辿りながら検証。未来志向の歴史認識の共有と、問題解決の可能性を論じる。

2018:3./ 7p,224p,22p

978-4-00-029213-9

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/06/09



世界史の構造(岩波現代文庫)

柄谷 行人 著

岩波書店

この世界を、どう変えるのか。世界史を交換様式の観点から根本的にとらえ直し、人類社会の秘められた次元を浮かび上がらせる。未来に対する想像力と実践の領域を切り開く、著者の思索の到達点。英語版に基づいて改訂。

2015:1./ 23p,543p

978-4-00-600323-4

本体 ¥1,360+税



朝日新聞 2018/06/09



そのの 100 かいだてのいえ(ビッグブック)

いわい としお 著

偕成社

ある雪の日、おなかを空かせたシジウカラのツピくんは、一粒のひまわりの種を見つけました。ツピくんは、花を咲かせて種を増やそうと考え、植える場所を探して、空へ飛び立ちます。大迫力の長さ1メートル以上の超大型絵本。

2018:1./ 36p

978-4-03-332810-2

本体 ¥9,000+税



朝日新聞 2018/06/09



言葉の魂の哲学(講談社選書メチエ 673)

古田 徹也 著

講談社

「ゲシュタルト崩壊」を扱った中島敦とホーフマンスタールの小説から、ワイトゲンシュタインの言語論、カール・クラウスの言語論までを検証。「生きた言葉」「魂ある言葉」を考える、新しい言語哲学。

2018:4./ 249p

978-4-06-258676-4

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2018/06/09



現代思想の遭難者たち(講談社学術文庫 2364)

いしい ひさいち 著

講談社

これは現代思想の“脱構築”か、それとも哲学への冒険か? フーコー、デリダ、マルクス、フロイトら、思想家たちのエッセンスを?み取り、4 コマ漫画で描く。思想家のプロフィールと勘所をまじめにおさえた注も完備。

2016:5./ 251p

978-4-06-292364-4

本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/06/09



彼女がエスパーだったころ(講談社文庫 み 68-1)

宮内 悠介 著

講談社

百匹目の猿、エスパー、オーギトミー、代替医療...人類の叡智=科学では捉えきれない「超常現象」を通して、人間は「再発見」される。SFの枠を超えたエンターテインメント短編集。

2018:4./ 257p

978-4-06-293894-5

本体 ¥610+税



朝日新聞 2018/06/09



もうひとつの脳～ニューロンを支配する陰の主役「グリア細胞」～(ブルーバックス B-2054)

R.ダグラス・フィールズ 著

講談社

ニューロンの間を埋める梱包材にすぎないと軽視されてきたグリア細胞が、実は神経活動を緻密に制御していた!脳科学を揺るがす革命的発見を報告する。神経科学や医学の最新情報が満載。

2018:4./ 538p

978-4-06-502054-8

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/06/09



ハレのヒ タヌキの良いふるまい<1>(ヤンマガ KC スペシャル)

フジモト 著

講談社

江戸の料理しか食べられないタヌキ少女・マミ(それ以外のものを食べるとタヌキになってしまう!)とクールな女子高生・狐堂くずはのちょっと不思議な同居生活。江戸料理の風味とうんちくを肴に味わう、素直じゃない二人の暮らし。

2018:5./ 144p

978-4-06-511459-9

本体 ¥602+税



朝日新聞 2018/06/09



遣唐使と外交神話～『吉備大臣入唐絵巻』を読む～(集英社新書 0932)

小峯 和明 著

集英社

遣唐使をヒーローとして描いた絵巻はなぜ作られたのか。12世紀末?13世紀初頭に制作された「吉備大臣入唐絵巻」を中心に、伝説化された遣唐使像に託された人々の夢と想い、時代を超えた東アジア異文化交流のあり方を探る。

2018:5./ 222p

978-4-08-721032-3

本体 ¥740+税



朝日新聞 2018/06/09



私の少女マンガ講義

萩尾 望都 著

新潮社

「リボンの騎士」から「大奥」まで、少女マンガの歴史をひもといたイタリアでの講義を、聴衆との質疑応答とともに完全収録。創作作法や新作「春の夢」など、自作についてもたっぷり語り下ろしたハギオモト流少女マンガ論。

2018:3./ 221p

978-4-10-399602-6

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/06/09



定年後～50歳からの生き方、終わり方～(中公新書 2431)

楠木 新 著

中央公論新社

第二の人生をどう充実させたらよいか。シニア社員、定年退職者、地域で活動する人たちへの取材を通じ、定年後に待ち受ける「現実」を明らかにし、真に豊かに生きるためのヒントを提示する。

2017:4./ 11p,221p

978-4-12-102431-2

本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/06/09



日本統治下の朝鮮～統計と実証研究は何を語るか～(中公新書 2482)

木村 光彦 著
中央公論新社

日本による朝鮮の統治は果たして「収奪」一色だったのか? その後の韓国の発展、北朝鮮の社会主義による国家建設と?がりはないのか? 論点を経済に絞り、実証主義に徹し、日本統治時代の朝鮮の実態と変容を描く。

2018:4./ 4p,224p
978-4-12-102482-4
本体 ¥800+税



朝日新聞 2018/06/09



定年準備～人生後半戦の助走と実践～(中公新書 2486)

楠木 新著
中央公論新社

シニア社員や定年退職者への取材を重ねるなかで著者が見聞した、個別的で多彩な事例を紹介し、自分らしい第二の人生を踏み出す上で役立つ具体的ヒントを明かす。「定年準備のための行動六か条」も掲載。「定年後」の実践編。

2018:5./ 4p,251p
978-4-12-102486-2
本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/06/09



未必のマグベス(ハヤカワ文庫 JA 1294)

早瀬 耕 著
早川書房

バンコクでの商談を成功させた中井優一は、澳門(マカオ)の娼婦から「あなたは王として旅を続けなくてはならない」と予言めいた言葉を告げられる。やがて香港の子会社に出向するが…。異色の犯罪小説にして痛切なる恋愛小説。

2017:9./ 613p
978-4-15-031294-7
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/06/09



知ってるつもり～無知の科学～

ステイブン・スローマン、フィリップ・ファーンバック、土方 奈美 著
早川書房

人はなぜ、自らの理解度を過大評価してしまうのか? 気鋭の認知科学者コンビが、行動経済学から人工知能まで各分野の研究結果を総動員して、人間の「知ってるつもり」の正体と、知性の本質に挑む。

2018:4./ 310p
978-4-15-209757-6
本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2018/06/09



自我論集(ちくま学芸文庫)

ジークムント・フロイト 著
筑摩書房

朝日新聞 2018/06/09

1996:6./ 360p
978-4-480-08249-7
本体 ¥1,200+税



社会科学としての経済学(ちくま学芸文庫 ウ 26-2)

宇野 弘蔵 著
筑摩書房

経済学が取り組むべき根本課題から語り起こし、自然科学と社会科学の違い、マルクス理論の核心を踏まえうえて、三段階論に代表される宇野弘蔵自らの理論を紹介。マルクスの一連の著作をコンパクトにまとめた論考も収録。

2016:6./ 350p
978-4-480-09730-9
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/06/09



脇役本 増補文庫版(ちくま文庫 は49-1)

浜田 研吾 著
筑摩書房

細川ちか子のインタビュー本、高橋豊子のパリ本、中村是好の盆栽本、龍岡晋の句集、宮口精二のミニコミ誌…。歌舞伎、新派、映画、テレビなどで活躍した「脇役のうまい」日本人俳優たちの著作を紹介する。

2018:4./ 542p
978-4-480-43494-4
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/06/09



ニュルンベルク合流〜「ジェノサイド」と「人道に対する罪」の起源〜

フィリップ・サンズ、園部 哲 著
白水社

2人のユダヤ系法学者とナチスの法律家ハンス・フランク。それぞれの人生と運命が交錯し、戦後のニュルンベルク裁判へ。ホロコーストの新たな稜線を描く、英国の勅撰弁護士・国際法学者によるノンフィクション。

2018:4./ 563p,57p
978-4-560-09625-3
本体 ¥5,200+税



朝日新聞 2018/06/09



ルイ・ボナパルトのブリュメール18日〜初版〜(平凡社ライブラリー)

カール・マルクス 著
平凡社

共和制下のフランスで、ルイ・ナポレオンのクーデタが成功し、しかも、この独裁権力が国民投票で圧倒的な支持を得たのはなぜか?この問いをめぐるマルクスの自由で闊達な考察。柄谷行人「表象と反復」も収録。

2008:9./ 317p
978-4-582-76649-3
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/06/09



革命〜仏大統領マクロンの思想と政策〜

エマニュエル・マクロン、山本 知子、松永 りえ 著
ポプラ社

思想の核を形成した幼少期?青年期、フランス再興戦略、テロやさまざまなリスクとの向き合い方、欧州の政治・経済の展望…。フランス史上最年少のマクロン大統領が、その生い立ち、理想とするフランスのあり方などを語る。

2018:4./ 373p
978-4-591-15835-7
本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2018/06/09



少しだけ「政治」を考えよう!〜若者が変える社会〜

フェリス女学院大学シティズンシップ教育グループ、島村 輝、小ヶ谷 千穂、渡辺 信二 著

松柏社

「政治」とはなんのためにあるのか。誰のためにあるのか、そして、「社会」は変えることができるのか。フェリス女学院大学の教員有志が、こうした根源的な問いに若者が自分なりの答えを探すためのヒントを伝える。

2018:4./ 5p,197p
978-4-7754-0249-8
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/06/09



マヤ探検記〜人類史を書きかえた偉大なる冒険〜<上>

ウィリアム・カールセン、森 夏樹 著
青土社

古代の遺跡に魅せられた男達は、いつしか固い絆で結ばれて、それぞれの夢を中央アメリカの熱帯雨林に見出した。それは、まさに命をかけた冒険だった。マヤ考古学者の先駆けと称される2人の探検家の波乱に満ちた生涯を描く。

2018:4./ 338p 図版
16p
978-4-7917-7060-1
本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2018/06/09



マヤ探検記～人類史を書きかえた偉大なる冒険～<下>

ウィリアム・カールセン、森 夏樹 著
青土社

密林のジャングルで男達が見たものは、誰も想像すらしていなかった高度な文明の痕跡だった。歴史を刷新する成果をあげた彼らは、次の夢へと突き進み…。マヤ考古学者の先駆けと称される2人の探検家の波乱に満ちた生涯を描く。

2018:4./ 391p,7p
978-4-7917-7061-8
本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2018/06/09



企業不祥事典<2> ケーススタディ 2007-2017

日外アソシエーツ株式会社 編
結城 智里 著
日外アソシエーツ

企業の不祥事の記録。2007年から2017年までの代表事例100件と、関連する事例215件を収録し、事件の背景、発端、その後の経緯、会社の対応、警察・検察の動き、裁判等を詳述する。

2018:5./ 10p,390p
978-4-8169-2717-1
本体 ¥5,550+税



朝日新聞 2018/06/09



エマニュエル・マクロン～フランス大統領に上り詰めた完璧な青年～

アンヌ・フルダ、加藤 かおり 著
プレジデント社

フランス大統領エマニュエル・マクロンとは、いったいどんな人物なのか。欧州の超名門投資銀行勤務を経て、颯爽と登場した史上最年少大統領の素顔を、ベテラン政治ジャーナリストが描く。

2018:4./ 287p
978-4-8334-2275-8
本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/06/09



ストレッチ～少ないリソースで思わぬ成果を出す方法～

スコット・ソネンシェイン、三木 俊哉 著
海と月社

「人材」「資金」「ツール」の不足。その制約を逆手にとれ! すでにあるものだけで成果を出す技能「ストレッチ」を、最大限発揮する方法を伝授。すぐに試せる12の「ストレッチ強化トレーニング」も紹介する。

2018:5./ 287p
978-4-903212-64-7
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/06/09



背中の地図～金時鐘詩集～

金 時鐘 著
河出書房新社

私は見ました。ノアの洪水を今に見ました。「夜の深さを共に」より 海があまたの命を浚っていったあの日以来、失われた言葉をまさぐり刻んでいく。伝説と化した在日の詩人が綴る、東日本大震災の悲しみ。

2018:4./ 141p
978-4-309-02679-4
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/06/09、東京・中日新聞 2018/06/17



資本論<1>(岩波文庫 白 125-1)

エンゲルス 編
岩波書店

マルクスが自ら生涯の事業と呼んだ『資本論』。近代資本主義社会の経済的運動法則を徹底的に究明して、経済学を"革命"し、また人間社会に対する見解に完全な変革をもたらして、社会主義を科学的軌道に乗せた不朽の名著。

1969:1./ 307p
978-4-00-341251-0
本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/06/09、毎日新聞 2018/06/17



茂田井武<1> 幻想・エキゾチカ(挿絵叢書 6)

茂田井 武、中村 圭子 編
茂田井 武 著
皓星社

戦後に活躍した童画家として今も多くのファンを持つ茂田井武の戦前・戦中を中心とした画業を撰集。1 は、幻想味の強い変格探偵小説と海外に材を取った作品の挿絵などを収載する。

2018:4./ 297p
978-4-7744-0655-8
本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2018/06/10



飛ぶ孔雀

山尾 悠子 著
文藝春秋

石切り場の事故以来、火が燃えにくくなった世界。庭園の大茶会で火を運ぶ娘たちを孔雀が襲い、大蛇うごめく地下世界を男は遍歴する…。不世出の幻想作家による連作長編小説。『文學界』掲載に、書き下ろしを加える。

2018:5./ 243p
978-4-16-390836-6
本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/06/10、日本経済新聞 2018/06/23



岩波講座日本経済の歴史<1> 中世 11世紀から16世紀後半

深尾 京司、中村 尚史、中林 真幸 編
岩波書店

中世から現代にいたる約 1000 年の日本経済の歩みを、超長期の国内総生産(GDP)の新推定をはじめとする各種データを軸に描く。1 は、本格的な市場経済社会が起こった、11 世紀から 16 世紀後半を取り上げる。

2017:7./ 10p,301p
978-4-00-011401-1
本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2018/06/16



白鯨<上>(岩波文庫)

メルヴィル、八木 敏雄 著
岩波書店
朝日新聞 2018/06/16

2004:8./ 493p
978-4-00-323081-7
本体 ¥1,140+税



白鯨<中>(岩波文庫)

メルヴィル、八木 敏雄 著
岩波書店
朝日新聞 2018/06/16

2004:10./ 495p
978-4-00-323082-4
本体 ¥1,140+税



白鯨<下>(岩波文庫)

メルヴィル、八木敏雄 著
岩波書店
朝日新聞 2018/06/16

2004:12./ 291p
978-4-00-323083-1
本体 ¥1,070+税





終わりと始まり 2.0

池澤 夏樹 著
朝日新聞出版

災害体験の資産化、植民地としての沖縄…。困難を抱える人びとの話に耳を傾け続け、日本の危機、戦争のできる国への変貌を憂える。『朝日新聞』2013年4月?2017年12月に連載の59コラムを書籍化。

朝日新聞 2018/06/16

2018:4./ 254p
978-4-02-251544-5
本体 ¥1,500+税



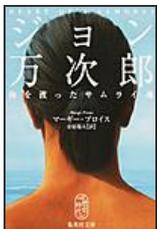
本から本へ(角川ソフィア文庫 L-500-1)

松岡 正剛 著
KADOKAWA

知の巨人・松岡正剛のブックナビゲーションサイト『千夜千冊』を大幅に加筆修正し、テーマ別の見方・読み方で独自に構成・設計するシリーズ。「世界読書の快楽」「書架の森」「読みかた指南」などを収録する。

朝日新聞 2018/06/16

2018:5./ 380p
978-4-04-400352-4
本体 ¥1,280+税



ジョン万次郎～海を渡ったサムライ魂～(集英社文庫 フ 34-1)

マーギー・プロイス、金原 瑞人 著
集英社

アメリカ東部に暮らした初めての日本人、ジョン万次郎が、いじめや差別にくじけることなく、強く生き抜いた秘訣とは? 現地に残された記録や資料をもとに、ジョン万次郎の青春時代を鮮やかに描いた物語。

朝日新聞 2018/06/16

2018:5./ 334p
978-4-08-760750-5
本体 ¥800+税



発達障害と少年犯罪(新潮新書 766)

田淵 俊彦、NNNドキュメント取材班 著
新潮社

発達障害の子はなぜ犯罪に引き込まれてしまうのか? 矯正施設、加害者の少年、精神科医など関係者を徹底取材。敢えてタブーに切り込み、問題解決の方策を提示する。ギャラクシー賞受賞番組「NNNドキュメント」を書籍化。

朝日新聞 2018/06/16

2018:5./ 251p
978-4-10-610766-5
本体 ¥800+税



幕末の小笠原～欧米の捕鯨船で栄えた緑の島～(中公新書)

田中 弘之 著
中央公論新社

朝日新聞 2018/06/16

1997:10./ 273p
978-4-12-101388-0
本体 ¥840+税



川の光(中公文庫 ま 49-1)

松浦 寿輝 著
中央公論新社

せせらぎに守られた川辺の暮らしは、突然の工事で終わりを告げる。新天地を求めて旅に出たネズミー一家は、やがて大冒険をすること。足元で脈動する世界に優しいまなざしを向け、柔らかい魂の手触りを伝える物語。

朝日新聞 2018/06/16

2018:5./ 459p
978-4-12-206582-6
本体 ¥760+税





月の光～川の光外伝～(中公文庫 ま49-2)

松浦 寿輝 著
中央公論新社

その夜、神聖な木のしたに集まった大小の動物たちが、うっとり空を見上げていた。猫のブルー、犬のタミー、ネズミのグレンなど、小説「川の光」の仲間たちが大活躍する短篇7篇を収録する。

2018:6./ 292p
978-4-12-206598-7
本体 ¥700+税



朝日新聞 2018/06/16



ギリシャ・ラテン文学～韻文の系譜をたどる15章～

逸身 喜一郎 著
研究社

ヨーロッパの文化芸術の起源「ギリシャ・ラテン文学」の入門書。「イーリアス」「変身物語」「オイディプース王」など、各ジャンルの代表作を紹介する。最新のパピルス発見の成果も取り上げる。詩人辞典、韻律図解なども収録。

2018:5./ 16p,438p
978-4-327-51001-5
本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2018/06/16



非正規・単身・アラフォー女性～「失われた世代」の絶望と希望～(光文社新書 947)

雨宮 処凛 著
光文社

「失われた20年」とともに生きてきたアラフォー女性の約半数は非正規。お金、結婚、出産、病気、老後、親の介護、孤独といった問題にも直面している女性たちの生の声をまとめる。ライター・栗田隆子との対談も収録。

2018:5./ 229p
978-4-334-04353-7
本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/06/16



好きになった人(ちくま文庫 か73-1)

梯 久美子 著
筑摩書房

老父と娘の旅、子供の居場所、児玉清さんのこと、崖の上の女たち…。忘れられない出来事と、忘れたくない人たち。遠い記憶を呼び起こすエッセイ集。新たに加計呂麻島紀行も収録する。

2018:6./ 275p
978-4-480-43523-1
本体 ¥760+税



朝日新聞 2018/06/16



軌道～福知山線脱線事故 JR 西日本を変えた闘い～

松本 創 著
東洋経済新報社

平成17年4月25日に発生したJR福知山線脱線事故。遺族と加害企業の社長。相反する立場の2人は巨大組織を変えるためにどう闘ったのか。遺族に静かに寄り添うジャーナリストが、13年間の「軌道」を描く。

2018:4./ 365p
978-4-492-22380-2
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/06/16



未来

湊 かなえ 著
双葉社

ある日、10才の章子に突然届いた一通の手紙。送り主は未来の自分、30才の章子だという。信じているあいだは、本物の未来からの手紙。章子はその夜、返事を書き…。書き下ろし長編ミステリー。

2018:5./ 445p
978-4-575-24097-9
本体 ¥1,680+税



朝日新聞 2018/06/16



自分史のすすめ～未来を生きるための文章術～(平凡社新書 879)

小池 新著
平凡社

自分を見つめ直すために、介護現場や被災地で精神的ケアとして、「戦争体験の継承」として、自分の物語を書いてみよう! 書くための準備、見出しの付け方と音読の効用、文章の決まりごととコツなどをわかりやすく伝授する。

2018:5./ 206p
978-4-582-85879-2
本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/06/16



柔のミケランジェロ<1>(ヤングアニマルコミックス)

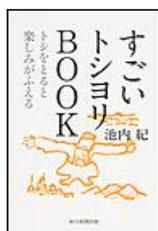
カクイシ シュンスケ 著
白泉社

高校柔道界において「私立」と「公立」の実力格差は広がる一方だった。しかし、その歴史を変える人間が、公立古豪の武橋高校に現れる。その男の正体は...絵画と映画が大好きな陰キャ文系少年・三毛蘭丈だった!?

2018:5./ 192p
978-4-592-16131-8
本体 ¥600+税



朝日新聞 2018/06/16



すごいトシヨリ BOOK～トシをとると楽しみがふえる～

池内 紀 著
毎日新聞出版

人生の楽しみは 70 歳からの「下り坂」にあり! ドイツ文学者・池内紀が、自分の老いと向き合いながら、リタイア後の人生を豊かに生きるための極意を伝える。

2017:8./ 213p
978-4-620-32458-6
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/06/16



田中克彦セレクション<1> カルメンの穴あきつつした

田中 克彦 著
新泉社

知識の世界へようこそ。民族、差別、言語、食べ物、ジプシー(ロマ)、モンゴル...。たたかう言語学者・田中克彦が、半世紀にわたる執筆作品を自身でセレクトした著作集。1 は、自伝的小篇と読書ノートを収録。

2017:11./ 423p
978-4-7877-1821-1
本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2018/06/16



田中克彦セレクション<2> 国やぶれてもことばあり

田中 克彦 著
新泉社

知識の世界へようこそ。民族、差別、言語、食べ物、ジプシー(ロマ)、モンゴル...。たたかう言語学者・田中克彦が、半世紀にわたる執筆作品を自身でセレクトした著作集。2 は、言語一般・日本語に関する論文等を年代順に収録。

2018:5./ 497p
978-4-7877-1822-8
本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2018/06/16



田中克彦セレクション<3> カナリヤは歌をわすれない

田中 克彦 著
新泉社

知識の世界へようこそ。民族、差別、言語、食べ物、ジプシー(ロマ)、モンゴル...。たたかう言語学者・田中克彦が、半世紀にわたる執筆作品を自身でセレクトした著作集。3 は、言語一般・日本語に関する論文等を年代順に収録。

2018:5./ 420p
978-4-7877-1823-5
本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2018/06/16



「発達障害」と言いたがる人たち(SB 新書 437)

香山 リカ 著

SBクリエイティブ

専門外来は受診まで 3 年待ち!? 過熱する「発達障害バブル」の真相とは? 精神科医・香山リカが、生きづらさの原因を「発達障害」に求める人々の心理と時代背景に斬り込む。

2018:6./ 206p

978-4-7973-9341-5

本体 ¥800+税



朝日新聞 2018/06/16



核密約から沖縄問題へ～小笠原返還の政治史～

真崎 翔 著

名古屋大学出版会

小笠原返還は戦後日米関係の小さなエピソードではない。沖縄の基地問題に影を落としたその実像をアメリカの核戦略の変容を手がかりに解明、非対称な交渉過程がもたらした沖縄問題の知られざる起源を照射する。

2017:4./ 4p,201p,61p

978-4-8158-0871-6

本体 ¥4,500+税



朝日新聞 2018/06/16



トレバー・ノア 生まれたことが犯罪!?

トレバー・ノア、齋藤 慎子 著

英治出版

アパルトヘイト体制下の南アフリカで、黒人の母と白人の父の間に生まれた僕は「生まれたことが犯罪」だった。アメリカで活躍するコメディアン、トレバー・ノアが、「笑い」という自由をくれた母親と自身の半生について綴る。

2018:5./ 405p

978-4-86276-257-3

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/06/16



エレベーター・ミュージック・イン・ジャパン～日本の BGM の歴史～

田中 雄二 著

DU BOOKS

喫茶店や商店街で流れている音楽、BGM(バックグラウンド・ミュージック)は、歌謡曲、アニソンと並ぶ日本人の音楽体験の原風景。日本の BGM のはじまりから、アパレルの店内音楽まで、60 年の歴史を総括する。

2018:4./ 206p

978-4-86647-056-6

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/06/16



マイン～総時価総額 100 兆円、利用者数 1 億人。ついに動き出す金融革命。「マイニング経済圏」は世界を変えるのか～

ジョージ・S、中上 分維 著

冬至書房

まったく新しい仮想通貨のビジョン。著者の構想にもとづいて発行された通貨「MINE」をコアとする「マイニング経済圏」について語る。2018 年 1 月に日本で起きた「コインチェック事件」にも触れる。

2018:4./ 239p

978-4-88582-195-0

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/06/16



離島エコツーリズムの社会学～隠岐・西表・小笠原・南大東の日常生活から～(宇都宮大学国際学部国際学叢書 第7巻)

古村 学 著

吉田書店

離島ごとの自然観は、日常生活のなかでの自然との関わりのなかで培われていく。生活環境主義の立場を参考に、離島に暮らす「ふつうの人々」のことばや態度をとおして、離島社会におけるエコツーリズムを考察する。

2015:3./ 7p,274p,13p

978-4-905497-31-8

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/06/16



はじめての沖縄(よりみちパン!セ YP01)

岸 政彦 著
新曜社

沖縄って、どういう場所なのだろう。私たちは、沖縄をどう語るのだろう。沖縄を研究テーマとする社会学者が、はじめて沖縄に出会ったときにさかのぼり、沖縄について、個人的な体験から考えたことを綴る。写真も多数掲載。

2018:5./ 249p
978-4-7885-1562-8

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/06/16、日本経済新聞 2018/06/30



エスカレーション～北朝鮮 vs. 安保理四半世紀の攻防～

藤田 直央 著
岩波書店

冷戦後の世界秩序を揺さぶり続ける北朝鮮。制裁に実効性があるのか、また対話は解決につながるのか。国連安全保障理事会の非公式協議の内容を 1993 年の第一次核危機から振り返る。『朝日新聞』連載を加筆し書籍化。

2017:12./ 5p,248p
978-4-00-022300-3

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/06/23



台湾の若者を知りたい(岩波ジュニア新書 873)

水野 俊平 著
岩波書店

日本と台湾が良好な関係を維持していくためには、日本人が台湾人の日常生活や考え方にもっと関心を持つ必要がある。台湾生まれ台湾育ち、台湾の都市部に住む標準的な若者の生活事情を紹介する。

2018:5./ 14p,207p
978-4-00-500873-5

本体 ¥860+税



朝日新聞 2018/06/23



濟州島四・三事件～「島のくに」の死と再生の物語～(岩波現代文庫)

文 京洙 著
岩波書店

およそ 3 万人の島民が犠牲となった濟州島四・三事件の背景と経緯を示し、その後の事件の問題解決に向けた歩みを紹介する。記憶と歴史を抹殺された四・三事件の復活への闘いを毀された、島共同体の再生ドラマ。

2018:2./ 13p,258p,20p
978-4-00-600377-7

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/06/23



生理ちゃん

小山 健 著
KADOKAWA

「大変なのを生理のせいにはできないから大変なんです」悩める女性たちの元にも、ツキイチで生理ちゃんはやってくる。イタイ、ツライ、メンドクサイを吹き飛ばすほど、笑って泣けちゃう大傑作!

2018:6./ 218p
978-4-04-735237-7

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/06/23



可愛い世の中(講談社文庫 や 66-5)

山崎 ナオコーラ 著
講談社

芳香剤のメーカーで働く地味な会社員、豆子は、自身の結婚式を機に、金銭感覚が人生と共に変化していくことの面白さを発見する。退職して「香りのビジネス」を起こそうと画策するが...

2018:5./ 189p
978-4-06-293909-6

本体 ¥560+税



朝日新聞 2018/06/23



早稲田と慶應の研究(小学館新書 325)

オバタ カズユキ 著

小学館

私学の両雄に今、大きな変化が起きている。バンカラを知らない早大生、ファッション誌の登場回数でワセジョに抜かれた慶應女子、政財界のOB・OG人脈…。卒業後にも及ぶ早慶戦の“昔と今”を、様々な角度から取り上げる。

2018:6./ 269p

978-4-09-825325-8

本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/06/23



介護民俗学という希望～「すまいるほーむ」の物語～(新潮文庫 む-19-1)

六車 由実 著

新潮社

民俗学の「聞き書き」の方法が介護現場を劇的に変えた！ デイサービス施設で利用者への聞き書きを行っている著者が、人が人として尊重される介護のありかたを切り拓く。深い気づきと新鮮な感動に満ちた一冊。

2018:6./ 393p

978-4-10-121446-7

本体 ¥630+税



朝日新聞 2018/06/23



日本軍兵士～アジア・太平洋戦争の現実～(中公新書 2465)

吉田 裕 著

中央公論新社

高率の餓死、戦場での自殺と「処置」、特攻、物資欠乏…。勇猛と語られる日本兵が、凄惨な体験を強いられた戦争の現実とは。兵士の目線・立ち位置から、特に敗色濃厚になった時期以降のアジア・太平洋戦争の実態を追う。

2017:12./ 6p,228p

978-4-12-102465-7

本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/06/23



新貿易立国論(文春新書 1170)

大泉 啓一郎 著

文藝春秋

グローバル時代にふさわしいビジネスモデルとは？ 中国やアジアの新興国・途上国に追い上げられている日本。ビジネスの現場を踏まえて、新しい貿易立国を目指すためのアジアの見方と、その道筋を示す。

2018:5./ 260p

978-4-16-661170-6

本体 ¥880+税



朝日新聞 2018/06/23



幕末横浜オランダ商人見聞録

C.T.アッセンデルフト・デ・コーニング、東郷 えりか 著

河出書房新社

開港直後の横浜の殺伐とした状況、長崎の出島にオランダ商館長がいた当時の堀のなかの楽園の様子…。幕末、開港直後の横浜居留地で貿易商をしていたオランダ人が、当時の日本を驚嘆の目で生き生きと描いた貴重な記録。

2018:4./ 270p

978-4-309-22730-6

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2018/06/23



日本の醜さについて～都市とエゴイズム～(幻冬舎新書 い-30-1)

井上 章一 著

幻冬舎

欧米人とくらべ、集団主義的で協調性のある民族といわれている日本人。だが、街並をくらべると無秩序とエゴにおおわれている。都市景観と歴史から「誰も言わない日本の姿」を論じる。『小説幻冬』連載を加筆し書籍化。

2018:5./ 235p

978-4-344-98498-1

本体 ¥800+税



朝日新聞 2018/06/23



存在と無～現象学的存在論の試み～<1>(ちくま学芸文庫)

ジャン=ポール・サルトル 著

筑摩書房

朝日新聞 2018/06/23

2007:11./ 632p

978-4-480-09106-2

本体 ¥1,800+税



存在と無～現象学的存在論の試み～<2>(ちくま学芸文庫)

ジャン=ポール・サルトル 著

筑摩書房

朝日新聞 2018/06/23

2007:12./ 570p

978-4-480-09107-9

本体 ¥1,700+税



存在と無～現象学的存在論の試み～<3>(ちくま学芸文庫)

ジャン=ポール・サルトル 著

筑摩書房

朝日新聞 2018/06/23

2008:1./ 587p,14p

978-4-480-09108-6

本体 ¥1,800+税



いっぴき(ちくま文庫 た 86-1)

高橋 久美子 著

筑摩書房

文筆家として走り出した高橋久美子の6年間の文章をまとめた書。チャットモンチー脱退から約1年半の間に執筆した「思いつつ、嘆きつつ、走りつつ、」のほか、『愛媛新聞』等に寄稿した随筆、書き下ろしの「いっぴき」を収録。

2018:6./ 346p

978-4-480-43524-8

本体 ¥740+税



朝日新聞 2018/06/23



核戦争の瀬戸際で

ウィリアム・J.ペリー、松谷 基和 著

東京堂出版

核戦争の危機は、冷戦終結とともに消滅したわけではない。60年代のキューバ危機、90年代の北朝鮮危機に深く関与した元アメリカ国防長官が、安穏と暮らす我々へ警鐘を鳴らす。

2018:1./ 318p

978-4-490-20978-5

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/06/23



ニシンの歴史(「食」の図書館)

キャンシー・ハント 著

原書房

戦争の原因や国際的経済同盟形成のきっかけとなるなど、世界の歴史に大きな役割を果たしてきたニシン。食、環境、政治など、人間とニシンの関係を多面的に考察し、日本・世界各地のニシン料理について詳述する。レシピ付き。

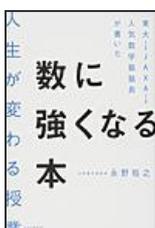
2018:4./ 182p

978-4-562-05554-8

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/06/23



数に強くなる本～東大→JAXA→人気数学塾塾長が書いた～

永野 裕之 著

PHP研究所

数に強いとは「数字を比べる」「数字を作る」「数字の意味がわかる」こと。数に強くなるために必要な知識と理論を、6時限のマンツーマン授業形式で伝授する。

2018:5./ 243p

978-4-569-84083-3

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/06/23



なぜ書きつづけてきたかなぜ沈黙してきたか〜増補(平凡社ライブラリー 828)

文 京洙 編
金 石範、金 時鐘 著
平凡社

1948年4月3日、韓国の濟州島で起きた武装蜂起は、多くが犠牲となるジェノサイドとなった。濟州島四・三事件を書きつづけてきた小説家・金石範と、蜂起に参加しながら沈黙してきた詩人・金時鐘との激烈なる対話。

朝日新聞 2018/06/23

2015:4./ 331p
978-4-582-76828-2
本体 ¥1,400+税



憲法9条へのカタバシス

木庭 顕 著
みすず書房

精緻な9条2項論、ソクラテス・メソッドを駆使して説く憲法改正問題、近代市民社会の基底を問う漱石・?外論…。ローマ法を専門とする碩学が、9条の構造をクリアに見透かす。『法律時報』ほか掲載に書き下ろしを加え書籍化。

朝日新聞 2018/06/23

2018:4./ 217p
978-4-622-08673-4
本体 ¥4,600+税



風刺画で読み解くイギリス宰相列伝〜ウォルポールからメイジャーまで〜

ケネス・ベイカー、松村 昌家 著
ミネルヴァ書房

ロバート・ウォルポールからサッチャー、メイジャーにいたるまで約270年にわたる歴代イギリス宰相の足跡を、多数の風刺画でたどる書。一流の風刺画家たちの作品に込められたユーモアを歴史的背景とともに解説する。

朝日新聞 2018/06/23

2018:5./ 4p,231p
978-4-623-07946-9
本体 ¥3,500+税



そろそろ左派は<経済>を語ろう〜レフト3.0の政治経済学〜

ブレイディみかこ、松尾 匡、北田 暁大 著
亜紀書房

日本のリベラル・左派の躓きの石は、「経済」という下部構造の忘却にあった! アイデンティティ政治を超えて、「経済にデモクラシーを」求めよう! お金と階級、来るべきレフト3.0などをテーマに縦横に語る。

朝日新聞 2018/06/23

2018:4./ 315p
978-4-7505-1544-1
本体 ¥1,700+税



万引き家族

是枝 裕和 著
宝島社

高層マンションの谷間に取り残された平屋に住む、夫婦と息子、妹。彼らの目当ては祖母の年金。足りない生活品は万引きで賄う。家族は「犯罪」でしかつなげなかった…。2018年6月公開映画を監督自らが書き下ろした物語。

朝日新聞 2018/06/23

2018:5./ 276p
978-4-8002-8407-5
本体 ¥1,300+税





東京店構え～マテウシュ・ウルバノヴィチ作品集～

マテウシュ・ウルバノヴィチ、サイドランチ 編
マテウシュ・ウルバノヴィチ 著
エムディエヌコーポレーション

ポーランド出身のイラストレーター、マテウシュ・ウルバノヴィチが東京のレトロで小さなお店をイラストで描いた作品集。メイキングや俯瞰図、建物にまつわるエピソードなども紹介する。ジャケット裏に店舗マップあり。

2018:5./ 157p
978-4-8443-6734-5
本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2018/06/23



かわいいロシアの A to Z～愛おしくて素朴なデザインたち～

井岡 美保 著
青幻舎

豪華さとチープさがミックスしたかわいいロシアのデザイン! 過去 40 回近く渡露し雑貨を買い付けている著者が、「暮らし・もの・こと」を切り口としておきのロシアを紹介します。キュートな魅力が満載の一冊。

2018:4./ 253p
978-4-86152-674-9
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/06/23



世界昆虫神話

篠田 知和基 著
八坂書房

エジプトのスカラベ神、東北地方の蚕神・おしら様、空想上のモスラ…。世界の神話、民俗、昔話、小説、詩などを渉猟して「昆虫」を探り、考察する。比較神話学の第一人者が、積年の研究の圧倒的な蓄積を基に綴る、虫の神話学。

2018:5./ 213p
978-4-89694-250-7
本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2018/06/23



デジタル資本主義

森 健、日戸 浩之 著
東洋経済新報社

日本のデジタル化のゆくえを占う前提となる、資本主義の流れを整理。そのうえで、デジタルの影響下にある現在の資本主義を分析するとともに、これからの資本主義の行方を幅広い視点から考察する。

2018:4./ 12p,257p
978-4-492-39641-4
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/06/23、日本経済新聞 2018/06/30



最初の物語(ブラジル現代文学コレクション)

ジョアン・ギマランイス・ホーザ、高橋 都彦 著
水声社

ずば抜けた才能をもつ子供や青年、聖人、ならず者、吸血鬼…。彼らの心に秘めた秘密をさまざまなトーンで象徴的に描く。「ポルトガル語のジェイムス・ジョイス」と呼ばれる著者の、<死>と<不滅>についての 21 の物語。

2018:5./ 271p
978-4-8010-0294-4
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/06/27



ほぼ命がけサメ図鑑

沼口 麻子 著
講談社

サメが大好きで、サメの取材活動や情報発信を行っている著者が、サメにまつわる様々な知識や、著者が出会ったサメたちとの体験談、サメ体験スポットなどを紹介する。『現代ビジネス』連載をもとに書籍化。折り込みページあり。

2018:5./ 381p
978-4-06-220518-4
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/06/30



幸福について(講談社まんが学術文庫 0001)

講談社

自身の生涯を通じて、幸福とは何かについて思索したエッセイ「幸福について」をドラマチックに描き幸福の本質に迫る。読むと幸せになれる一冊。

朝日新聞 2018/06/30

2018:4./ 191p

978-4-06-510649-5

本体 ¥600+税



罪と罰(講談社まんが学術文庫 0006)

講談社

哲学書であり、ミステリーであり、恋愛小説。ドストエフスキーによって描かれた長編小説のまんが化。

朝日新聞 2018/06/30

2018:4./ 319p

978-4-06-510653-2

本体 ¥800+税



ツァラトゥストラはかく語りき(講談社まんが学術文庫 0007)

堀江 一郎 著

講談社

“神は死んだ”“超人たれ!” ニーチェの残したアフォリズムの数々の本当の意味を、ひとりの少年の成長物語を通じて解説。

朝日新聞 2018/06/30

2018:5./ 191p

978-4-06-511176-5

本体 ¥600+税



ピンポンラバー(ガガガ文庫 ガた 8-1)

谷山 走太 著

小学館

卓球エリートたちが集まる私立卓越学園に、挫折から再起したかつての天才卓球少年・飛鳥翔星が入学。その目的は、小学生時代に唯一敗北を喫した少女を見つけ出し、勝利することだった。卓球に青春を懸けた少年の物語。

朝日新聞 2018/06/30

2018:6./ 310p

978-4-09-451734-7

本体 ¥611+税



手のひらの音符(新潮文庫 ふ-53-1)

藤岡 陽子 著

新潮社

45歳独身のデザイナー・水樹は、自社が服飾業から撤退することを知らされる。途方に暮れる水樹のもとに、恩師の入院を知らせる電話が。お見舞いへと帰省する最中、懐かしい記憶が甦り…。生きる痛みと歓びを描く長編小説。

朝日新聞 2018/06/30

2016:9./ 377p

978-4-10-120561-8

本体 ¥630+税



わたし、定時で帰ります。

朱野 帰子 著

新潮社

絶対に残業しないと決めている結衣。そんな彼女の前に、無茶な仕事を振って部下を潰すというブラック上司が現れて…。新時代を告げるお仕事小説。

『yomyom』連載を加筆し書籍化。ジャケット裏面にも赤裸々な本音を掲載。

朝日新聞 2018/06/30

2018:3./ 297p

978-4-10-351641-5

本体 ¥1,400+税





漢字はうたう

あかね書房

春って ともだちがすき なぜって 三人の日とかく(「春」より) 漢字の形からイメージして紡いだ 18 編の詩を、季節をめくりながら楽しめる絵本。飾り気のないやさしい絵が詩の世界を大きく広げる。見返しに奥付あり。

朝日新聞 2018/06/30

2018:5./ 37p

978-4-251-09910-5

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 2 5 1 0 9 9 1 0 5 *



刑務所しか居場所がない人たち～学校では教えてくれない、障害と犯罪の話～

山本 譲司 著

大月書店

刑務所は、世間から排除され続けた障害者が最後に行きつく「福祉施設」だった。触法障害者や出所者の支援に奔走する著者が、福祉と司法のすきまに落ちる人々の実態を鋭く、優しく説き起こす。

朝日新聞 2018/06/30

2018:5./ 165p

978-4-272-33093-5

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 2 7 2 3 3 0 9 3 5 *



主権なき平和国家～地位協定の国際比較からみる日本の姿～

伊勢崎 賢治、布施 祐仁 著

集英社クリエイティブ

オスプレイ墜落や米兵婦女暴行事件に対して、日本はなぜ何もできないのか。具体的な事例を通し、独、伊、韓、フィリピン、アフガニスタン、イラクの駐留米軍と日本における米軍の地位を徹底比較する。

朝日新聞 2018/06/30

2017:10./ 269p

978-4-420-31077-2

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 4 2 0 3 1 0 7 7 2 *



かならずお返事書くからね

ケイトリン・アリフィレンカ、マーティン・ギャンダ、リズ・ウェルチ 編

ケイトリン・アリフィレンカ、マーティン・ギャンダ、大浦 千鶴子 著

PHP研究所

学校の課題で外国に住む同年代の子と文通を始めることになったアメリカの少女、ケイトリン。文通相手はジンバブエという国の少年、マーティンになり…。1 万キロの距離を越えて心を通わせ、友だちとして支え合った感動の実話。

朝日新聞 2018/06/30

2018:3./ 405p

978-4-569-78732-9

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 5 6 9 7 8 7 3 2 9 *



ドリーム・プロジェクト(わたしたちの本棚)

濱野 京子 著

PHP研究所

中学 2 年生の拓真は、かつて過ごした古い家を懐かしむ祖父を気にかけていた。家屋の修繕を願っていた拓真は、クラウドファンディングで古民家再生を試みることに…。

朝日新聞 2018/06/30

2018:5./ 205p

978-4-569-78777-0

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 5 6 9 7 8 7 7 7 0 *



兵士というもの～ドイツ兵捕虜盗聴記録に見る戦争の心理～

ゼンケ・ナイツェル、ハラルト・ヴェルツァー、小野寺 拓也 著

みすず書房

兵士という「普通の人々」は戦場や軍隊組織で何を考え、暴力をどう内面化していくのか。第二次世界大戦中、英米軍に盗聴されたドイツ兵捕虜同士の赤裸々な会話という画期的史料を、歴史学と心理学で分析する。

朝日新聞 2018/06/30

2018:4./ 413p,54p

978-4-622-08679-6

本体 ¥5,800+税



* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 6 7 9 6 *



戦後洋楽ポピュラー史～1945-1975～

三井 徹 著
NTT出版

敗戦直後から 30 年間、米国の音楽を中心に、日本人がいかにかに洋楽ポピュラーに魅せられ、受容してきたかを、当時の新聞・雑誌の記事や評論を紹介しながら、音楽研究者である著者自らのライフヒストリーを交えて綴る。

2018:5./ 418p,14p
978-4-7571-7050-6

本体 ¥4,600+税



朝日新聞 2018/06/30



ポピュリズムと司法の役割～裁判員制度にみる司法の変質～

斎藤 文男 著
花伝社

ポピュリズムが蔓延する世界を司法は抑止できるのか。司法のポピュリズム化=裁判員制度について、司法の民営化、プロフェッショナルとしての裁判官など、多様なテーマを通して検証する。

2018:5./ 219p

978-4-7634-0854-9

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/06/30



自衛隊と憲法～これからの改憲論議のために～(犀の教室)

木村 草太 著
晶文社

自衛隊は憲法に明記すべきなのか? 改憲の是非を論じるために知ってきたい憲法の条文やこれまでの議論、憲法と自衛隊の関係について整理し、憲法 9 条をはじめとする憲法改正の論点をわかりやすく解説する。

2018:5./ 206p

978-4-7949-7035-0

本体 ¥1,450+税



朝日新聞 2018/06/30



「徹子の部屋」の花しごと

石橋 恵三子 著
産業編集センター

1976 年、「徹子の部屋」第 1 回放送時から、花を生け続けてきた日本初の「消えもの係」が、番組でのエピソードを語りつつ、自身の花人生を振り返る。花しごとを 50 年続けられた原動力についても語る。

2018:6./ 159p

978-4-86311-191-2

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/06/30



ハトと日本人

大田 眞也 著
弦書房

ハトは、平和の象徴として崇められ、伝書鳩として人の暮らしに重宝されてきた半面、食害や糞害をもたらしてきた鳥でもある。キジバト、アオバト、ドバトの生態を写真とともに解説し、ハトと人との関係もたどる。

2018:6./ 170p

978-4-86329-171-3

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2018/06/30



メジャーリーグ球団史～ナショナル&アメリカンリーグ 30 球団の全歴史～

出野 哲也 著
言視舎

19 世紀に始まるメジャーリーグの始原にまで遡り、現存するナショナル&アメリカンリーグに所属する 30 球団がそれぞれ歩んできた歴史を丁寧に記述。主な選手の活躍や地域との関わり、チームの特徴などがわかる。

2018:5./ 647p

978-4-86565-119-5

本体 ¥4,500+税



朝日新聞 2018/06/30



日米地位協定の考え方～外務省機密文書～ 増補版

琉球新報社 著

高文研

「秘・無期限」と刻印された機密文書は、日米地位協定の解釈・適用マニュアル。沖縄復帰の翌年に作成され、10年後に増補されたこの文書は、日本政府の対米姿勢を伝える。外交・基地問題を考える上での貴重な一級資料。

2004:12./ 212p

978-4-87498-335-5

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2018/06/30



沖縄発新しい提案～辺野古新基地を止める民主主義の実践～

新しい提案実行委員会 編

ボーダーインク

県内外のウチナーンチュが参加する市民グループによる、「辺野古新基地建設を止め、公正で民主的な解決を求める新しい提案」と、それを受けた、さまざまな立場の沖縄と本土の人たちの意見を掲載する。

2018:5./ 270p

978-4-89982-346-9

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2018/06/30



バッグをザックに持ち替えて

唯川 恵 著

光文社

浅間山から谷川岳、八ヶ岳そして富士山、ついにはエベレスト街道まで。何が楽しいのか? 辛いのにどうしてまた登ってしまうのか? 登山の魅力や、名手が描き尽くしたエッセイ集。『小説宝石』連載を単行本化。

2018:4./ 217p

978-4-334-91214-7

本体 ¥1,200+税



東京・中日新聞 2018/06/03



辺境中国～新疆、チベット、雲南、東北部に行く～

デイヴィッド・アイマー 著

白水社

中国の国境地帯で何が起きているのか? 英国のジャーナリストが、国境地帯のみならず「境界の向こう側」にまで足を延ばし、急速に進む漢化政策に抗い、翻弄される少数民族の実相を描く。

2018:3./ 336p,8p

978-4-560-09620-8

本体 ¥2,800+税



東京・中日新聞 2018/06/03



漱石の家計簿～お金で読み解く生活と作品～

山本 芳明 著

教育評論社

ベストセラー作家、夏目漱石は一体いくら稼いだのか? 漱石の文学活動を、これまで軽視されがちだった経済的な視点から捉え直すとともに、死後に生じた経済効果、文化資産としての動向を明らかにする。

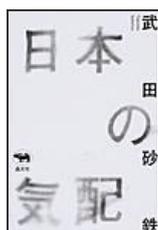
2018:4./ 335p

978-4-86624-013-8

本体 ¥2,400+税



東京・中日新聞 2018/06/03、朝日新聞 2018/06/23



日本の気配

武田 砂鉄 著

晶文社

「気配=周囲の状況から何となく感じられるようす」とはどこで芽生えているのか。「何となく」を作り出しているのは誰か。日本を覆う「気配」の危うさを、さまざまな政治状況、社会的事件、流行現象からあぶり出す。

2018:4./ 291p

978-4-7949-6994-1

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2018/06/03、東京・中日新聞 2018/06/10



バナナのグローバル・ヒストリー～いかにしてユナイテッド・フルーツは世界を席巻したか～

ピーター・チャップマン、小澤 卓也、立川 ジェームズ 著

ミネルヴァ書房

バナナは、どのように世界の食卓に広まっていったのか。その歴史的展開を、史上初の多国籍企業とも称されるユナイテッド・フルーツの盛衰を軸に、グローバル・ヒストリーの視点から描き出す。

2018:5./ 1p,328p,15p
978-4-623-08331-2

本体 ¥3,500+税



東京・中日新聞 2018/06/03、日本経済新聞 2018/06/30



五日市憲法(岩波新書 新赤版 1716)

新井 勝紘 著

岩波書店

開かずの蔵と呼ばれる旧家の土蔵で見つかった、五日市憲法草案。起草者の千葉卓三郎とは何者なのか? なぜこの地域で、このような憲法草案が誕生したのか? 自由民権運動の歴史の水脈をさぐる。

2018:4./ 6p,214p

978-4-00-431716-6

本体 ¥820+税



東京・中日新聞 2018/06/10



ハウスキーピング

マリリン・ロビンソン、篠森 ゆりこ 著

河出書房新社

1950年代アメリカ、アイダホ州。鉄道橋の脱線事故で、列車とともに湖に沈んでしまった父親。これをきっかけに平凡な家族の歯車は世代を越えて狂っていく。家(ハウス)の喪失の悲しみを、美しい自然描写とともに描く。

2018:2./ 237p

978-4-309-20738-4

本体 ¥2,400+税



東京・中日新聞 2018/06/10



教科書にみる世界の性教育

橋本 紀子、池谷 壽夫、田代 美江子 著

かもがわ出版

自分の生と性を大切に、お互いを尊重し合う関係を育てるには、どんな性教育をすればいいのか? 世界 8 か国の教科書と日本の教科書を比較しながら、今後の日本の性教育と関連教科書、社会のあり方について考える。

2018:2./ 181p

978-4-7803-0947-8

本体 ¥2,000+税



東京・中日新聞 2018/06/10



太陽を創った少年～僕はガレージの物理学者～

トム・クラインズ、熊谷 玲美 著

早川書房

弱冠 14 歳で専門家にも困難な核融合炉製造に成功したテイラー・ウィルソン。「ギフテッド」と呼ばれる天才児はいかに育てられたのか。不可能を可能にした早熟の天才を長期取材、余すところなくその異能の肖像を描く。

2018:5./ 502p

978-4-15-209764-4

本体 ¥2,500+税



東京・中日新聞 2018/06/17



子どもができて考えた、ワクチンと命のこと。

ユーラ・ビス、矢野 真千子 著

柏書房

予防接種を巡る情報の洪水と初めての子育てに翻弄されながらも、母は息子のワクチン接種を決断する! 一児の母の視点と、歴史、医療、文学など多様な視点からワクチンの重要性和現状を検証した一冊。

2018:5./ 286p

978-4-7601-4983-4

本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2018/06/17



太平洋の精神史～ガリヴァーから『パシフィック・リム』へ～

小野 俊太郎 著
彩流社

太平洋=平和の海など、幻想でしかない! 太平洋の持つ歴史的、文化史的意味を、「ガリヴァー旅行記」「白鯨」といった文学作品や、「ブラック・レイン」等の太平洋を挟んだ映画作品を通して読み解く。

東京・中日新聞 2018/06/17

2018:4./ 323p
978-4-7791-2452-5
本体 ¥2,000+税



反ワクチン運動の真実～死に至る選択～

ポール・オフィット、ナカイ サヤカ 著
地人書館

人々を救うはずのワクチンを、恐怖の対象にしてしまったのは誰なのか? 反ワクチン運動は子どもたちが不必要に苦しむ原因をどのように作ってきたのか、そしてワクチンに対する意識を変えるためになにができるかを論じる。

東京・中日新聞 2018/06/17

2018:5./ 399p
978-4-8052-0921-9
本体 ¥2,800+税



カミサマをたずねて～津軽赤倉霊場の永助様～

根深 誠 著
中央公論新社

神聖なる津軽赤倉霊場に息づく古代のカミサマ、イタコ・ゴミン・オシラの3 祈り師。個々人の生活の襷に、信仰はどのように浸透しているのか。カミサマを糧に生きる人たちを訪ね歩いた探索の記録。

東京・中日新聞 2018/06/24

2018:4./ 317p
978-4-12-005075-6
本体 ¥2,000+税



正義のセ<4> 負けっぱなしで終わるもんか!(角川文庫 あ 75-4)

阿川 佐和子 著
KADOKAWA

転勤で尼崎にやってきた検事・凛々子に汚職事件の告発状が届いた。したたかな相手に取り調べは進まず、凛々子は証拠集めに奔走する。110 番担当の虎子や、青井刑事と協力して捜査を進め、上司にガサ入れの許可を求めるが...

読売新聞 2018/06/03

2017:9./ 404p
978-4-04-106045-2
本体 ¥760+税



代体(角川文庫 や 36-5)

山田 宗樹 著
KADOKAWA

人間の意識を移転させる技術がビジネスとなった世界。意識を容れることができる身体型の器「代体」の大手メーカー営業マンの八田は、代体に絡む利権や悪意が渦巻く陰謀に次第に巻き込まれてゆく...

読売新聞 2018/06/03

2018:5./ 477p
978-4-04-106895-3
本体 ¥760+税



ウドウロク(新潮文庫 う-25-1)

有働 由美子 著
新潮社

自他ともに認めるクロい部分も、ちょっとだけあるシロい部分も、包み隠さず書いてみました。元 NHK アナウンサー、有働由美子が、「好みの男性」「独居中年の高熱」などについて綴る。書き下ろしエッセイを加えて文庫化。

読売新聞 2018/06/03

2018:4./ 246p
978-4-10-121326-2
本体 ¥520+税





男の背中、女のお尻(中公文庫 さ18-7)

佐藤 愛子、田辺 聖子 著
中央公論新社

佐藤愛子と田辺聖子が、女の浮気に男の嫉妬、人のかわいげなどを縦横に語りあい、男の本質と女の本音を鋭く突いた対談集。野坂昭如、中山あい子との鼎談のほか、筒井康隆、川上宗薫が描くふたりの未来予想図も収録。

2018:4./ 268p
978-4-12-206573-4
本体 ¥740+税



読売新聞 2018/06/03



聞く力〜心をひらく35のヒント〜(文春新書 841)

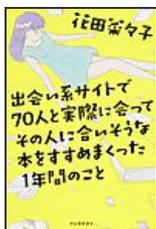
阿川 佐和子 著
文藝春秋

頑固オヤジから普通の小学生まで、つい本音を語ってしまうのはなぜか。インタビューが苦手だった阿川佐和子が、1000 人ちかい出会い、30 回以上のお見合いで?んだコミュニケーション術を披露する。

2012:1./ 253p
978-4-16-660841-6
本体 ¥800+税



読売新聞 2018/06/03



出会い系サイトで70人と実際に会ってその人に合いそうな本をすすめまくった1年間のこと

花田 菜々子 著
河出書房新社

人生のどん底にいた書店員・奈々子は、新しい自分になろうと登録した出会い系サイト「X」で初対面の人にぴったりの本をおすすめし始めて…。勇気が湧いてくる実録私小説。『WEBmagazine 温度』連載を単行本化。

2018:4./ 221p
978-4-309-02672-5
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/06/03



ルポ東大女子(幻冬舎新書 お22-2)

おおた としまさ 著
幻冬舎

偏差値ヒエラルキーの最高峰にありながら、なんらかの葛藤や生きづらさを抱えている東大女子。女性活躍、少子化、ジェンダーギャップ、教育格差など、複雑に絡み合った社会的課題の本質を東大女子の視点を借りて明らかにする。

2018:3./ 211p
978-4-344-98490-5
本体 ¥780+税



読売新聞 2018/06/03



山の単語帳

田部井 淳子、栗田 貞多男 著
世界文化社

胸突き八丁、観天望気、ジャンダルム、ガレ場…。言葉を知れば、山がもっと身近になる。日本の山の自然、気象、動植物、登山行為、施設、道具などの山岳用語を、美しい写真とともに紹介する。

2012:8./ 191p
978-4-418-12220-2
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/06/03



過去と和解するための哲学

山内 志朗 著
大和書房

過去と和解することは可能か。もし可能であれば、どうすると和解できるのか。やり場のない後悔と向き合い、前を向いて歩くために、注目の哲学者が考える。

2018:3./ 247p
978-4-479-39305-4
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/06/03



「聴く」ことのカ〜臨床哲学試論〜(ちくま学芸文庫 W5-5)

鷺田 清一 著
筑摩書房

「聴く」という、目の前にいる相手をそのまま受け止めるいとなみが、他者と自分理解の場を劈く。ことばを黙って迎え入れる受け身の行為がもたらす哲学的可能性を模索する。「臨床哲学」という新しい地平を生み出した名著。

2015:4./ 277p
978-4-480-09668-5
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/06/03



科学のミカタ

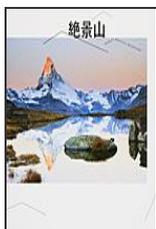
元村 有希子 著
毎日新聞出版

AI、ゲノム、重力波、生物多様性、水素社会と燃料電池車。科学記者として 20 年近く、科学技術や環境問題をウォッチしてきた著者が、知れば知るほど面白い科学の世界の読み解き方を教える。

2018:3./ 255p
978-4-620-32502-6
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/06/03



絶景山

パイインターナショナル

アルプスのとんがり帽子、マッターホルン。宇宙に一番近い山、エベレスト。ヒマラヤの「人喰い山」、ナンガ・パルバット…。世界各地の名山・奇山を美しい写真で紹介する。

2014:5./ 107p
978-4-7562-4530-4
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/06/03



シヨスタコーヴィチとスターリン

ソロモン・ヴォルコフ、亀山 郁夫、梅津 紀雄、前田 和泉、古川 哲 著
慶應義塾大学出版会

独裁者スターリンに対し抵抗とも服従ともいいがたい両義的な態度をとったシヨスタコーヴィチ。内面的なジレンマを抱えながらもスターリンとわたりあう芸術家の姿を、ロシア史上の独特の人格、聖愚者に見立て、詳細に分析する。

2018:4./ 15p,525p,15p
978-4-7664-2499-7
本体 ¥5,800+税



読売新聞 2018/06/03



ブラジル映画史講義〜混血する大地の美学〜

今福 龍太、金子 遊 編
今福 龍太 著
現代企画室

民衆の文化的表現を牽引する「ブラジル映画」。1930 年代の黎明期からシネマ・ノーヴォの傑作群、トロピカリズモ、1980 年代の問題作まで、「ブラジル映画」を育んだ大地の歴史・風土・文化を縦横無尽に探究する。

2018:5./ 471p
978-4-7738-1803-1
本体 ¥2,700+税



読売新聞 2018/06/03



ヒマラヤに捧ぐ

野口 健 著
集英社インターナショナル

アルピニスト野口健の写真集。2015 年 4 月、ネパール大震災が起きたとき現地に居合わせ、復興活動に奔走した野口が、自分を育ててくれたヒマラヤの自然とネパールの人々の暮らし、被災の様子を写しとる。

2016:2./ 127p
978-4-7976-7314-2
本体 ¥2,500+税



読売新聞 2018/06/03



初期室町幕府研究の最前線～ここまでわかった南北朝期の幕府体制～(歴史新書 y 077)

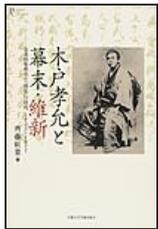
日本史史料研究会、亀田 俊和 編
日本史史料研究会 著
洋泉社

成立から最盛期に至るまでの初期室町幕府について、政治体制、地方統治、室町殿・足利義満の位置づけ、寺院・宗教政策などをテーマに、最先端の研究動向を紹介する。

2018:6./ 283p
978-4-8003-1508-3
本体 ¥980+税



読売新聞 2018/06/03



木戸孝允と幕末・維新～急進的集権化と「開化」の時代 1833?1877～(プリミエ・コレクション 90)

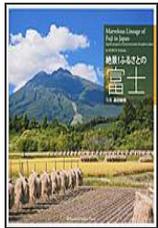
齊藤 紅葉 著
京都大学学術出版会

「上」に権を、「下」に自由を、という木戸孝允の集権的なリーダーシップは維新期の激動を主導するには大きな力を発揮したが、晩年の国家建設期には木戸の影響力を落とす要因にもなった。木戸孝允を通して明治維新を検討する。

2018:4./ 8p,366p
978-4-8140-0141-5
本体 ¥4,000+税



読売新聞 2018/06/03



絶景!ふるさとの富士

森田 敏隆 著
光村推古書院

菜の花に彩られた川辺、黄金色に実る稲田、漁船を浮かべる静かな入り江。背景に富士を抱く美しい風景は、時を超えて日本人の心を打つふるさとの絶景である。日本全国にある、呼び名に「富士」の名を戴く山の写真集。

2015:2./ 167p
978-4-8381-0523-6
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/06/03



出版状況クロニクル<5> 2016.1?2017.12

小田 光雄 著
論創社

1999年に「出版社と書店はいかにして消えていくか」で現在の出版業界の危機的状況を「先取り」した著者が、2016年から2017年までの出版業界の動向をレポートし、その打開策を探る。

2018:5./ 392p
978-4-8460-1711-8
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/06/03



ヴェネツィアの出版人

ハビエル・アスペイティア、八重樫 克彦、八重樫 由貴子 著
作品社

活版印刷発明後のルネサンス期、イタリック体を創出し、持ち運び可能な小型の書籍を開発し、初めて書籍にノンブルを付与した改革者、アルド・マヌツィオ。“最初の出版人”である彼の生涯を描いた長篇小説。

2018:5./ 370p
978-4-86182-700-6
本体 ¥2,800+税



読売新聞 2018/06/03



海防僧月性 明治維新を展(ひら)いた男

秋田 博 著
人文書館

周防国遠崎村の浄土真宗本願寺派妙円寺に、月性という若き僧侶がいた。彼は僧侶にして志士、志士にしてまた秀でた詩人であった。松陰や久坂玄瑞との邂逅にも触れながら、維新の先覚者・月性の思想と行動を跡づける。

2018:3./ 7p,268p
978-4-903174-39-6
本体 ¥3,000+税



読売新聞 2018/06/03



モンテレッキオ 小さな村の旅する本屋の物語

内田 洋子 著
方丈社

イタリアの権威ある書店賞発祥の地がなぜ、トスカーナの山奥にあるのか? 舞台となった山深きモンテレッキオ村に居を構え取材した著者による歴史ノン・フィクション。方丈社 HP 連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2018:4./ 346p
978-4-908925-29-0
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/06/03、日本経済新聞 2018/06/09、朝日新聞 2018/06/23



「イノベーターのジレンマ」の経済学的説明

伊神 満 著
日経BP社

一時代を築いた「勝ち組」は、なぜ新世代の競争に出遅れがちなのか? 「共喰い」「抜け駆け」「能力格差」をキーワードに、ゲーム理論、データ分析などを駆使して、「イノベーターのジレンマ」をクリアに説明する。

2018:5./ 327p
978-4-8222-5573-2
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/06/03、日本経済新聞 2018/06/30



ショスタコーヴィチ～引き裂かれた栄光～

亀山 郁夫 著
岩波書店

ロシア革命、大テロル、世界大戦、スターリン独裁…。激動の 20 世紀ソ連を、芸術家はどうかのびたのか。ロシア音楽史の中で最も激しい毀誉褒貶にさらされる作曲家、ショスタコーヴィチの生涯を描く。

2018:3./ 6p,398p,43p
978-4-00-061258-6
本体 ¥3,300+税



読売新聞 2018/06/03、毎日新聞 2018/06/24



クマのプーさん プー横丁にたった家 改版

A・A・ミルン 著
岩波書店

イギリスの美しい森を舞台に、プーさんや仲間の動物たち、クリストファーロビンが活躍するお話の 2 作品を収録する。

1998:12./ 401p 図版 8
枚
978-4-00-110801-9
本体 ¥2,100+税



読売新聞 2018/06/10



寂兮寥兮(かたちもなく)(講談社文芸文庫)

大庭 みな子 著
講談社

読売新聞 2018/06/10

2004:10./ 189p
978-4-06-198383-0
本体 ¥1,100+税





大江健三郎賞 8年の軌跡「文学の言葉」を恢復させる

大江 健三郎、長嶋 有、岡田 利規、安藤 礼二、中村 文則、星野 智幸、綿矢 りさ、本谷 有希子、岩城 けい 著

講談社

日本文学の若き才能を世界へ発信すべく創設された大江健三郎賞の、第1回から第8回までの受賞作の選評を、著者との対談とともに収録する。『群像』掲載を単行本化。

2018:6./ 332p

978-4-06-221081-2

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 0 6 2 2 1 0 8 1 2 *

読売新聞 2018/06/10



チンギス紀<1> 火眼

北方 謙三 著

集英社

モンゴル族キヤト氏の長の子として生まれたテムジン(のちのチンギス・カン)は父を討たれ、南の地に向かうのだが…。ユーラシア大陸に広がる大帝国の礎を築いた英雄チンギス・カンの物語。『小説すばる』連載を加筆・修正。

2018:5./ 341p

978-4-08-771132-5

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 0 8 7 7 1 1 3 2 5 *

読売新聞 2018/06/10



チンギス紀<2> 鳴動

北方 謙三 著

集英社

父祖の地に戻ったテムジンは旗を掲げ草原を疾駆し、命を狙うタイチウト氏と対峙する。父の死で弱体化したキヤト氏の威を示し、モンゴル族をひとつにするために。『小説すばる』連載を加筆・修正。

2018:5./ 341p

978-4-08-771143-1

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 0 8 7 7 1 1 4 3 1 *

読売新聞 2018/06/10



夏の闇 改版(新潮文庫)

開高 健 著

新潮社

読売新聞 2018/06/10

2010:7./ 299p

978-4-10-112810-8

本体 ¥550+税



* 9 7 8 4 1 0 1 1 2 8 1 0 8 *



ハリネズミの願い

トーン・テレヘン 著

新潮社

自分のハリが大嫌いで、つきあいの苦手なハリネズミが、誰かを招待しようと思いたち、招待状を書き始める。でも、手紙を送る勇気が出なくて…。臆病で気むずかしいハリネズミに友達はできるのか?深い孤独によりそう物語。

2016:6./ 174p

978-4-10-506991-9

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 1 0 5 0 6 9 9 1 9 *

読売新聞 2018/06/10



冬の日誌

ポール・オースター 著

新潮社

幼時の大げが。性の目覚め。パリでの貧乏暮らし。暮してきた家々。妻との出会い。母の死一。「人生の冬」を迎えた作家の、肉体と感覚をめぐる回想録。

2017:2./ 216p

978-4-10-521718-1

本体 ¥1,900+税



* 9 7 8 4 1 0 5 2 1 7 1 8 1 *

読売新聞 2018/06/10



画家たちの昭和～私の画壇交流記～

中野 淳 著

中央公論新社

洋画家として戦時下から半世紀以上、松本竣介、麻生三郎を始めとする多くの画家たちと交流してきた著者による、昭和日本洋画壇交流記。旅、絵やその周辺に関するエッセイも収録する。

2018:3./ 347p

978-4-12-005056-5

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2018/06/10



「価格」を疑え～なぜビールは値上がり続けるのか～(中公新書ラクレ 622)

吉川 尚宏 著

中央公論新社

今や贅沢品のビール、分かりにくい地下鉄運賃、たびたび品薄になるバター、携帯電話料金…。高止まりする裏にある「官製価格」化こそが、市場からダイナミズムを奪い、経済の停滞を招く元凶であることを論じる。

2018:5./ 222p

978-4-12-150622-1

本体 ¥820+税



読売新聞 2018/06/10



老後の資金がありません(中公文庫 か86-1)

垣谷 美雨 著

中央公論新社

娘の派手婚、舅の葬式代と姑の生活費、そして夫婦揃っての失職…。「老後は安泰」のはずだったのに、1200万円の老後資金はみるみる減ってゆく。家族の諸事情に振り回されつつもやりくりする篤子の奮闘は報われるのか？

2018:3./ 317p

978-4-12-206557-4

本体 ¥640+税



読売新聞 2018/06/10



さざなみのよる

木皿 泉 著

河出書房新社

小国ナスミ、享年 43 歳。息をひきとった瞬間から、その死は湖に落ちたひと雫の波紋のように、家族や知人へと広がっていき…。命のまばゆいきらめきを描いた感動と祝福の物語。5年ぶりの小説、第2作。

2018:4./ 221p

978-4-309-02525-4

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/06/10



児次郎吹雪・おたふく物語(河出文庫 や39-1)

山本 周五郎 著

河出書房新社

女の情けを描いた「四人ばやし」、男の信念を綴った「襤褸と釵」、苦しい時も人の善意を疑わない姉妹を描いた<おたふく>三部作等、珠玉の<下町もの>をまとめた傑作集。凛々しい若武者を描いた「児次郎吹雪」は文庫初収録。

2018:5./ 267p

978-4-309-41610-6

本体 ¥660+税



読売新聞 2018/06/10



愛について～プルースト、デュラスと～

鈴木 和成 著

紀伊國屋書店

なぜ恋愛小説は書かれ、読みつがれていくのだろうか？恋愛を書きつづけたプルースト、デュラスの二人の作家を、その作品を読み解きながら追いかけて行く。恋愛論として読む「恋愛小説論」。

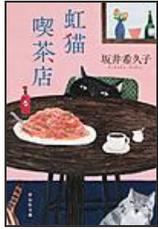
2001:5./ 296p

978-4-314-00891-4

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/06/10



虹猫喫茶店(祥伝社文庫 さ17-2)

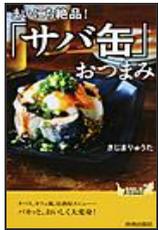
坂井 希久子 著
祥伝社

求人募集を見て喫茶店を訪ねた僕。そこで待っていたのは、“猫バカ”で引きこもりの女主人と里親募集中の捨て猫たち。仕事は厄介な婆さんの猫屋敷の掃除と店の猫の飼い主を探すことだったのに、“猫問題”に翻弄されていき…。

2018:5./ 339p
978-4-396-34419-1
本体 ¥680+税



読売新聞 2018/06/10



まいにち絶品!「サバ缶」おつまみ(青春新書 PLAY BOOKS P-1113)

きじま りゅうた 著
青春出版社

サバ缶にひと工夫加えて、絶品おつまみに! 和えるだけの「サバの薬味ポン酢和え」、市販の惣菜と混ぜるだけの「ポテサバ」、フライパンひとつでできる「アクアパッツァ」など、簡単レシピを紹介します。

2018:5./ 140p
978-4-413-21113-0
本体 ¥1,160+税



読売新聞 2018/06/10



サイコパスの真実(ちくま新書 1324)

原田 隆之 著
筑摩書房

人当たりがよく、優しい言葉をかけ、魅力的な人柄。だけど、よくよく付き合いと、感情が薄っぺらい「サイコパス」。最先端の犯罪心理学の知見にもとづいてサイコパスの特徴をえがき、ヴェールに包まれた素顔に迫る。

2018:4./ 242p,12p
978-4-480-07137-8
本体 ¥820+税



読売新聞 2018/06/10



ハロー、アメリカ(創元 SF 文庫 SF ハ2-15)

J.G.バラード、南山 宏 著
東京創元社

21世紀初頭、アメリカ合衆国は崩壊し砂漠と化した。1世紀を過ぎたある日、小規模な探検隊が、ニューヨークに上陸する。密航者の青年は、この国の新しい支配者になることを夢見るが…。強烈な未来像を辛辣に描く。

2018:3./ 341p
978-4-488-62916-8
本体 ¥980+税



読売新聞 2018/06/10



選曲の社会史～「洋楽かぶれ」の系譜～

君塚 洋一 著
日本評論社

「洋楽」はいかに受容され、日本に世界に広まったのか。DJ、店舗の選曲家、アーティスト、リスナー…音に身をやつした、極東の「洋楽かぶれ」たちの風景と足跡をたどる。

2018:3./ 267p
978-4-535-58727-4
本体 ¥2,700+税



読売新聞 2018/06/10



天皇陵と近代～地域の中の大友皇子伝説～(ブックレット<書物をひらく> 11)

宮間 純一 著
平凡社

天皇陵がみずからの居住地や出身地に治定されることを期待して運動を起こす地域の人びとの行動には、どんな歴史的背景があるのか。大友皇子の墓をめぐる人びとの営為を追跡し、その歴史的事情とそれがもたらした効果を探る。

2018:5./ 90p
978-4-582-36451-4
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/06/10



「ネコ型」人間の時代～直感こそ AI に勝る～(平凡社新書 874)

太田 肇 著
平凡社

自らが自由に自発的に行動する「ネコ型」人間を育てるには、どんな関わり方や環境づくりが必要か。国内外の多くの事例を盛り込みながら、指示待ちの「イヌ型」日本人の行動様式の根本的な転換を説く。

2018:4./ 237p
978-4-582-85874-7
本体 ¥800+税



読売新聞 2018/06/10



人間の偏見動物の言い分～動物の「イメージ」を科学する～

高槻 成紀 著
イースト・プレス

キツネは“ずるい”、タヌキは“マヌケ”…。そのイメージにはワケがあった! 動物の「ステレオタイプ」はどこから生まれたのか。生態学者がその起源と変遷、そして「ヒトと動物の関係」をひもとく。

2018:5./ 271p
978-4-7816-1661-2
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/06/10



免疫の意味論

多田 富雄 著
青土社

読売新聞 2018/06/10

1993:4./ 236p
978-4-7917-5243-0
本体 ¥2,200+税



もう「ゴミの島」と言わせない～豊島産廃不法投棄、終わりなき闘い～

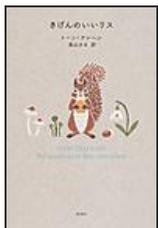
石井 亨 著
藤原書店

瀬戸内・香川県の豊かな島に産業廃棄物が不法投棄され、甚大な健康被害と環境汚染をもたらした「豊島事件」。その責任の所在を明らかにし、全面撤去を勝ち取り実現させた豊島住民運動の歴史を記す。

2018:3./ 391p
978-4-86578-171-7
本体 ¥3,000+税



読売新聞 2018/06/10、朝日新聞 2018/06/16



きげんのいいリス

トーン・テレヘン、長山 さき 著
新潮社

ブナの樹のうえに暮らす、きげんのいいリス。頭の重みに耐えかねているアリ。誕生日がだいなしになって黒いなみだを流すイカ…。不器用で大まじめ、悩める動物たちが語りだす。「ハリネズミの願い」の原点となる作品を完訳。

2018:4./ 149p
978-4-10-506992-6
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/06/10、朝日新聞 2018/06/30



忘却する戦後ヨーロッパ～内戦と独裁の過去を前に～

飯田 芳弘 著
東京大学出版会

内戦と独裁をめぐる忌まわしい過去…。何が記憶を封じ、何が忘却を促すのか。恩赦、戦犯の解放、「神話」の創造など、民主化過程に現れた「忘却の政治」の具体的内容を明らかにする。

2018:4./ 4p,320p
978-4-13-030165-7
本体 ¥4,600+税



読売新聞 2018/06/10、東京・中日新聞 2018/06/24、朝日新聞 2018/06/30



「コミュ障」の社会学

貴戸 理恵 著
青土社

空気を読むのが苦手でも、人とつながって生きていける。自身も不登校経験を持つ著者が、不登校やひきこもりに寄り添いながら、学校や職場を支配する「コミュニケーション至上主義」の背景を明らかにする。

2018:4./ 293p
978-4-7917-7062-5
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/06/10、日本経済新聞 2018/06/16



アイ・ラブ安吾(朝日文芸文庫)

荻野アンナ 著
朝日新聞出版
読売新聞 2018/06/17

1995:7./ 202p
978-4-02-264073-4
本体 ¥553+税



特権キャリア警察官～日本を支配する 600 人の野望～

時任 兼作 著
講談社

日本社会に巨大な情報力と実行部隊を抱える「警察庁」が今変容し、劣化しつつある。有能、かつ万能とされる警察キャリアの「出世の階段」、人事をめぐる暗闘、都道府県警察の罪と罰、伝説と栄光のキャリア官僚などを紹介する。

2018:5./ 262p
978-4-06-511941-9
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/06/17



中年だって生きている(集英社文庫 さ 21-10)

酒井 順子 著
集英社

「中年ではあるが、おばさんではない」と思っている新種の中年=バブル世代。人生 70 年時代には考えられなかった、長い生乾き時代を生きなくてはならない中年達の苦悩やジタバタを綴ったエッセイ。

2018:5./ 271p
978-4-08-745738-4
本体 ¥550+税



読売新聞 2018/06/17



湖畔の愛

町田 康 著
新潮社

龍神が棲むという湖のほとりには、今日も一面、霧が立ちこめる。創業 100 年を迎えた九界湖ホテルは、笑いと愛のニルバーナ! 天変地異を呼ぶ笑劇恋愛小説。全 3 編を収録。『新潮』掲載を単行本化。

2018:3./ 252p
978-4-10-421503-4
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/06/17



竹内政明の「編集手帳」傑作選～読売新聞朝刊一面コラム～(中公新書ラクレ 620)

竹内 政明 著
中央公論新社

勝った人より「負けた人」に、幸せな人より「日の当たらない人」に寄り添い、人々の心の襷に分け入る…。『読売新聞』名物コラム 16 年分から 121 編を選んだ「傑作選」と、未収録作品 30 編を収録する。

2018:5./ 5p,341p
978-4-12-150620-7
本体 ¥920+税



読売新聞 2018/06/17



悪と全体主義～ハンナ・アーレントから考える～(NHK 出版新書 549)

仲正 昌樹 著
NHK出版

世界を席卷する排外主義的思潮や強権的政治手法といかに向き合うべきか。ハンナ・アーレントの「全体主義の起原」「エルサレムのアイヒマン」を読み、疑似宗教的世界観に呑み込まれない思考法を解き明かす。

2018:4./ 221p
978-4-14-088549-9
本体 ¥780+税



読売新聞 2018/06/17



ファーストラヴ

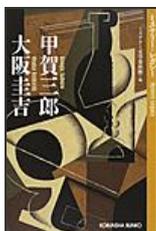
島本 理生 著
文藝春秋

多摩川沿いを血まみれで歩いていた女子大生・環菜。彼女は、父親を、その勤務先である美術学校で刺殺したとして逮捕されるが…。裁判を通じて明らかにされる家族の秘密とは? 『別冊文藝春秋』連載を単行本化。

2018:5./ 299p
978-4-16-390841-0
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/06/17



甲賀三郎 大阪圭吉(光文社文庫 み 19-51)

甲賀 三郎、大阪 圭吉、ミステリー文学資料館 編
甲賀 三郎、大阪 圭吉 著
光文社

ミステリー文学資料館の“遺産”ともいえる膨大なコレクションより、本格派探偵小説作家・甲賀三郎のレアな傑作長編と、本格短編の名手として名高い大阪圭吉の作品集「死の快走船」を収録。傑作アンソロジー。

2018:5./ 410p
978-4-334-77654-1
本体 ¥880+税



読売新聞 2018/06/17



水銀のゆらぐ言

柿沼 裕朋 著
国書刊行会

百年に一度しか開くことができない書物。マルトが心の底から祈りを捧げると、書物から風が舞い、頁が捲れていき…。美しいコラージュと、夢のような物語が織りなす不思議な世界にひきこまれる、イメージーションあふれる一冊。

2018:4./ 93p
978-4-336-06263-5
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/06/17



おいしい&ヘルシー!初めてのスパイスブック

カワムラ ケンジ 著
幻冬舎

スパイス生活を始めると、心も身体も元気になる! ターメリック、クミン、コリアンダーといった代表的なスパイス 14 種類の基本知識と効能を解説し、体調別・身体がよるこぶスパイスレシピを紹介する。

2018:6./ 111p
978-4-344-03307-8
本体 ¥1,100+税



読売新聞 2018/06/17



唯脳論(ちくま学芸文庫)

養老 孟司 著
筑摩書房

文化や伝統、社会制度はもちろん、言語、意識、そして心...あらゆるヒトの営みは脳に由来する。発表されるや各界に波紋を投げ、一連の脳ブームの端緒を拓いたスリリングな論考。

1998:10./ 278p
978-4-480-08439-2
本体 ¥880+税



読売新聞 2018/06/17



貧乏まんが(ちくま文庫 や 50-2)

山田 英生 編
筑摩書房

つげ義春「リアリズムの宿」、水木しげる「貧乏神」、永島慎二「赤貧」、うらたじゅん「ホットケーキ」…。「貧乏(貧困)」の諸相を背景に織り込んだ作品を収録した、戦後庶民の暮らしを浮かび上がらせる傑作まんが集。

2018:5./ 347p
978-4-480-43520-0
本体 ¥780+税



読売新聞 2018/06/17



失われた手稿譜〜ヴィヴァルディをめぐる物語〜

フェデリーコ・マリア・サルデツリ、関口 英子、栗原 俊秀 著
東京創元社

18 世紀に消えた、作曲家ヴィヴァルディの自筆楽譜がたどる数奇な運命とは? 指揮者、演奏家、音楽学者、版画家など幅広い活動で知られる鬼才が、綿密な研究調査をもとに描いた、謎解きと冒険譚の魅力を併せ持つ傑作小説。

2018:3./ 310p
978-4-488-01078-2
本体 ¥2,100+税



読売新聞 2018/06/17



夏目漱石とクラシック音楽

瀧井 敬子 著
毎日新聞出版

国民的文豪はなぜ西洋音楽を愛したのか? 夏目漱石がクラシック音楽に好奇心を抱き、近づいてゆく軌跡を辿り、彼の小説と音楽体験が密接にリンクしていることを明らかにする。音楽学の第一人者が描く、全く新しい漱石像。

2018:3./ 319p
978-4-620-32498-2
本体 ¥2,500+税



読売新聞 2018/06/17



ビットコインはチグリス川を漂う〜マネーテクノロジーの未来史〜

デイヴィッド・バーチ、松本 裕 著
みすず書房

人が理解するマネーから、人を理解するマネーへ。電子マネーと電子識別の権威である著者が、マネーの三大機能を踏まえつつ、マネーの誕生から現在までをたどり、ビットコイン後のマネー像を描きだす。

2018:5./ 20p,305p,14p
978-4-622-08694-9
本体 ¥3,400+税



読売新聞 2018/06/17



陸軍中野学校と沖縄戦〜知られざる少年兵「護郷隊」〜(歴史文化ライブラリー 466)

川満 彰 著
吉川弘文館

激戦地沖縄に潜伏した 42 名の陸軍中野学校出身者。そのもとに集められた「護郷隊」の少年兵や住民は、どのように戦争に巻き込まれたのか。元兵士や関係者らの証言や回想から、陸軍中野学校がいかに関与したかを描く。

2018:5./ 6p,229p
978-4-642-05866-7
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/06/17



寺山修司 時をめぐる幻想

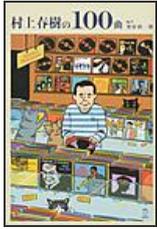
寺山 修司 著
東京美術

約 50 年前にシチズン時計株式会社の社内報に掲載された、寺山修司の「時」に関するファンタジー掌篇 15 点に、気鋭の画家 16 人の描き下ろしの絵を配した物語画集。12 篇のエッセイをまとめた「セールスマン博物誌」も収録。

2018:4./ 47p
978-4-8087-1113-9
本体 ¥2,300+税



読売新聞 2018/06/17



村上春樹の100曲

栗原 裕一郎、栗原 裕一郎 著
リットーミュージック

村上春樹の小説に登場する様々な音楽を解説しながら、春樹作品における意味や役割、作者の精神との結び付きなどに思いをめぐらせる一風変わったディスクガイド。村上春樹作品に登場する全音楽リストつき。

2018:6./ 251p
978-4-8456-3239-8
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/06/17



「大平学校」と戦後日中教育文化交流～日本語教師のライフストーリーを手がかりに～

孫 暁英 著
日本僑報社

日中平和友好条約締結を背景に、日本の対中 ODA で北京に開かれた「大平学校」。両国関係者への綿密な取材をもとに、同校が日中教育文化交流ひいては日中関係にもたらした影響について考察、その全貌を明らかにする。

2018:5./ 242p
978-4-86185-206-0
本体 ¥3,600+税



読売新聞 2018/06/17



ロミイの代辯～寺山修司単行本未収録作品集～

寺山 修司、堀江 秀史 編
寺山 修司 著
幻戯書房

夜会、レースの手袋、スタンダールの恋愛論、バァイオレットフィズ、シュトラウス、みんなくたばれ。寺山修司が生前に発表した散文・詩歌等の、単行本未収録のものを中心にまとめた作品集。写真も掲載。

2018:4./ 445p
978-4-86488-146-3
本体 ¥3,800+税



読売新聞 2018/06/17



こないだ

山田 稔 著
編集工房ノア

楽しかった「こないだ」、50 年も前の「こないだ」について、時間を共にした、あの人この人について書き綴る。雑誌や冊子などに発表した文章のうち、単行本未収録のものに新作を加えて書籍化。

2018:6./ 285p
978-4-89271-292-0
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/06/17



源氏物語<1> 桐壺-末摘花(岩波文庫 黄版 15-10)

紫式部 著
岩波書店

世界最古の長編小説「源氏物語」全 54 帖の、新日本古典文学大系版による精密な原文、最新の成果を盛り込んだ注解・補訳を掲載。1 は、桐壺から末摘花までの 6 帖を収録する。

2017:7./ 612p
978-4-00-351015-5
本体 ¥1,320+税



読売新聞 2018/06/24



ゆるい生活

群 ようこ 著
朝日新聞出版

ある日突然めまいに襲われ、飛び込んだ「漢方薬局」。そこで教えられたのは、冷え、水分、甘み、余分なものを体から抜きとっていき暮らした...。体質改善を綴った実録エッセイ。『一冊の本』連載を加筆修正して単行本化。

読売新聞 2018/06/24

2015:1./ 253p
978-4-02-251249-9
本体 ¥1,400+税



失敗学のすすめ(講談社文庫)

畑村 洋太郎 著
講談社

読売新聞 2018/06/24

2005:4./ 301p
978-4-06-274759-2
本体 ¥552+税



ここからはじまる〜父と息子のサッカーノート〜(新潮文庫 は-71-1)

はらだ みずき 著
新潮社

小3の勇翔の夢はプロのサッカー選手。ただ、本人は自分のレベルがよくわかっていない様子。そんな息子に歯がゆさを覚えた父は、ある行動を起こす。共に悩みながら歩いていく、親と子の成長物語。

読売新聞 2018/06/24

2018:5./ 393p
978-4-10-121381-1
本体 ¥630+税



知の体力(新潮新書 764)

永田 和宏 著
新潮社

「答えは必ずある」などと思っはいけない。細胞生物学者にして日本を代表する歌人でもある著者が、これから学ぶ人、一生学び続けたい人たちに向けて、自力で生きぬくための本物の「知」の鍛錬法を説く。

読売新聞 2018/06/24

2018:5./ 223p
978-4-10-610764-1
本体 ¥760+税



平家物語<上>(新潮日本古典集成 新装版)

新潮社

栄華の絶頂に達した平家一門。横暴を極める平清盛に以仁王が謀叛を企てるが...。武士の時代の到来を和漢混淆文で綴る不朽の軍記物語。重要語句の詳細な注解を上欄に、口語訳を本文の右傍に色刷りで添える。解説も収録。

読売新聞 2018/06/24

2016:4./ 409p
978-4-10-620843-0
本体 ¥2,700+税



これからの本屋読本

内沼 晋太郎 著
NHK出版

今、日本だけでなく、世界中で、本を愛する人が、本を愛する人のために小さな本屋を始めている。最前線を駆ける「本屋 B&B」の創業者が、本と本屋の魅力、本を仕入れる方法、小さな本屋を続けるための考え方を綴る。

読売新聞 2018/06/24

2018:5./ 317p
978-4-14-081741-4
本体 ¥1,600+税





全部やれ。～日本テレビえげつない勝ち方～

戸部田 誠 著
文藝春秋

すべては年間視聴率でフジテレビを逆転した 1994 年に始まった。万年 3 位を覆した男たちの逆襲を描き、現在の日本テレビの強さの秘密に迫る。『週刊文春』連載をもとに単行本化。

2018:5./ 261p
978-4-16-390844-1
本体 ¥1,550+税



読売新聞 2018/06/24



週刊文春「シネマチャート」全記録(文春新書 1169)

週刊文春 編
文藝春秋

1977 年にスタートした『週刊文春』の名物映画評「シネマチャート」。40 年間で 29 名の歴代評者が 4 千本を超える映画につけてきた☆を集計し、洋画ベスト 200、邦画ベスト 50 を選出する。座談会や資料も収録。

2018:5./ 300p
978-4-16-661169-0
本体 ¥920+税



読売新聞 2018/06/24



怪物が街にやってくる(徳間文庫 こ6-35)

今野 敏 著
徳間書店

世界最強と名高い“上杉京輔トリオ”を突如脱退した武田巖男が、新たにカルテットを結成した。ついに、ジャズ界を揺さぶる怪物たちの対決の時が来た。いよいよ演奏が始まる…。幻のデビュー作を含む傑作短篇集。

2018:4./ 296p
978-4-19-894329-5
本体 ¥630+税



読売新聞 2018/06/24



日本サッカー辛航紀～愛と憎しみの 100 年史～(光文社新書 946)

佐山 一郎 著
光文社

繰り返される解任と内紛。「日本社会」において「サッカー」とは一体何だったのか。1921 年の第 1 回「天皇杯」から、2018 年のロシアワールドカップ出場までの日本サッカーを、貴重な文献と著者自身の視点で振り返る。

2018:5./ 358p
978-4-334-04352-0
本体 ¥900+税



読売新聞 2018/06/24



三つの空白～太宰治の誕生～

鶴飼 哲夫 著
白水社

太宰治が激しく苦悩し、挫折した季節には、小説をあまり書かない三度の「空白」時期があった。読売新聞名物記者がその空白にスポットを当て、「明るい太宰」が誕生するまでをつづる。

2018:5./ 388p
978-4-560-09628-4
本体 ¥3,000+税



読売新聞 2018/06/24



八幡炎炎記

村田 喜代子 著
平凡社

炎々と天を焦がす製鉄の町・北九州八幡で繰り広げられる少女の物語。敗戦の年に生を享けたヒナ子は、複雑な家庭事情のなかで、祖父母のもと、焼け跡に遅しく、土筆のように育ってゆく…。『こころ』連載を単行本化。

2015:2./ 263p
978-4-582-83683-7
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/06/24



火環(ひのわ)～八幡炎炎記 完結編～

村田 喜代子 著
平凡社

炎々と天を焦がす製鉄の町・北九州八幡で繰り広げられる少女の物語。中学生のヒナ子は製鉄の街を飛び出し、映画の世界を夢見て密かに上京をもくろむが…。完結編。『ころ』連載を単行本化。

2018:5./ 310p
978-4-582-83773-5
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/06/24



ロラン・バルトによるロラン・バルト

ロラン・バルト、石川 美子 著
みすず書房

ロラン・バルトが自分の子供時代や過去の著作、現在のできごとや日々の考えなど、「作者」である自分自身について率直に語る。写真と断章という新しい形式による間接的な知的自伝作品の新訳。

2018:5./ 330p,9p
978-4-622-08691-8
本体 ¥4,800+税



読売新聞 2018/06/24



ウォルター・ウェストンと上條嘉門次

上條 久枝 著
求龍堂

日本を愛し、日本近代登山の父といわれたウォルター・ウェストン。その有能な山案内人であった上條嘉門次の生涯と交遊の記録を、嘉門次小屋のおかみが綴る。

2018:5./ 315p
978-4-7630-1807-6
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/06/24



葬儀業界の戦後史～葬祭事業から見える死のリアリティ～(名古屋学院大学総合研究所研究叢書 29)

玉川 貴子 著
青弓社

「人の不幸でお金をとる」と長らく批判されながらも、葬儀をサービス業として成り立たせるために歩んだ葬祭事業者。その葛藤の歴史をたどり、知られざる葬祭業の戦後と私たちの死生観の変容を描き出す。

2018:3./ 242p
978-4-7872-3433-9
本体 ¥2,600+税



読売新聞 2018/06/24



ヒト、この奇妙な動物～言語、芸術、社会の起源～

ジャン＝フランソワ・ドルティエ 著
新曜社

二足で歩き走り、ことばをしゃべり、物語を作り、歌い踊る。火や道具を使い、神や霊を畏れ敬う…。ヒトならではの特性や能力は、いつ、どのように生じたのか。進化心理学の成果をもとに、人間の本性の新たな見方を提示する。

2018:5./ 20p,390p,10p
978-4-7885-1580-2
本体 ¥4,300+税



読売新聞 2018/06/24



航空機を後世に遺す～歴史に刻まれた国産機を展示する博物館づくり～

横山 晋太郎 著
グランプリ出版

実験機や試作機など、珍しい国産航空機の収集はどのようにして実現できたのか。博物館設営や運営の困難をどのように乗り越えてきたのか。岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の足跡をたどる。

2018:5./ 271p
978-4-87687-356-2
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/06/24



子どもの貧困～未来へつなぐためにできること～

渡辺 由美子 著
水曜社

一見それとはわからない子どもの貧困。NPO 法人キッズドア理事長が、貧困状態の子どもや保護者の様子を紹介しつつ、子どもの貧困問題を社会問題と関連づけて考察し、問題解決のために何ができるのかを示す。

2018:5./ 181p
978-4-88065-439-3
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/06/24



誰にもわかるハイデガー～文学部唯野教授・最終講義～

筒井 康隆 著
河出書房新社

死を忘れて生きつつも、死について知りたい我々が、死ぬまでに読みたいハイデガーの名著「存在と時間」をわかりやすく正確に抽出した入門書。1990年の著者による講演の内容をもとに書籍化。

2018:5./ 137p
978-4-309-24865-3
本体 ¥1,200+税



読売新聞 2018/06/24、毎日新聞 2018/06/24



君たちはどう生きるか(ワイド版岩波文庫)

吉野 源三郎 著
岩波書店

「人生いかに生きべきかという問いは、常に社会科学的認識とは何かという問題と切り離すことなく問われねばならない」というメッセージを、主人公コペル君の精神的成長に託して伝える。

2006:4./ 339p
978-4-00-007268-7
本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2018/06/02



赤と黒<上>(岩波文庫 赤 526-3)

スタンダール 著
岩波書店

ナポレオン没落後、武勲による立身の望みを失った貧しい青年ジュリアン・ソレルが、僧侶階級に身を投じ、その才智と美貌とで貴族階級に食い入って、野望のためにいかに戦いそして恋したか。1830年。

1958:6./ 464p
978-4-00-325263-5
本体 ¥1,040+税



日本経済新聞 2018/06/02



赤と黒<下>(岩波文庫 赤 526-4)

スタンダール 著
岩波書店

この小説は一平民青年ジュリアン・ソレルの野心をとおして、貴族・僧侶・ブルジョアジーの三者がしのぎをけずる七月革命前夜の反動的で陰鬱なフランス政界と社会を、痛烈な諷刺をこめて描き出した社会小説でもある。

1958:8./ 468p
978-4-00-325264-2
本体 ¥1,040+税



日本経済新聞 2018/06/02



パルムの僧院<上> 改版(岩波文庫)

スタンダール 著
岩波書店

日本経済新聞 2018/06/02

1969:12./ 371p
978-4-00-325265-9
本体 ¥760+税





パルムの僧院<下> 改版(岩波文庫)

スタンダール 著
岩波書店
日本経済新聞 2018/06/02

1970:2./ 401p
978-4-00-325266-6
本体 ¥760+税



仙境異聞・勝五郎再生記聞(岩波文庫 青 46-3)

平田 篤胤、子安 宣邦 著
岩波書店

文政3年、浅草観音堂の前にふいに現れた少年寅吉。幼い頃山人(天狗)に連れ去られ、そのもとで生活・修行していたという。江戸後期社会の多層的な異界関心の集大成的な記録。

2000:1./ 432p
978-4-00-330463-1
本体 ¥1,070+税



日本経済新聞 2018/06/02



氷点<[正]下> 改版(角川文庫 み 5-4)

三浦 綾子 著
角川書店

陽子に愛情をそそぐ兄・徹は、思いを自制するために友人・北原を陽子に紹介した。北原と陽子は心通わせるが、夏枝は嫉妬心から、2人に陽子の出生の秘密をぶちまけてしまい…。

2012:6./ 385p
978-4-04-100339-8
本体 ¥640+税



日本経済新聞 2018/06/02



氷点<[正]上> 改版(角川文庫 み 5-3)

三浦 綾子 著
角川書店

辻口病院長夫人・夏枝が青年医師と逢い引きしている間に、3歳の娘が殺害された。辻口は聖書の「汝の敵を愛せよ」との教えと妻への復讐心から、犯人の娘・陽子を養子に迎える。やがて、辻口の行いに気づいた夏枝は…。

2012:6./ 380p
978-4-04-100340-4
本体 ¥640+税



日本経済新聞 2018/06/02



晴れ女の耳～紀ノ国奇譚～(角川文庫 ひ 30-1)

東 直子 著
KADOKAWA

懐かしい紀州の森には、老婆たちの報われぬ想いが、千年、降り積もっていました。人柱や神かくしなど、和歌山の民話や実話を題材に紡いだ、魂の救済の物語。書き下ろし「緑涙」を追加して文庫化。

2018:4./ 251p
978-4-04-106748-2
本体 ¥640+税



日本経済新聞 2018/06/02



ロウフィールド館の惨劇(角川文庫)

ルース・レンデル 著
角川書店

日本経済新聞 2018/06/02

1984:6./ 290p
978-4-04-254105-9
本体 ¥552+税





又ヌ完璧なベビーシッター(集英社文庫 ス 12-1)

レイラ・スリマニ、松本 百合子 著
集英社

パリのアパートマンで起きた悲劇。子守りと家事を任された“又ヌ”であるルイーズが、若い夫婦の幼い長女と長男を殺したのだ。そしてルイーズも後を追うように自殺を図り。完璧な又ヌに見えた彼女がなぜ？ 心理サスペンス。

日本経済新聞 2018/06/02

2018:3./ 269p
978-4-08-760748-2
本体 ¥700+税



戦国日本と大航海時代~秀吉・家康・政宗の外交戦略~(中公新書 2481)

平川 新著
中央公論新社

日本はなぜ「世界最強」スペインの植民地にならなかったのか？ 秀吉の朝鮮出兵、鎖国へ急転した家康、遣欧使節を送った政宗の狙い…。史料を通じて、戦国日本とヨーロッパ列強による駆け引きを描きだし、数々の謎を解明する。

日本経済新聞 2018/06/02

2018:4./ 290p
978-4-12-102481-7
本体 ¥900+税



中国の世界遺産を旅する~響き合う歴史と文化~(中公新書ラクレ 623)

湯浅 邦弘 著
中央公論新社

兵馬俑の真の価値とは。殷墟から出た甲骨は何を語るのか。敦煌文書に記された古代の思想とは。中国古典に精通した著者が、中国の世界遺産 7 件を精選し、歴史的背景をふまえながら、それぞれの史跡をたどる。

日本経済新聞 2018/06/02

2018:5./ 242p
978-4-12-150623-8
本体 ¥880+税



予言がはずれるとき~この世の破滅を予知した現代のある集団を解明する~

フェスティンガー 著
勁草書房

日本経済新聞 2018/06/02

1995:12./ 389p
978-4-326-10106-1
本体 ¥5,000+税



認知的不協和の理論~社会心理学序説~

フェスティンガー 著
誠信書房

日本経済新聞 2018/06/02

1987:6./ 277p
978-4-414-30210-3
本体 ¥2,800+税



亀と蛇と虹の寓話(文芸シリーズ)

東 賢次郎 著
柏艚舎

絶海の孤島に生きる男女 3 人。現実社会での生活を棄て、丸裸で、自然に採れるものを食べ、“彼女”を共有し、人間とは何か、性とは何か、生とは何かを模索する。この世は夢か現か。3 人の男女が行きつく先は…。

日本経済新聞 2018/06/02

2018:5./ 189p
978-4-434-24562-6
本体 ¥1,700+税





ザ・ゴール～コミック版～

エリヤフ・ゴールドラット、ジェフ・コックス、岸良 裕司、青木 健生、蒼田山 著
ダイヤモンド社

世界の生産管理やサプライチェーン・マネジメントに多大な影響を与えた本「ザ・ゴール」のエッセンスをコンパクトにマンガ化。ストーリーを楽しみながら、全体最適のマネジメント理論である TOC の基本を理解できる。

日本経済新聞 2018/06/02

2014:12./ 222p
978-4-478-03939-7
本体 ¥1,200+税



ザ・ゴール～コミック版～<2> It's Not Luck

エリヤフ・ゴールドラット、岸良 裕司、青木 健生、蒼田山 著
ダイヤモンド社

多角事業部部長の吾郎に、傘下の 3 社を売却せよとの緊急動議が出され…。 「ザ・ゴール 2」の舞台を日本に置き換え、マンガ化。ストーリーを楽しみながら、あらゆる問題解決に使える最強の「思考プロセス」が身につく。

日本経済新聞 2018/06/02

2016:3./ 238p
978-4-478-06874-8
本体 ¥1,300+税



非営利組織の経営(ドラッカー名著集)

P. F. ドラッカー、上田 惇生 著
ダイヤモンド社

ボランティアは報酬を得ていないからこそ、自らの貢献から満足を得なければならぬ。無給ではあってもスタッフとしてマネジメントされなければならない。非営利組織のマネジメントについて、成功例をもって紹介する。

日本経済新聞 2018/06/02

2007:1./ 244p
978-4-478-30705-2
本体 ¥1,800+税



パスコースがない?じゃあ、つくればいい。～ルミ子の勝手にサッカー学～

小柳 ルミ子 著
東京書籍

サッカー観戦数は年間平均 2000 試合! 今もっとも注目されている論客、小柳ルミ子が圧倒的な「観戦力」から導き出した独自のサッカー論を伝える。直筆の「サッカー・ノート」も掲載。

日本経済新聞 2018/06/02

2018:5./ 191p
978-4-487-81112-0
本体 ¥1,400+税



変わる株主総会

森・濱田松本法律事務所 編
日本経済新聞出版社

株主総会に押し寄せる変化の波。招集通知の問題から運営、7 月総会・ヴァーチャル総会まで、第一線の実務家が解説する。弁護士らによるパネルディスカッションも収録。2018 年開催のセミナーをもとに書籍化。

日本経済新聞 2018/06/02

2018:4./ 247p
978-4-532-32207-6
本体 ¥2,400+税



シェイクスピア劇を楽しんだ女性たち～近世の観劇と読書～

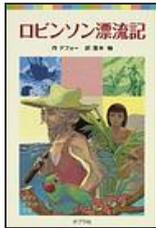
北村 紗衣 著
白水社

女性たちはいかにシェイクスピアを受容し、その正典化に影響を与えてきたか。フォリオへの書き込みが物語るもの、批評や研究、ファン的一大イベントなどを通して、18 世紀までの女性の観客や読者が果たした役割を探求する。

日本経済新聞 2018/06/02

2018:3./ 230p,79p
978-4-560-09600-0
本体 ¥2,800+税





ロビンソン漂流記(ポプラポケット文庫)

デフォー 著
ポプラ社

小さな頃から船乗りになるのが夢だったロビンソン。希望を胸に、広い海原に漕ぎ出します。ところがその航海の途中、嵐にあい、無人島へと流れ着きます。彼はそこでひとり、さまざまな困難に立ち向かうことに....。

2007:6./ 190p
978-4-591-09821-9
本体 ¥570+税



日本経済新聞 2018/06/02



十五少年漂流記(ポプラ世界名作童話 12)

J.ベルヌ 著
ポプラ社

夏休み、チェアマン寄宿学校の少年たちは数週間の船旅をするはずだったのに、船は子どもだけを乗せたまま嵐にあい、無人島へ...。世界中で愛され読みつがれてきた名作を、現代の児童文学作家が読みやすく再構成。

2016:11./ 161p
978-4-591-15178-5
本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2018/06/02



憎しみに抗って～不純なものへの賛歌～

カロリン・エムケ、浅井 晶子 著
みすず書房

人種主義、ファナティズム、民主主義への敵意。なぜ憎しみを公然と言うことが普通のことになったのか。ドイツのジャーナリストが、自分とは「違う」存在を作りだして攻撃するという、世界的に蔓延する感情に向き合う。

2018:3./ 211p
978-4-622-08670-3
本体 ¥3,600+税



日本経済新聞 2018/06/02



21世紀東南アジアの強権政治～「ストロングマン」時代の到来～

外山 文子、日下 渉、伊賀 司、見市 建 著
明石書店

ドゥテルテ、タックシン、ナジブなど、近年登場した新しいタイプの「ストロングマン」。人びとはなぜ強権的な指導者を選ぶのか? 気鋭の政治学者たちが、詳細な現地調査をもとに東南アジア民主化の行方を占う。

2018:3./ 257p
978-4-7503-4663-2
本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2018/06/02



ロシア語だけの青春～ミールに通った日々～

黒田 龍之助 著
現代書館

ロシア語学習にいそむ高校生が、人気語学教師になるまでの、厳しくも楽しいミール・ロシア語研究所の日々...。ロシア語のことしか考えていなかった自身の青春時代を振り返る。現代書館のホームページ連載に加筆し書籍化。

2018:3./ 188p
978-4-7684-5828-0
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/06/02



ミャンマー民主化運動～学生たちの苦悩、アウンサンスーチーの理想、民のころ～

伊野 憲治 著
めこん

ミャンマーの現状を念頭に置きながら 1988 年に始まる民主化運動を見直す書。民主化運動の歴史を著者が現地で記した日記の抜粋を交えて叙述し、民主化運動に身を投じた学生やアウンサンスーチー、民衆の論理を明らかにする。

2018:4./ 439p 図版
32p
978-4-8396-0311-3
本体 ¥5,000+税



日本経済新聞 2018/06/02



システムの科学 第3版

ハーバート・A・サイモン 著
パーソナルメディア

人工物の科学の本質とその可能性について、経済学・認知心理学・工学的デザイン論など広範な領域に関する議論を通して考え、「文明構築の論理」を明らかにする。87年刊に続く原著第3版の翻訳。(ソフトカバー)

1999:6./ 331p
978-4-89362-167-2
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/06/02



社会的葛藤の解決と社会科学における場の理論<1> 社会的葛藤の解決

クルト・レヴィン、ゲルトルード・ヴァイス・レヴィン 編

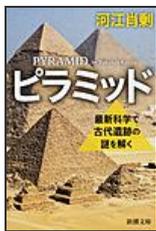
クルト・レヴィン、末永 俊郎 著
ちとせプレス

社会の実際問題をどのように把握し、解決の道筋を見出すことができるのか。レヴィンの実践的洞察の到達点。心理学に多大な足跡を残したクルト・レヴィンの古典的名著。

2017:12./ 18p,233p
978-4-908736-06-3
本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2018/06/02



ピラミッド〜最新科学で古代遺跡の謎を解く〜(新潮文庫 か-81-1)

河江 肖剩 著
新潮社

巨大建築物・ピラミッドをどのように作ったのか。なぜ作ったのか。そして作った人はどのような生活をしていたのか。気鋭の考古学者が、古代エジプト研究の最前線を紹介する。

2018:4./ 383p
978-4-10-121236-4
本体 ¥630+税



日本経済新聞 2018/06/02、朝日新聞 2018/06/09



流出した日本美術の至宝〜なぜ国宝級の作品が海を渡ったのか〜(筑摩選書 0159)

中野 明 著
筑摩書房

明治維新の混乱のなかで起きた日本美術の海外への大量流出。当時の記録を丹念に読み解き、外国人蒐集家と日本人の間で起きた美術品を巡る知られざるドラマの実態を明らかにするとともに、いまでも続く美術品流出の是非を問う。

2018:4./ 8p,299p,7p
978-4-480-01667-6
本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/06/02、朝日新聞 2018/06/16



ルポ保育格差(岩波新書 新赤版 1712)

小林 美希 著
岩波書店

どの保育園に入るかで、その子の一生が決まると言っても過言ではない。園の中でどのような保育が行われているのか? 園によって大きな違いがあるのはなぜなのか? 保育格差を取り上げた迫力のレポート。

2018:4./ 10p,240p
978-4-00-431712-8
本体 ¥840+税



日本経済新聞 2018/06/02、朝日新聞 2018/06/16、東京・中日新聞 2018/06/24



物語を忘れた外国語

黒田 龍之助 著
新潮社

外国語学習で大切なのは、TOEIC でも問題集でもありません。小説や映画など、物語から学ぶこと。神田外語大学特任教授の著者が、外国語学習の秘訣を教えます。『小説新潮』連載を加筆訂正して単行本化。

2018:4./ 191p
978-4-10-351721-4
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/06/02、朝日新聞 2018/06/23



柳宗悦・「無対辞」の思想

松竹 洸哉 著
弦書房

従来顧みられることのなかった<無対辞の一なる思想><存在するすべてを全肯定する思想>とは。陶工でもある著者が作陶の実感を踏まえながら、柳宗悦が観つづけた<一なる美>の本質を辿る。『道標』連載をもとに単行本化。

2018:4./ 304p
978-4-86329-168-3
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/06/02、東京・中日新聞 2018/06/17



拡張の世紀〜テクノロジーによる破壊と創造〜

ブレット・キング、上野 博 著
東洋経済新報社

来るべき世界に適応するには？ デジタルテクノロジーの最前線で何が起きているのか、そしてそれらが医療・交通・金融・都市・教育といった分野に及ぼす影響について、テーマ別に実例を挙げつつ具体的に解説する。

2018:3./ 565p
978-4-492-76242-4
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/06/02、毎日新聞 2018/06/10



スノーデン・ショック〜民主主義にひそむ監視の脅威〜

デイヴィッド・ライアン、田島 泰彦、大塚 一美、新津 久美子 著
岩波書店

スノーデンはアメリカ国家安全保障局のデータ監視がオーウェル「一九八四年」をはるかに凌ぐことを暴露した。打ち続くテロに対抗する「安全国家」の出現を見据え、デジタル時代の自由と民主主義を考える。

2016:4./ 18p,159p,35p
978-4-00-001084-9
本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2018/06/09



勝負と芸〜わが囲碁の道〜(岩波新書 新赤版 106)

藤沢 秀行 著
岩波書店

碁とは、勝負である前に創造であり芸術である—これは囲碁界最高のタイトル、棋聖位を六連覇した藤沢秀行の信念である。この現代の名棋士が、波瀾万丈の人生、日本・中国・韓国の囲碁界の現状と将来、自らの囲碁観を縦横に語る。

1990:1./ 198p
978-4-00-430106-6
本体 ¥700+税



日本経済新聞 2018/06/09



ライシテから読む現代フランス〜政治と宗教のいま〜(岩波新書 新赤版 1710)

伊達 聖伸 著
岩波書店

数々のテロ事件を受け、政治と宗教、共生と分断のはざまで揺れているフランス。国内第二の宗教であるイスラームとの関係をめぐり、2017年大統領選挙の主要争点ともなったライシテについて論じる。

2018:3./ 3p,243p
978-4-00-431710-4
本体 ¥840+税



日本経済新聞 2018/06/09



骨と墓の考古学〜大都市江戸の生活と病〜(角川ソフィア文庫 I149-1)

谷畑 美帆 著
KADOKAWA

再開発が続く都市の下に眠る江戸の骨。それらは、かつてこの町に暮らした近世人の姿をいきいきと物語る。けがや流行り病、食事や性生活、衛生状態や老後の暮らしまで、文献に残らない歴史を、古病理学が解き明かす。

2018:5./ 247p
978-4-04-400281-7
本体 ¥920+税



日本経済新聞 2018/06/09



情報武装する政治

西田 亮介 著
KADOKAWA

インターネット登場以後、さらなる技術革新とその利活用により、政治家、政党の表層はスマートになり、「政治が見せたい姿」を巧みに装うようになっている。自民党を中心に各政党のメディア戦略の実態を解き明かす。

2018:3./ 186p
978-4-04-400286-2
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/06/09



アクティブラーニング～学校教育の理想と現実～(講談社現代新書 2471)

小針 誠 著
講談社

学力は向上するのか。学力格差はどうなるのか。学校や教師の負担は…。新学習指導要領がもたらす未来は、本当にバラ色なのか? 明治から平成に至る教育史を辿りながら、2020年実施の改革の問題を探る。

2018:3./ 268p
978-4-06-288471-6
本体 ¥880+税



日本経済新聞 2018/06/09



戦艦大和ノ最期(講談社文芸文庫 Wide よ B1)

吉田 満 著
講談社

片道燃料のみで出撃し、孤立無援の中、巨体四裂し大海に没した「戦艦大和」。奇跡の生還を果たした若き士官が撃沈の記録を綴った、不朽の叙事詩。小林秀雄、三島由紀夫、吉川英治らの跋文も収録する。

2016:7./ 217p
978-4-06-295506-5
本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2018/06/09



ビッグデータの支配とプライバシー危機(集英社新書 0874)

宮下 紘 著
集英社

世界中の情報がつながり「ビッグデータ」が形成される今、人々のプライバシーは未曾有の危機にさらされている。ビッグデータの専制と支配から自由と尊厳を守るために何が必要なのか、新時代のプライバシー権について論じる。

2017:3./ 254p
978-4-08-720874-0
本体 ¥760+税



日本経済新聞 2018/06/09



縦ノ木は残った<上>(山本周五郎長篇小説全集 第1巻)

山本 周五郎 著
新潮社

山本周五郎の長篇・中篇小説を網羅。第1巻は、名を捨て、一身を賭して仙台藩を守った男の闘いを描いた「縦ノ木は残った」を、脚注付きで収録する。作者の言葉、系図・主要登場人物一覧・地図も掲載。

2013:6./ 549p
978-4-10-644041-0
本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/06/09



鬼才伝説～私の将棋風雲録～

加藤 一二三 著
中央公論新社

14歳でプロ棋士となり、「大神武以来の天才」と呼ばれた加藤一二三。羽生善治、谷川浩司など若き新鋭との激戦を繰り広げ、藤井聡太にそのバトンを渡した加藤一二三が、鬼才棋士との激動の対局を振り返る。

2018:2./ 268p
978-4-12-005054-1
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/06/09



リサイクルと世界経済～貿易と環境保護は両立できるか～(中公新書 2489)

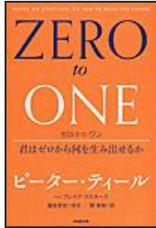
小島 道一 著
中央公論新社

海を越える資源か、環境を汚す廃棄物か。分別収集など国内で完結するイメージが強いリサイクルだが、中古品・再生資源は主要な貿易品目になっている。急速に拡大している国際的なリサイクルの現状と問題点を明らかにする。

2018:5./ 5p,224p
978-4-12-102489-3
本体 ¥820+税



日本経済新聞 2018/06/09



ゼロ・トゥ・ワン～君はゼロから何を生み出せるか～

ピーター・ティール、ブレイク・マスターズ 著

NHK出版

起業家集団「PayPal マフィア」の中心人物、ピーター・ティールのスタンフォード大学起業講義録から生まれた一冊。新しい何かを創造する企業をどう立ち上げるか、斬新なアイデアの数々を紹介する。

2014:9./ 253p
978-4-14-081658-5
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/06/09



インターネットは自由を奪う～<無料>という落とし穴～

アンドリュー・キーン、中島 由華 著

早川書房

一握りの企業が主導する流れは不可避なのか? これからのインターネットと社会のあり方を探る、メディアおよび IT 業界で議論を呼んだ警告の書を翻訳。ネット以後の法と社会をめぐる気鋭の弁護士・水野祐の解説も収録。

2017:8./ 351p
978-4-15-209703-3
本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2018/06/09



宇喜多の楽土

木下 昌輝 著

文藝春秋

心優しきリーダーの選択とは...。秀吉の寵愛を受けた俊才・宇喜多秀家。父・直家の跡を継ぎ、関ヶ原に出陣し、戦い、負け、八丈島で長い生涯を閉じるまでを描く長編小説。『別冊文藝春秋』連載を大幅に改稿し単行本化。

2018:4./ 349p
978-4-16-390652-2
本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/06/09



松本清張傑作短篇コレクション<上>(文春文庫)

松本 清張、宮部 みゆき 著

文芸春秋

日本経済新聞 2018/06/09

2004:11./ 541p
978-4-16-710694-2
本体 ¥770+税



江戸川乱歩傑作選<獣>(文春文庫 え 15-1)

江戸川 乱歩、桜庭 一樹 編

江戸川 乱歩 著

文芸春秋

江戸川乱歩の没後 50 年を記念する傑作選。デビュー作「二銭銅貨」、初期傑作にして異形の問題作「陰獣」、絢爛と恐怖の箱庭世界「パノラマ島綺譚」など、桜庭一樹が厳選した 7 編と随筆 2 編を収録。

2016:2./ 431p
978-4-16-790531-6
本体 ¥650+税



日本経済新聞 2018/06/09



江戸川乱歩傑作選<鏡>(文春文庫 え 15-2)

江戸川 乱歩、湊 かなえ 編
江戸川 乱歩 著

文藝春秋

江戸川乱歩の没後 50 年を記念する傑作選。避暑先の旅館でレンズ越しに目撃した殺人をめくり、謎めいた結末を迎える中編「湖畔亭事件」など、湊かなえが厳選したミステリ 7 編と随筆 3 編を収録。

2016:2./ 426p
978-4-16-790551-4

本体 ¥650+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 0 5 5 1 4 *

日本経済新聞 2018/06/09



江戸川乱歩傑作選<蟲>(文春文庫 え 15-3)

江戸川 乱歩、辻村 深月 編
江戸川 乱歩 著

文藝春秋

江戸川乱歩の没後 50 年を記念する傑作選。恋する美女に嘲笑された孤独な男の妄執を綿密に描く「蟲」、四肢を失って帰還した軍人と妻の関係を描いた「芋虫」など、辻村深月が厳選した傑作 9 編と随筆 3 編を収録。

2016:11./ 437p
978-4-16-790733-4

本体 ¥720+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 0 7 3 3 4 *

日本経済新聞 2018/06/09



宇喜多の捨て嫁(文春文庫 き 44-1)

木下 昌輝 著

文藝春秋

娘の嫁ぎ先を攻め滅ぼすことも厭わず、権謀術数を駆使して戦国時代を駆け抜けた戦国大名・宇喜多直家。裏切りと策謀にまみれた男の真実の姿とは一体…。ピカレスク歴史小説。高校生直木賞ルポも収録。

2017:4./ 399p
978-4-16-790826-3

本体 ¥740+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 0 8 2 6 3 *

日本経済新聞 2018/06/09



山本周五郎名品館<3> 寒橋(文春文庫 や 69-3)

沢木 耕太郎 編

山本 周五郎 著

文藝春秋

膨大な山本周五郎の作品群から、名品を選びに選んだ短編傑作選第 3 弾。武士の、同輩への友情と許婚への断ち切れぬ愛情との葛藤を描く「落ち梅記」のほか、「人情裏長屋」「あすなろう」など全 9 編を収録する。

2018:6./ 473p
978-4-16-791090-7

本体 ¥870+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 1 0 9 0 7 *

日本経済新聞 2018/06/09



新訳老人と海

E.ヘミングウェイ、宮永 重良 著

文芸社

ヘミングウェイの名作の新訳本。海と船に造詣の深い訳者によって情景がよりリアルに。

2015:4./ 152p
978-4-286-16101-3

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 2 8 6 1 6 1 0 1 3 *

日本経済新聞 2018/06/09



ビッグデータという独裁者～「便利」とひきかえに「自由」を奪う～

マルク・デュガン、クリストフ・ラベ、鳥取 絹子 著
筑摩書房

IT の発達と普及によりビッグデータが生活を便利にしてきたが、同時に個人のデータを吸い上げ監視し孤立させ、自由も尊厳も国家も不要となる。この社会の行き着く果てを推論する。

2017:3./ 220p
978-4-480-86449-9
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/06/09



法学の誕生～近代日本にとって「法」とは何であったか～

内田 貴 著
筑摩書房

西洋社会に深く根差した思想・文化である法学。全く異質な文化的土壌をもった日本社会は、いかにしてそれまでにない思考様式を受容したのか。近代国家の骨格をつくり上げた明治日本の先人達の苦闘の歴史をあざやかに描き出す。

2018:3./ 412p,7p
978-4-480-86726-1
本体 ¥2,900+税



日本経済新聞 2018/06/09



ミラノ霧の風景

須賀 敦子 著
白水社

日本経済新聞 2018/06/09

1990:12./ 216p
978-4-560-04179-6
本体 ¥1,800+税



吉田満 戦艦大和学徒兵の五十六年

渡辺 浩平 著
白水社

戦艦大和の特攻作戦から奇跡の生還を果たし、戦後を生きた吉田満。彼はなぜ、自分は理解されていないと嘆いたのか。彼を直接知る人の話や資料をもとに、吉田満の 56 年の生涯をあとづけながら、彼が伝えたかったことを探る。

2018:4./ 269p
978-4-560-09626-0
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/06/09



ロシアの愛国主義～プーチンが進める国民統合～(サピエンティア 52)

西山 美久 著
法政大学出版局

国民統合はロシアの重要な政治課題であり続けてきた。ソ連崩壊後のロシア、とりわけプーチン政権期に焦点を当て、ナショナル・アイデンティティの再構築を目的に進められた愛国主義政策の内実を明らかにする。

2018:5./ 7p,314p,21p
978-4-588-60352-5
本体 ¥3,600+税



日本経済新聞 2018/06/09



どれがほんと?～万太郎俳句の虚と実～

高柳 克弘 著
慶應義塾大学出版会

虚と実のはざまにたゆたう普遍的な詩情を、卓越した言葉の芸で生み出し続けた久保田万太郎。だれもが感受するその特質と危うい魅力を、俳句の本質に迫りつつ論じた、若手俳人の画期的評論。

2018:4./ 181p
978-4-7664-2513-0
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/06/09



社会契約論(まんがで読破)
 ルソー、バラエティ・アートワークス 著
 イースト・プレス
 日本経済新聞 2018/06/09

2011:4./ 189p
 978-4-7816-0578-4
 本体 ¥552+税




1984年(まんがで読破 MD100)
 イースト・プレス
 日本経済新聞 2018/06/09

2012:2./ 182p
 978-4-7816-0726-9
 本体 ¥552+税




リーン・スタートアップ～ムダのない起業プロセスでイノベーションを生み出す～
 エリック・リース、井口 耕二 著
 日経BP社
 思い込みは捨てて、顧客から学ぼう! 「構築-計測-学習」というフィードバックループを通して、顧客も製品・サービスも生み出し育てる、シリコンバレー発、注目のマネジメント手法を紹介する。

2012:4./ 406p
 978-4-8222-4897-0
 本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/06/09



スタートアップ・ウェイ～予測不可能な世界で成長し続けるマネジメント～
 エリック・リース、井口 耕二 著
 日経BP社
 チームも会社もなぜ停滞するのか。価値ある製品イノベーションを推進する構造の作り方、やりがいが大きくなる仕事の組み立て方など、成果を出し続ける革新メソッドを紹介する。「リーン・スタートアップ」の応用編。

2018:5./ 462p
 978-4-8222-5569-5
 本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/06/09



ピーター・ティール～世界を手にした「反逆の起業家」の野望～
 トーマス・ラッポルト、赤坂 桃子 著
 飛鳥新社
 フェイスブックを最初期から支える超大物投資家ピーター・ティール。「ペイパル」創業者でトランプ政権の仕掛人でもある彼の多彩なパーソナリティと、彼が果たしている数多くの役割の全貌を究明する。

2018:5./ 315p
 978-4-86410-601-6
 本体 ¥1,574+税



日本経済新聞 2018/06/09



中国、香港、台湾におけるリベラリズムの系譜
 中村 元哉 著
 有志舎
 「民主か独裁か」という切り口だけでは現代中国は読み解けない。香港の「雨傘運動」、台湾の「ひまわり運動」、中国の民主化を求める動きの奥底にある思想水脈を明らかにし、歴史の中から現代中国への新しい視点を提示する。

2018:5./ 10p,249p
 978-4-908672-22-4
 本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2018/06/09



太宰治の手紙～返事は必ず必ず要りません～(河出文庫 た5-2)

太宰 治、小山 清 編

太宰 治 著

河出書房新社

あふれる優しさ、誠実さ、含羞、そしてダメさ加減。太宰治が数え年 25 歳から 32 歳までの 8 年間に、師・井伏鱒二、作家・木山捷平、私淑した小山清、若い友人・高田英之助らへ送った 100 通の手紙を収録する。

2018:6./ 218p

978-4-309-41616-8

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2018/06/09、読売新聞 2018/06/17



平等と効率の福祉革命～新しい女性の役割～

イエスタ・エスピン=アンデルセン 著

岩波書店

似た者同士の結婚が社会の二極化につながっている?! ジェンダー平等・格差・次世代育成・年金問題を同時に取り上げ、問題解決への道筋を示す。比較福祉レジーム論の第一人者による提言。

2011:11./ 11p,246p

978-4-00-024512-8

本体 ¥3,800+税



日本経済新聞 2018/06/16



英国一家、日本をおかわり

マイケル・ブース、寺西 のぶ子 著

KADOKAWA

英国人フードジャーナリスト一家が、またまた日本を食べにやって来た! ハブ酒や豆腐ように顔をしかめ、鮎寿司にくらくら...沖縄に始まり北海道へ、B 級から三ツ星までを食べ尽くす。列島縦断珍道中、爆笑の体験型食エッセイ!

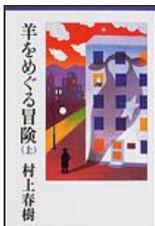
2018:3./ 427p

978-4-04-103890-1

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/06/16



羊をめぐる冒険<上>(講談社文庫)

村上 春樹 著

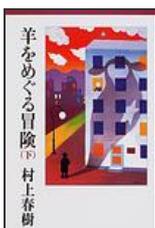
講談社

日本経済新聞 2018/06/16

2004:11./ 268p

978-4-06-274912-1

本体 ¥500+税



羊をめぐる冒険<下>(講談社文庫)

村上 春樹 著

講談社

日本経済新聞 2018/06/16

2004:11./ 257p

978-4-06-274913-8

本体 ¥500+税



哲学の練習問題(講談社学術文庫 2480)

河本 英夫 著

講談社

人は、なぜ自転車に乗れるようになるのだろうか? なぜ逆上がりができるようになるのだろうか? からだに「聴く」から脳に効く! 発達をリセットし、新たな能力の形成運動を引き起こす、オートポイエーシスの練習問題を紹介します。

2018:4./ 288p

978-4-06-292480-1

本体 ¥1,050+税



日本経済新聞 2018/06/16

**ちいさいひと～青葉児童相談所物語～<1>(少年サンデーコミックス)**

夾竹桃 ジン、水野 光博 著
 小学館
 日本経済新聞 2018/06/16

2011:11./ 160p
 978-4-09-123449-0
 本体 ¥419+税

**新・ちいさいひと～青葉児童相談所物語～<1>(少年サンデーコミックス)**

夾竹桃 ジン、水野 光博、小宮 純一 著
 小学館
 守りたい命がある。取り戻したい笑顔がある。駆け出しの児童福祉司・相川健太は、今日も子ども達のために奔走中!健太が働く青葉児童相談所に新たな仲間も加わり、物語は新たなステージへ。

2016:12./ 1冊(ページ付なし)
 978-4-09-127432-8
 本体 ¥429+税

日本経済新聞 2018/06/16

**健康で文化的な最低限度の生活<6>(ビッグコミックス)**

柏木 ハルコ 著
 小学館
 【生活保護】の現場を舞台に、一人の人間のドラマを通して描かれる、「人は変わるのか?」という深いテーマを本章から感じ取って欲しいです。綿密な取材から構成された専門家も絶賛の本作品、ぜひご一読ください!

2018:1./ 1冊(ページ付なし)
 978-4-09-189786-2
 本体 ¥552+税

日本経済新聞 2018/06/16

**マザリング・サンデー(CREST BOOKS)**

グレアム・スウィフト 著
 新潮社
 1924年春、メイドに許された年に一度の里帰りの日「マザリング・サンデー」。孤児院で育ち、帰る家のないジェーンは、生涯忘れられない悦びと喪失を味わい…。人生を一変させた美しき日を、熟練の筆で精緻に描く。

2018:3./ 170p
 978-4-10-590145-5
 本体 ¥1,700+税

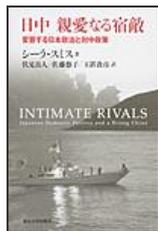
日本経済新聞 2018/06/16

**奇跡の四国遍路(中公新書ラクレ 614)**

黛 まどか 著
 中央公論新社
 美しくも厳しい四国の山野を、施しを受け、ぼろ切れのようになりながら歩き継ぐ。お遍路の果てに俳人・黛まどかがつかんだものは、『東京新聞』『中日新聞』連載を改稿し書籍化。情報学者・西垣通との巡礼問答も収録。

2018:3./ 254p
 978-4-12-150614-6
 本体 ¥820+税

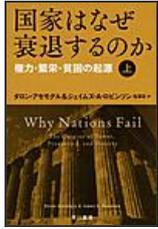
日本経済新聞 2018/06/16

**日中 親愛なる宿敵～変容する日本政治と対中政策～**

シーラ・スミス、伏見 岳人、佐藤 悠子、玉置 敦彦 著
 東京大学出版会
 靖国問題、海洋権益、食の安全、尖閣諸島を巡る対立などの日中関係の問題点を、米国の知日派が冷静に分析。大国へと台頭する中国に対応する日本の取り組みを詳しく解明する。

2018:3./ 17p,307p
 978-4-13-036268-9
 本体 ¥4,800+税

日本経済新聞 2018/06/16



国家はなぜ衰退するのか～権力・繁栄・貧困の起源～<上>(ハヤカワ文庫 NF 464)

ダロン・アセモグル、ジェイムズ・A.ロビンソン、鬼澤 忍 著

早川書房

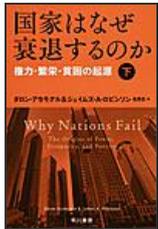
世界にはなぜ豊かな国と貧しい国が存在するのか? 長期的な経済発展の成否を左右する最も重要な要因は、政治経済制度の違いであることを、歴史的な比較分析で論証する。

2016:5./ 414p
978-4-15-050464-9

本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2018/06/16



国家はなぜ衰退するのか～権力・繁栄・貧困の起源～<下>(ハヤカワ文庫 NF 465)

ダロン・アセモグル、ジェイムズ・A.ロビンソン、鬼澤 忍 著

早川書房

世界にはなぜ豊かな国と貧しい国が存在するのか? 長期的な経済発展の成否を左右する最も重要な要因は、政治経済制度の違いであることを、歴史的な比較分析で論証する。

2016:5./ 410p
978-4-15-050465-6

本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2018/06/16



江戸吉原の経営学

日比谷 孟俊 著

笠間書院

多様な文化を内包する江戸の遊里・吉原。従来の研究が進められてきた文化的側面を俯瞰しつつ、一次資料や当時の案内書などの情報から経営面を実証的に検証。妓楼の経営者たちや経営実態、遊女のマネジメント等を読み解く。

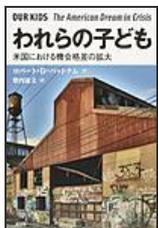
2018:3./ 362p

978-4-305-70892-2

本体 ¥5,400+税



日本経済新聞 2018/06/16



われらの子ども～米国における機会格差の拡大～

ロバート・D.パットナム、柴内 康文 著

創元社

子どもたちの出自における貧富の差が、いかにして機会の格差につながっていくのか。社会関係資本論の第一人者が、<夢なき社会>を生んだ米国の貧困を、子どもの物語と社会調査で活写する。

2017:3./ 381p

978-4-422-36001-0

本体 ¥3,700+税



日本経済新聞 2018/06/16



ブルー・オーシャン戦略～競争のない世界を創造する～ 新版(Harvard Business Review Press)

W.チャン・キム、レネ・モボルニュ、入山 章栄、有賀 裕子 著

ダイヤモンド社

血みどろの競争が展開するレッド・オーシャンに別れを告げ、競争がなく新規需要に満ちた、高成長と高収益に?がる市場、すなわち「ブルー・オーシャン」をいかに創造するのか。実践への道筋をより具体的に示した新版。

2015:9./ 371p

978-4-478-06513-6

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/06/16



ブルー・オーシャン・シフト

W.チャン・キム、レネ・モボルニュ、有賀 裕子 著
ダイヤモンド社

あらゆる組織がレッド・オーシャンからブルー・オーシャンへ移行<シフト>できる！
自信を呼び起こし新たな成長機会を?み取る方法を解説する。ブルー・オーシャン
へのシフトに成功した日本企業の4つの事例も掲載。

日本経済新聞 2018/06/16

2018:4./ 12p,391p
978-4-478-10035-6

本体 ¥2,100+税



* 9 7 8 4 4 7 8 1 0 0 3 5 6 *



欧州ポピュリズム～EU 分断は避けられるか～(ちくま新書 1327)

庄司 克宏 著
筑摩書房

いまや欧州の政治は、親 EU の既成政党と反 EU のポピュリスト政党という対立軸
で動いている。ポピュリズムの台頭を招いた要因はなにか。EU の基本理念である
リベラリズムは守られるのか。その統治機構や政策から分析する。

日本経済新聞 2018/06/16

2018:5./ 218p

978-4-480-07142-2

本体 ¥780+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 7 1 4 2 2 *



戦火の欧州・中東関係史～収奪と報復の200年～

福富 満久 著
東洋経済新報社

欧州と中東における戦火の根源と諸問題とは。オスマン帝国崩壊から現代まで、
オスマン帝国がかつて支配した領域にある北アフリカ諸国を含む諸国家およびイ
ランを「中東」として、欧州とのこれまでの歴史を論じる。

日本経済新聞 2018/06/16

2018:5./ 350p

978-4-492-44446-7

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 4 9 2 4 4 4 4 6 7 *



新釈漢文大系<109> 白氏文集

岡村 繁 著
明治書院

白居易の詩文集「白氏文集」の訳注本(1?12 下)全 15 巻の索引。作品名索引・語
彙索引・日本文学関連作品名索引を収録するほか、全 15 巻の目次も再録。巻末
に補遺番号対照表、各巻執筆者・刊行年月一覧付き。

日本経済新聞 2018/06/16

2018:5./ 4p,418p

978-4-625-67325-2

本体 ¥9,000+税



* 9 7 8 4 6 2 5 6 7 3 2 5 2 *



文明崩壊～滅亡と存続の命運を分けるもの～<上巻>(草思社文庫 ダ 1-3)

ジャレド・ダイヤモンド、楡井 浩一 著
草思社

かつて隆盛を極めていた社会はなぜ崩壊し消滅してしまったのか。中米のマヤ、
北米のアナサジ、東ポリネシアのイースター島など、数々の文明崩壊の実例を検
証し、共通するパターンを導き出す。

日本経済新聞 2018/06/16

2012:12./ 553p

978-4-7942-1939-8

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 7 9 4 2 1 9 3 9 8 *



文明崩壊～滅亡と存続の命運を分けるもの～<下巻>(草思社文庫 ダ 1-4)

ジャレド・ダイヤモンド 著
草思社

問題解決に成功した社会例として、徳川幕府の育林政策で森林再生を果たした
江戸時代の日本、過酷な人口制限で社会のバランスを保つティコピア島等を検
証。現代の中国やオーストラリアの惨状も分析し、崩壊を免れる道を探る。

日本経済新聞 2018/06/16

2012:12./ 547p

978-4-7942-1940-4

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 7 9 4 2 1 9 4 0 4 *



私にはいなかった祖父母の歴史～ある調査～

イヴァン・ジャブロンカ、田所 光男 著
名古屋大学出版会

これは殺人捜査ではなく、生成の行為だ。歴史家の著者が、スターリン主義、第二次世界大戦、ヨーロッパ・ユダヤ世界の破壊という 20 世紀の悲劇によって葬り去られてしまった祖父母の足跡を辿る。

2017:7./ 4p,371p,39p

978-4-8158-0879-2

本体 ¥3,600+税



日本経済新聞 2018/06/16



歴史は現代文学である～社会科学のためのマニフェスト～

イヴァン・ジャブロンカ、真野 倫平 著
名古屋大学出版会

真実と物語の間で揺れ動き、その意義を問われてきた歴史は、ポストモダニズムの懐疑を乗り越えた後で、「歴史の論理」を立て直すことができるのか。自らの実践に基づき、社会科学と文学の手法を和解させ、歴史記述を刷新する。

2018:5./ 8p,278p,32p

978-4-8158-0908-9

本体 ¥4,500+税



日本経済新聞 2018/06/16



ビジナリーカンパニー<4> 自分の意志で偉大になる

ジム・コリンズ、モートン・ハンセン 著

日経BP社

膨大なデータの分析により、市場平均・業界平均を最低でも 10 倍上回る業績を継続してきたエクセレント企業 7 社を発見。狂信的規律、実証的創造力、建設的パラノイアをもつ 10X 型指導者のマネジメントの秘密に迫る。

2012:9./ 492p

978-4-8222-4923-6

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/06/16



だからキミの悩みは黄金に輝く～西部邁の人生相談～(ジョルダンブックス)

西部 邁 著

ジョルダン

評論家・西部邁が、脱出不能と思いついでいる深刻な相談にズバリ切り込み、ありきたりの回答とは全く異質の託宣を下す。Web サイト『読書の時間』連載をまとめて単行本化。

2009:4./ 129p

978-4-915933-20-2

本体 ¥952+税



日本経済新聞 2018/06/16



ことばと遊び、言葉を学ぶ～日本語・英語・中学校特別授業～

柳瀬 尚紀 著

河出書房新社

ことば遊びの面白さ、辞書を引くことの大切さ、英語の体得法…。新しいコトバの世界に生徒たちは瞳を輝かせた！ ジェイムズ・ジョイスなどの名訳を手がけた英米文学翻訳家が、3 つの中学で行った最後の授業の全容を収録。

2018:4./ 213p

978-4-309-02665-7

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/06/16、毎日新聞 2018/06/17



《決定版》母に歌う子守唄～介護、そして見送ったあとに～(朝日文庫 お 27-7)

落合 恵子 著

朝日新聞出版

7 年の介護生活を経て母は逝った。襲ってくる後悔、空いた時間。大切な人を亡くした悲しみと、どう向かい合うか…。前二作からの 35 編に、見送った後の日々を綴った『東京新聞』連載を加えた介護・見送りエッセイの決定版。

2017:7./ 225p

978-4-02-264852-5

本体 ¥620+税



日本経済新聞 2018/06/23



「かたり」の日本思想～さとりとわらいの力学～(角川選書 603)

出岡 宏 著

KADOKAWA

鎮魂、勸善懲悪、さとり、わらい…。人の営みのある限り、逃れられない永遠のテーマを、能や狂言、歌舞伎といった様々な芸能に託し、表現しながら自らの生を全うしてきた日本人の価値観、死生観を俯瞰する。

2018:4./ 281p

978-4-04-703618-5

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/06/23



戦後と災後の間～溶融するメディアと社会～(集英社新書 0938)

吉見 俊哉 著

集英社

フクシマ、トランプ、政治とマスコミの癒着、公文書問題、日常に迫るテロ…。東日本大震災後の2010年代に足場を置き、戦後と災後の間を考察し、未来への展望を示す。『北海道新聞』等掲載をもとに加筆・修正し書籍化。

2018:6./ 221p

978-4-08-721038-5

本体 ¥820+税



日本経済新聞 2018/06/23



日本の原子力外交～資源小国70年の苦闘～(中公叢書)

武田 悠 著

中央公論新社

1945年から福島原発事故を経て、原発が再稼働する2015年頃までの約70年間、日本政府はいかに平和利用と核不拡散を両立させようとしてきたか。日米関係を中心とした日本の原子力外交の歴史を紐解く。

2018:5./ 298p

978-4-12-005084-8

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/06/23



自動車会社が消える日(文春新書 1147)

井上 久男 著

文藝春秋

クルマがスマホ化する近未来。自動車産業の頂点に君臨する完成車メーカーが、IT企業や巨大部品メーカーの下請けになる日が来るのか。自動車産業を取り巻く状況と日本の自動車会社を中心に、プレイヤーたちの現状を解説する。

2017:11./ 228p

978-4-16-661147-8

本体 ¥830+税



日本経済新聞 2018/06/23



六〇年安保～センチメンタル・ジャーニー～(文春学芸ライブラリー)

西部 邁 著

文藝春秋

保守派の論客であった著者の原点は、安保闘争で闘った学生時代にあった。自らと共に戦った盟友達の内面の葛藤、焦燥感や虚無感と理想の相克を通じ、あの「空虚な祭典」とは何だったのかを問い直す。

2018:6./ 231p

978-4-16-813074-8

本体 ¥1,250+税



日本経済新聞 2018/06/23



先史学者プラトン～紀元前一万年-五千年の神話と考古学～

メアリー・セットガスト、山本 貴光、吉川 浩満 著

朝日出版社

戦争も、信仰も、アートも、先史時代に始まった。「アトランティス島」について語ったプラトンの著作「ティマイオス」などを現代考古学の知見をもとに読み直し、神話と考古学の最古層に「文明以前の人類世界」を探る。

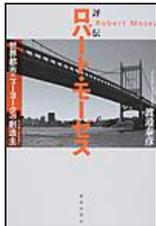
2018:4./ 477p

978-4-255-01049-6

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/06/23



評伝ロバート・モーゼス～世界都市ニューヨークの創造主～

渡邊 泰彦 著
鹿島出版会

20 世紀のニューヨークが生んだ稀代の能吏、ロバート・モーゼス。パークウェイ、国連本部等の実現にかかわり、当時の米国大統領、ニューヨーク知事らと熾烈な権力と欲望の闘争を繰り広げた彼の一生を綴る。

日本経済新聞 2018/06/23

2018:4./ 299p
978-4-306-07341-8

本体 ¥2,600+税



泣きかたをわすれていた

落合 恵子 著
河出書房新社

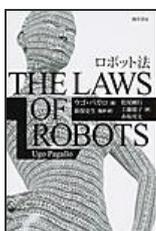
冬子、72 歳。7 年にわたる認知症の母の介護、そして愛するひとたちを見送った先に広がる、大いなる解放とは。著者 21 年ぶりの長篇小説。『文藝』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2018/06/23

2018:4./ 221p

978-4-309-02671-8

本体 ¥1,500+税



ロボット法

ウゴ・パガロ、新保 史生、松尾 剛行、工藤 郁子、赤坂 亮太 著
勁草書房

ロボット技術の発展が法に投げかける挑戦とはどのようなもので、法はそれにいかに対応するべきか。実定法上の問題を 27 に分類し、詳細に検討するとともに、法哲学的分析を行う。

日本経済新聞 2018/06/23

2018:1./ 26p,237p

978-4-326-40345-5

本体 ¥4,500+税



フランシス・ベイコン・インタビュー(ちくま学芸文庫 へ 11-1)

フランシス・ベイコン、デイヴィッド・シルヴェスター、小林 等 著
筑摩書房

自然主義的リアリズムを否定し、神経組織に直接伝わるようなまったく新しいリアリティーを創造し、現代絵画に多大な影響を与えたベイコンのインタビュー集。ベイコンに関する論考では必ず引用されてきた重要な書を文庫化。

日本経済新聞 2018/06/23

2018:6./ 308p

978-4-480-09854-2

本体 ¥1,300+税



遅刻してくれて、ありがとう～常識が通じない時代の生き方～<上>

トーマス・フリードマン、伏見 威蕃 著
日本経済新聞出版社

「平均的で普通な」人生を送ることが難しくなった「今」という時代を、どう解釈したらいいか? 変化によるダメージを最小限に抑え、革新的技術に対応するには? 「加速の時代」に繁栄するヒントをさまざまな形で示す。

日本経済新聞 2018/06/23

2018:4./ 435p

978-4-532-17633-4

本体 ¥1,800+税



遅刻してくれて、ありがとう～常識が通じない時代の生き方～<下>

トーマス・フリードマン、伏見 威蕃 著
日本経済新聞出版社

協力、共感、柔軟性といったロボットに欠けたスキルを身につけ、人並みに暮らすには? 人間が AI の力を借りて、もっと生産的で豊かになるような未来を描くには? 「加速の時代」に繁栄するヒントをさまざまな形で示す。

日本経済新聞 2018/06/23

2018:4./ 419p

978-4-532-17634-1

本体 ¥1,800+税





2022年の次世代自動車産業～異業種戦争の攻防と日本の活路～(PHP ビジネス新書 394)

田中 道昭 著

PHP研究所

「次世代自動車産業」を巡る戦いは、自動車メーカーのみならず、IT 企業などがしのぎを削る“異業種戦争”といっても過言ではない。日本勢はどうすれば勝ち残れるのか。「戦いの構図」を整理し、日本の活路を探る。

2018:6./ 477p
978-4-569-84059-8

本体 ¥1,150+税



日本経済新聞 2018/06/23



水族館の文化史～ひと・動物・モノがおりなす魔術的世界～

溝井 裕一 著

勉誠出版

古代の養魚池文化から、黎明期の水族館のユニークな展示、第二次世界大戦中の苦難、展示のストーリー化、さらにはヴァーチャル・リアリティ技術とのハイブリッド化まで、古今東西の水族館文化を図版とともに概観する。

2018:6./ 5p,359p

978-4-585-22210-1

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/06/23



青年海外協力隊は何をもたらしたか～開発協力とグローバル人材育成 50年の成果～

岡部 恭宜 著

ミネルヴァ書房

2015年に創設50周年を迎えた青年海外協力隊。隊員への意識調査やインタビュー、参与観察や一次資料等を駆使し、隊員の実際の活動のほか、事業の制度や組織を総合的に分析。協力隊の役割を捉え直し、その意義を検証する。

2018:5./ 10p,326p

978-4-623-07621-5

本体 ¥4,500+税



日本経済新聞 2018/06/23



ロボット・AIと法

宍戸 常寿 編

有斐閣

ロボット・AI が社会に受容され、活用されるためには、それらに対応するための法制度の整備が必要となる。現在生じつつある問題から近未来に起きうる問題までを視野に入れ、法学からの知見を提示する。

2018:4./ 12p,316p

978-4-641-12596-4

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2018/06/23



自動運転と法

藤田 友敬 編

有斐閣

自動運転車の普及が現実味を帯びる中、事故などの際の法的責任のあり方が議論となっている。研究者・実務家らが、自動運転の現況を紹介したうえで、自動運転に関する法制度について解釈論・立法論的な検討を行う。

2018:1./ 15p,289p

978-4-641-12599-5

本体 ¥3,900+税



日本経済新聞 2018/06/23



チツソは私であった

緒方 正人 著
葦書房

加害者責任を問う水俣病から、自らの責任が問われるどんでん返し起きた。水俣病患者の未認定運動から離脱し、独自の運動を展開する著者が、これまでに活字化した講演・談話をテーマ別に構成しなおしたもの。

日本経済新聞 2018/06/23

2001:10./ 223p
978-4-7512-0818-2
本体 ¥2,200+税



ティマイオス/クリティアス

プラトン、岸見 一郎 著
現代書館

プラトンの著作中、もっとも広く長く読み継がれてきた、宇宙創造から人類の誕生までを物語る壮大な「ティマイオス」と、アトランティス伝説で有名な未完の続編「クリティアス」をあわせて訳出する。

日本経済新聞 2018/06/23

2015:10./ 221p
978-4-7684-7959-9
本体 ¥2,200+税



アジアに生きるイスラーム

笹川平和財団 編
イースト・プレス

アジアにはさまざまな文化と融合し、育ってきたイスラームが存在する。フィリピン、タイ、ミャンマー、スリランカなど、アジアをフィールドに 13 組の研究者が、「イスラーム」を通して見てきた人びとの暮らしを綴る。

日本経済新聞 2018/06/23

2018:4./ 333p
978-4-7816-1658-2
本体 ¥1,600+税



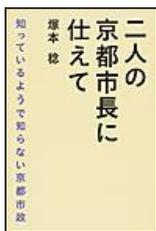
億万長者サッカークラブ～サッカー界を支配する狂気のマナーゲーム～

ジェームズ・モンタギュー、田邊 雅之 著
カンゼン

名門サッカークラブのスーパーリッチなオーナーたち。なぜ、彼らはサッカー界に巨万の富をつぎ込むのか？ ロシアの新興成金、アラブの王族、中国の企業…。英国人ジャーナリストが、各国の事例を挙げ、金と権力の闇に迫る。

日本経済新聞 2018/06/23

2018:2./ 413p
978-4-86255-443-7
本体 ¥2,200+税



二人の京都市長に仕えて～知っているようで知らない京都市政～

塚本 稔 著
リーフ・パブリケーションズ

日本の中で独特のポジションを有する京都において、二人の市長は何を重点に据えて市政に取り組んだのか？ 京都市役所で 34 年間働いた元・副市長が、榎本元市長と門川市長による京都変革の軌跡を綴る。

日本経済新聞 2018/06/23

2018:3./ 12p,222p
978-4-908070-41-9
本体 ¥1,700+税



獄中からの手紙(岩波文庫)

マハトマ・ガンディー、ジュアン・エルベール 著
岩波書店

日本経済新聞 2018/06/30

2010:7./ 105p
978-4-00-332611-4
本体 ¥540+税





武士の日本史(岩波新書 新赤版 1718)

高橋 昌明 著
岩波書店

鎧兜に身を固め、駿馬で戦場を駆けめぐり、刀をふるっては勇猛果敢に斬り結ぶ。そんな武士の姿は、はたしてどこまで「史実」か? 長年武士研究を牽引してきた著者が、歴史学の最新の成果をもとに武士の実像を描く。

2018:5./ 4p,280p
978-4-00-431718-0

本体 ¥880+税



日本経済新聞 2018/06/30



すごい葬式～笑いで死を乗り越える～(朝日新書 672)

小向 敦子 著
朝日新聞出版

笑いこそは、死という不条理に一矢報いることのできる唯一の行為。気鋭の老年学者が、歴史をひもとき、最新の葬送事情を取材しつつ、死を乗り越える行為としての「笑い」について考察する。

2018:6./ 239p

978-4-02-273772-4

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2018/06/30



ののほな通信

三浦 しをん 著
KADOKAWA

横浜のお嬢様学校に通う、クールで毒舌なののと、天真爛漫なはな。親友同士となった2人だが、ののほなに友情以上の気持ちを抱き…。少女たちの20年超を全編書簡形式で紡ぐ。『小説屋 sari-sari』掲載を書籍化。

2018:5./ 448p

978-4-04-101980-1

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/06/30



キリの理容室

上野 歩 著
講談社

女性も通える理容店を開くという野望を叶えるべく、理容専門学校を卒業した神野キリ、20歳。ベテラン理容師の千恵子が1人で切り盛りするパーバーチャーで修業することになるが、雑用ばかりの毎日で…。

2018:5./ 316p

978-4-06-221087-4

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/06/30



シーア派とスンニ派～中東大混迷を解く～(新潮選書)

池内 恵 著
新潮社

シーア派とスンニ派の違いの淵源をはじめ、シーア派が台頭し、それに対する警戒感が高まる経緯をたどりつつ、宗派对立の実相を探る。「サイクス=ピコ協定百年の呪縛」に続く<池内・中東ブックレット>第2弾。

2018:5./ 143p

978-4-10-603825-9

本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2018/06/30



ヤングケアラー～介護を担う子ども・若者の現実～(中公新書 2488)

澁谷 智子 著
中央公論新社

家族の介護を行う18歳未満の子ども、ヤングケアラー。その現状について、調査データ、当事者の声、海外の事例、現在の取り組みを紹介。学業や日常生活に影響が及ぶ状況といかに向き合うべきかを考える。

2018:5./ 6p,211p

978-4-12-102488-6

本体 ¥800+税



日本経済新聞 2018/06/30



公務員制(行政学叢書 11)

西尾 隆 著

東京大学出版会

政府職員の地位・能力・役割・行動・処遇・規律などを枠づける公式・非公式の政治行政システムである公務員制。その特徴と傾向、天下りや民主的統制といった課題、および改革のゆくえを、近現代日本の行政史の中で考える。

2018:4./ 9p,232p,8p

978-4-13-034241-4

本体 ¥2,900+税



日本経済新聞 2018/06/30



新薬の狩人たち～成功率 0.1%の探求～

ドナルド・R.キルシュ、オギ・オーガス、寺町 朋子 著

早川書房

人類はありとあらゆる手段を駆使して新薬をつくりだしてきた! 先人たちのあくなき挑戦の歴史とともに、さまざまな薬の開発秘話、ドラッグハンター(新薬研究者)の今後などについてつづる。佐藤健太郎の解説も収録。

2018:6./ 318p

978-4-15-209772-9

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/06/30



おいしいものと恋のはなし(文春文庫 た3-56)

田辺 聖子 著

文藝春秋

恋なんて、その日の出来心でええんちゃう? “滋味”と“ときめき”を詰めこんだ、田辺聖子の恋愛短編集。「百合と腹巻」「婚約」など全9編を収録する。

2018:6./ 275p

978-4-16-791091-4

本体 ¥700+税



日本経済新聞 2018/06/30



系統体系学の世界～生物学の哲学とたどった道のり～(けいそうブックス)

三中 信宏 著

勁草書房

「体系学曼荼羅」という地図を片手に、時空間を超える科学史的トレッキングへ出発! 生物体系学と生物学哲学との共進化の歴史に焦点を当て、様々な論争の風景を辿りつつ、変貌していく科学と科学哲学の関係までを伝える。

2018:4./ 12p,430p,66p

978-4-326-15451-7

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2018/06/30



教養主義のリハビリテーション(筑摩選書 0160)

大澤 聡 著

筑摩書房

知の下方修正と歴史感覚の希薄化が進む今、教養のバージョンアップには何が必要か。気鋭の批評家が竹内洋、吉見俊哉、鷺田清一の諸氏と、教養主義の来歴、現在、未来をめぐって対論。「来るべき教養」を展望する。

2018:5./ 221p

978-4-480-01666-9

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/06/30



経済学と倫理学～アマルティア・セン講義～(ちくま学芸文庫 セ5-1)

アマルティア・セン 著

筑摩書房

貧困、飢餓、格差、不平等…。いまだに解消の糸口すら見えない社会的難題をどうすれば克服できるのか。ノーベル賞経済学者が、倫理的な観点を経済学に導入し、真に現実に根ざした学問へと展開させる入門書。

2016:12./ 236p

978-4-480-09744-6

本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2018/06/30



博徒の幕末維新(ちくま学芸文庫 タ48-1)

高橋 敏 著
筑摩書房

黒船来航後の動乱期、アウトローたちが堂々と公的世界に躍り出たのはなぜか？
甲州博徒の巨魁・竹居安五郎や国定忠治、黒駒勝蔵らの実像に迫る。歴史学の
手法にのっかって幕末維新史に博徒を位置づけ直した、記念碑的労作。

日本経済新聞 2018/06/30

2018:6./ 252p
978-4-480-09874-0
本体 ¥1,000+税



ルールなき省察～経済学方法論と現代科学論～

D.ウェイド・ハンズ、高見 典和、原谷 直樹、若田部 昌澄 著
慶應義塾大学出版会

長年論争の続いた経済学方法論の領域を、科学哲学・科学論の影響を中心に広
範にサーベイし、「自然主義」「社会学的転回」などに基づく主要な洞察を紹介。
経済科学方法論研究者としての著者の名声を確立した標準テキスト。

日本経済新聞 2018/06/30

2018:3./ 13p,521p
978-4-7664-2508-6
本体 ¥6,000+税



**イノベーションのジレンマ～技術革新が巨大企業を滅ぼすとき～ 増補改訂版
(Harvard business school press)**

クレイトン・クリステンセン、玉田 俊平太、伊豆原 弓 著
翔泳社

業界を支配する巨大企業が、その優れた企業戦略ゆえに滅んでいくジレンマの
図式を分析し、既存事業を衰退させる可能性を持つ破壊的イノベーションに対し
て、経営者はどう対処すべきかを解説する。2000年刊の増補改訂版。

日本経済新聞 2018/06/30

2001:7./ 327p
978-4-7981-0023-4
本体 ¥2,000+税



**市民自治の育て方～協働型アクションリサーチの理論と実践～(関西大学経済・
政治研究所研究双書 第167冊)**

草郷 孝好 著
関西大学出版部

市民主導で地域社会が発展する市民自治を実現するためにはどうすればいいの
か。社会開発、情報法、社会心理、建築、社会福祉と多岐にわたる研究分野の、
協働型アクションリサーチの研究成果をまとめる。

日本経済新聞 2018/06/30

2018:3./ 4p,161p
978-4-87354-670-4
本体 ¥1,700+税



探偵 AI のリアル・ディープラーニング(新潮文庫 nex は-72-1)

早坂 吝 著
新潮社

人工知能の研究者だった父が密室で謎の死を遂げた。「探偵」と「犯人」、双子の
AIを遺して。高校生の息子・輔は、探偵の AI・相以とともに父を殺した犯人を追う
が…。『yom yom』連載を改題、加筆修正。

毎日新聞 2018/06/02

2018:6./ 364p
978-4-10-180124-7
本体 ¥630+税



白墨人形

C.J.チューダー、中谷 友紀子 著
文藝春秋

1986年の夏。イギリス南部の田舎町で、12歳のエディが仲間たちと遊んだ森。そ
こで、あの子は殺された。そして現在、大人になったエディの前に、30年前の殺
人事件が甦り…。長編サスペンス。

毎日新聞 2018/06/02、朝日新聞 2018/06/23

2018:5./ 367p
978-4-16-390849-6
本体 ¥2,250+税





南北首脳会談への道～林東源回顧録～

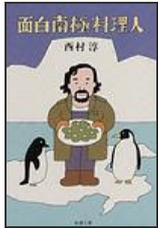
林 東源、波佐場 清 著
岩波書店

多くの抵抗を受けながら、南北首脳会談はなぜ実現できたのか?金大中政権下、大統領特使となって南北の信頼関係構築に奔走した著者が、その経緯と実像を明かす。回顧録を超えた貴重な外交ドキュメント。

2008:8./ 456p
978-4-00-024163-2
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2018/06/03



面白南極料理人(新潮文庫)

西村 淳 著
新潮社

第38次越冬隊として8人の仲間と暮した抱腹絶倒の毎日を、詳細に、いい加減に報告する南極日記。

2004:9./ 360p
978-4-10-115351-3
本体 ¥590+税



毎日新聞 2018/06/03



合成生物学の衝撃

須田 桃子 著
文藝春秋

コンピュータ上でDNAを設計した人工生命体が誕生。カズオ・イシグロの代表的小説「わたしを離さないで」の世界が現実になる科学に人間の感情はついていけるか? 合成生物学の取材・研究に基づく科学ノンフィクション。

2018:4./ 233p
978-4-16-390824-3
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/06/03



選んだ孤独はよい孤独

山内 マリコ 著
河出書房新社

地元から出ないアラサー、女子が怖い高校生、仕事ができないあの先輩…。情けなくも愛すべき男たちの「孤独」でつながる19の物語を収録。『文藝』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

2018:5./ 173p
978-4-309-02685-5
本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2018/06/03



八月の光(光文社古典新訳文庫 KAフ14-1)

フォークナー 著
光文社

お腹の子の父親を追って旅する女、肌は白いが黒人の血を引いているという労働者…。米国南部の町で、過去に呪われたように生きる人々の生は、一連の壮絶な事件へ収斂していき。20世紀アメリカ文学の傑作。

2018:5./ 768p
978-4-334-75376-4
本体 ¥1,560+税



毎日新聞 2018/06/03



北朝鮮瀬戸際外交の歴史～1966-2012年～(国際政治・日本外交叢書 16)

道下 徳成 著
ミネルヴァ書房

1966年～2012年の北朝鮮の軍事・外交行動を体系的に分析し、核・ミサイル外交といった北朝鮮の瀬戸際外交について、各国の秘密解除文書、脱北した北朝鮮の元幹部をふくむ各国関係者へのインタビューを用いて読み解く。

2013:6./ 10p,370p,10p
978-4-623-06557-8
本体 ¥4,800+税



毎日新聞 2018/06/03



沖縄からの本土爆撃～米軍出撃基地の誕生～(歴史文化ライブラリー 468)

林 博史 著
吉川弘文館

太平洋戦争末期、米軍は占領した沖縄から本土爆撃を開始し、九州などで民間人への無差別攻撃をおこなった。米軍史料から知られざる実態に迫り、戦争の加害と被害の関係を問う。

2018:6./ 6p,253p
978-4-642-05868-1
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/06/03



グレアム・グリーンある映画的人生

佐藤 元状 著
慶應義塾大学出版会

映画批評家としても活躍した小説家グレアム・グリーンに光をあて、ヒッチコック、チャップリンなど、同時代の映画作家とのかかわりからグリーンを<遅れてきたモダニスト>として捉えなおした研究書。

2018:3./ 344p,22p
978-4-7664-2510-9
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2018/06/03



時代を語る 林忠彦の仕事

林 忠彦、林 義勝 著
光村推古書院

大正、昭和、平成と激動の日本を生き抜いた写真家・林忠彦。戦中のドキュメントから、戦後日本の歩み、人物写真、風景写真まで、林忠彦の全仕事を紹介するとともに、林自身や大佛次郎、井上靖らのエッセイも収録。

2018:4./ 405p
978-4-8381-0574-8
本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2018/06/03



日めくり子規・漱石～俳句でめぐる365日～

神野 紗希 著
愛媛新聞社

学生時代に出会い、互いに創作を批評し合うなどして友情を深めた正岡子規と夏目漱石。俳人の著者が、ふたりの俳句を中心に、彼らを取り巻く俳人たちの句も取り上げて解説する。『愛媛新聞』連載を書籍化。人物相関図等も掲載。

2018:3./ 260p
978-4-86087-137-6
本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2018/06/03



外の世界

ホルヘ・フランコ、田村 さと子 著
作品社

大富豪ドン・ディエゴが誘拐された。身代金を奪うために奔走する犯人グループのリーダー、エル・モノは、かつて“外の世界”から隔離されたドン・ディエゴの娘インルダに想いを寄せていた…。コロンビアの名手による長篇小説。

2018:2./ 357p
978-4-86182-678-8
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2018/06/03



13歳からの絵本ガイド～YAのための100冊～

金原 瑞人、ひこ・田中 著
西村書店

作家、翻訳家、書店員など、様々な形で絵本に携わる 14 人が 10 代にこそ出会ってほしい絵本を厳選。名作・ロングセラーから 2017 年刊行のものまで、絵本 100 冊を幅広く紹介する。

2018:4./ 231p
978-4-89013-787-9
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/06/03



曇天記

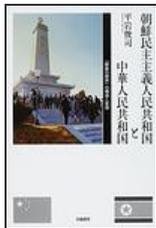
堀江 敏幸 著
都市出版

黒い旗をそのまま半旗にしてしまうような世の流れに与するわけにはいかない。ならば曇天の思索を可能な限りつづけよう。作家・堀江敏幸のエッセイ。『東京人』連載を書籍化。

2018:3./ 246p
978-4-901783-65-1
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/06/03



朝鮮民主主義人民共和国と中華人民共和国～「唇齒の関係」の構造と変容～

平岩 俊司 著
世織書房

圧倒的な力の差があるにもかかわらず、なぜ中国は北朝鮮との関係に苦慮するのだろうか?親和と緊張が織りなす中朝関係の微妙なズレと、揺れる伝統的友誼。北朝鮮外交の特質を、気鋭の研究者が読み解く。

2010:5./ 393p,7p
978-4-902163-54-4
本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2018/06/03



破綻後～危機のシナリオ分析～

小林 慶一郎、小黒 一正 著
日本経済新聞出版社

政府債務は増加を続け、人口減少は本格化する。財政破綻が起きたとき、日本に何が起きるのか。そこから、どう社会制度を立て直すのか。経済・財政、社会保障の専門家が、その「後」の日本を緻密に分析する。

2018:4./ 293p
978-4-532-35773-3
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/06/03、日本経済新聞 2018/06/16



経営者～日本経済生き残りをかけた闘い～

永野 健二 著
新潮社

企業の命運を決めたリーダー達の葛藤と決断! 武藤山治とカネボウの「滅びの遺伝子」、"最後の財界総理"奥田碩の栄光と挫折、豊田章男が背負う「トヨタの未来」...。経済記者が見てきた17の物語を「会社」の視点で描く。

2018:5./ 287p
978-4-10-350522-8
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/06/03、日本経済新聞 2018/06/23



危機の領域～非ゼロリスク社会における責任と納得～(けいそうブックス)

齊藤 誠 著
勁草書房

<危機の領域>への旅に誘う書。将来の危機の可能性、現在進行形の危機への対応、すでに起きた危機からの教訓について、私たちの社会がどう向き合ってきたのか、またどう向き合うべきなのかを考える。

2018:4./ 21p,429p,21p
978-4-326-55081-4
本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2018/06/03、日本経済新聞 2018/06/30



水俣から～寄り添って語る～

水俣フォーラム 編
石牟礼 道子 著
岩波書店

人びとはいかにして水俣病の実相を明らかにしていったのか。発病の記憶、医学的な解明、共同体と差別の歴史、企業や政府への闘い、魂の深い日常など、当事者の声を紹介する。水俣病記念講演会等から選択した11講演を収録。

2018:4./ 204p
978-4-00-024886-0
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/06/10



水俣へ～受け継いで語る～

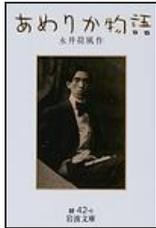
水俣フォーラム 編
石牟礼 道子 著
岩波書店

私たちは水俣病をいかなる言葉で語れるのか。消費と経済、農と環境、想像力と文学、幸福と悼み、命と科学…。水俣病事件からの問いへの答えを作家や学者たちが探る。水俣病記念講演会等から選択した 10 講演を収録。

2018:4./ 204p
978-4-00-024887-7
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/06/10



あめりか物語 改版(岩波文庫 緑 42-6)

永井 荷風 著
岩波書店

明治 41 年、自然主義文学の隆盛に新鮮な一撃をくわえた短篇集。文明の落差をみつめる洋行者や異郷にある日本人の胸底の思いがシアトルやセントルイス、首都、NY の描写に明滅する。

2002:11./ 378p
978-4-00-310426-2
本体 ¥850+税



毎日新聞 2018/06/10



二百十日・野分 改版(新潮文庫)

夏目 漱石 著
新潮社

毎日新聞 2018/06/10

2004:1./ 310p
978-4-10-101016-8
本体 ¥460+税



春 改版(新潮文庫)

島崎 藤村 著
新潮社

毎日新聞 2018/06/10

1968:10./ 295p
978-4-10-105503-9
本体 ¥590+税



枕詞はサっちゃん～照れやな詩人、父・阪田寛夫の人生～

内藤 啓子 著
新潮社

「今日から俺をオジサンと呼べ」離婚して新しい妻と子供ができた時に備えた父から、ある日突然指令が下った。-。家族の恥部も全て創作のネタにした、童謡「サっちゃん」の作者のハチャメチャな人生を、娘がつづる。

2017:11./ 247p
978-4-10-351361-2
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/06/10



ミルコの出版グルグル講義

山口 ミルコ 著
河出書房新社

本はグルグル、よのなかもグルグル。数々のベストセラーを放ってきた伝説的編集者が、編集者をやめたから見えてきた出版の仕組みと本当のすがたを教える。

2018:1./ 211p
978-4-309-02644-2
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/06/10



戦う操縦士(光文社古典新訳文庫 KA サ 1-4)

サン=テグジュペリ 著
光文社

ドイツ軍侵攻の前に敗走を重ね、機能不全に陥ったフランス軍。偵察飛行任務を命じられた私は、路上に溢れる避難民を眼下に目撃し、高空での対空砲火に晒されるうち、人間と文明への信条を抱き…。著者の戦争体験を描いた小説。

2018:3./ 338p
978-4-334-75372-6
本体 ¥880+税



毎日新聞 2018/06/10



ファッションフード、あります。～はやりの食べ物クロニクル～(ちくま文庫 は 50-1)

畑中 三恵子 著
筑摩書房

ファストフードからエスニック料理、B 級ご当地グルメ、カフェ飯まで、次々に登場する新しい食べ物。食べ物がファッションとして消費される日本独自の文化現象、「ファッションフード」の歴史をたどる。

2018:3./ 398p
978-4-480-43503-3
本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2018/06/10



人形論

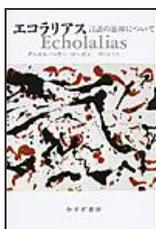
金森 修 著
平凡社

祓除の土偶や天児からビスクドール、究極のフェティッシュであるラブドール、ロボットやレプリカントまで、広汎豊饒な人形ワールドを「人形三角錐」という独自の概念枠で俯瞰し、人形の複雑さ、在り方の特徴を考察する。遺作。

2018:5./ 309p
978-4-582-20646-3
本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2018/06/10



エコラリアス～言語の忘却について～

ダニエル・ヘラー=ローゼン、関口 涼子 著
みすず書房

言語の崩壊過程に言語の本質をみたヤコブソン、失語症を考察したフロイト、母語についてはじめて語ったダンテなどを導き、忘却こそが言語が本来持つ運動性であることを論じた、言語哲学の重要書。

2018:6./ 275p,50p
978-4-622-08709-0
本体 ¥4,600+税



毎日新聞 2018/06/10



食べることの哲学(教養みらい選書 002)

檜垣 立哉 著
世界思想社

フランスの現代思想を縦横無尽に駆使し、生命論に挑む哲学者が、食育の実験授業「豚の P ちゃん」、反捕鯨映画「ザ・コーヴ」など、食をめぐる身近な素材を、独創的に調理し濃厚に仕上げたエッセイ。食の隠れた本質に迫る。

2018:3./ 201p
978-4-7907-1711-9
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/06/10



図説室町幕府

丸山 裕之 著
戎光祥出版

「室町幕府を支える人びと」「基本となった政策・制度」「幕府を揺るがした合戦と政変」という観点から室町幕府の存在を概説。複雑な機構や政策を、図やフローチャートを用いてわかりやすく解説する。

2018:6./ 166p
978-4-86403-291-9
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/06/10



村山新治、上野発五時三分～私が関わった映画、その時代～

村山 新治、村山 正実 編
村山 新治 著
新宿書房

1957年に「警視庁物語 上野発五時三分」で劇映画監督としてデビューした著者が、関わった映画とその時代について綴る。自作を語ったインタビュー、深作欣二、澤井信一郎、荒井晴彦との解説座談会も収録。

2018:5./ 415p
978-4-88008-474-9
本体 ¥3,700+税



毎日新聞 2018/06/10



地球にちりばめられて

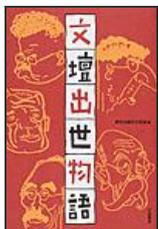
多和田 葉子 著
講談社

留学中に故郷の島国が消滅してしまった女性 Hiruko は、ヨーロッパ大陸で生き抜くため、独自の言語をつくり出す。彼女は言語学を研究する青年とともに、自分と同じ母語を話す者を探す旅に出て…。『群像』連載を単行本化。

2018:4./ 309p
978-4-06-221022-5
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/06/10、朝日新聞 2018/06/30



文壇出世物語

新秋出版社文芸部 編
幻戯書房

大正期に匿名で発表された謎の名著が復活！若き日の彼らはいかにして有名人となったのか。坪内逍遙以下 94 項目・100 人の文壇人を取り上げ、出自や著述から、ゴシップや批評までを記す。

2018:4./ 318p
978-4-86488-147-0
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2018/06/10、東京・中日新聞 2018/06/24



ニューヨーク・ジャズ・アップデート～体感する現在進行形ジャズ～

常盤 武彦 著
小学館

進化するラージ・アンサンブル、インターナショナル・アーティストの群像…。ニューヨーク・ジャズの現場を 29 年間記録し続けてきた写真家が、ニューヨークのジャズ・シーンを紹介。写真も多数収録。折り込み地図付き。

2018:5./ 128p
978-4-09-388624-6
本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2018/06/10、読売新聞 2018/06/24



大正=歴史の踊り場とは何か～現代の起点を探る～(講談社選書メチエ 674)

鷺田 清一、佐々木 幹郎、山室 信一、渡辺 裕 著
講談社

明治に始まった近代化は、大正期にその質と方向を変え、いろいろな可能性を孕みながら現代への起点となった。「学区」「自由・責任」「民生」「震災」など、時代の言葉に着目し、社会や暮らしの原型を読む。

2018:5./ 268p
978-4-06-511639-5
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/06/17



デジタル・ポピュリズム～操作される世論と民主主義～(集英社新書 0934)

福田 直子 著
集英社

タイムラインに紛れ込む偽ニュース、日常が丸裸になるグーグル検索、深層心理に訴えるマイクロターゲット広告…。巧みなデジタル戦略によって人びとを分断・誘導する様々な手法を紹介し、デジタル時代の民主主義を考える。

2018:5./ 220p
978-4-08-721034-7
本体 ¥740+税



毎日新聞 2018/06/17



狂気の左サイドバック(新潮文庫)

一志治夫 著
新潮社
毎日新聞 2018/06/17

1997:10./ 228p
978-4-10-142721-8
本体 ¥400+税

* 9 7 8 4 1 0 1 4 2 7 2 1 8 *



日本語ほど面白いものはない～邑智小学校六年一組特別授業～

柳瀬 尚紀 著
新潮社
島根県の山奥、美郷町の邑智小学校の6年1組16名。その教壇に立った「チョコレート工場の秘密」の訳者は、いかにして「言葉」という奇蹟に目を拓かせたのか。感動の教育ドキュメント。

2010:11./ 191p
978-4-10-303952-5
本体 ¥1,300+税

* 9 7 8 4 1 0 3 0 3 9 5 2 5 *

毎日新聞 2018/06/17



旅する江戸前鮓～「すし匠」中澤圭二の挑戦～

一志 治夫 著
文藝春秋
昭和?平成の半世紀、「すし匠」の中澤親方をはじめとする鮓職人たちはどんな思いを抱えながら鮓と対峙してきたのか。ハワイへの進出、「革新と伝統」を希求する酒の造り手たちにも触れながら鮓事情を包括する。

2018:4./ 215p
978-4-16-390826-7
本体 ¥1,300+税

* 9 7 8 4 1 6 3 9 0 8 2 6 7 *

毎日新聞 2018/06/17



ブレグジット秘録～英国が EU 離脱という「悪魔」を解き放つまで～

クレイグ・オリヴァー、江口 泰子 著
光文社
2016年6月23日、英国のEU離脱の是非を問う国民投票が行われた。当時首相付き政務広報官を務めた著者が、国民投票までの6カ月間に舞台裏で繰り広げられた人間ドラマを、政権内部から明らかにする。

2017:9./ 660p
978-4-334-97953-9
本体 ¥3,000+税

* 9 7 8 4 3 3 4 9 7 9 5 3 9 *

毎日新聞 2018/06/17



十五の夏～1975～<上>

佐藤 優 著
幻冬舎
高1の夏休み、僕はたった1人でソ連・東欧を旅行した。チューリヒ、シャフハウゼン、シュツットガルト…。佐藤優のソ連・東欧1人旅42日間の全記録。『星星峡』『ポンツーン』掲載を加筆修正。見返しに写真あり。

2018:3./ 433p
978-4-344-03270-5
本体 ¥1,800+税

* 9 7 8 4 3 4 4 0 3 2 7 0 5 *

毎日新聞 2018/06/17



十五の夏～1975～<下>

佐藤 優 著
幻冬舎
高1の夏休み、僕はたった1人でソ連・東欧を旅行した。モスクワ、サマルカンド、タシケント、ハバロフスク…。佐藤優のソ連・東欧1人旅42日間の全記録。『星星峡』『ポンツーン』掲載を加筆修正。見返しに写真あり。

2018:3./ 435p
978-4-344-03271-2
本体 ¥1,800+税

* 9 7 8 4 3 4 4 0 3 2 7 1 2 *

毎日新聞 2018/06/17



日本人に知ってほしいイスラムのこと(祥伝社新書 540)

フィフィ 著
祥伝社

イスラム圏の人たちと接するために必要な知識と態度とは。エジプト出身で自らもムスリマであるフィフィが、イスラムの世界を、衣食住、文化、習慣、歴史など、さまざまな視点から解説する。

2018:6./ 235p
978-4-396-11540-1
本体 ¥820+税



毎日新聞 2018/06/17



やっぱり食べに行こう。

原田 マハ 著
毎日新聞出版

パリ、NY、ロンドン、スペイン、ロシア、京都、蓼科…。いざ、アートと小説と美味探訪の旅へ! 「楽園のカンヴァス」などの取材先で食べた「思い出の一品」をつづる満腹エッセー集。『毎日新聞』連載を単行本化。

2018:5./ 253p
978-4-620-32520-0
本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/06/17



死を生きた人びと〜訪問診療医と355人の患者〜

小堀 一郎 著
みすず書房

最後の日々をどう生き、いかに終えるか。これまでに 355 人の看取りに関わった訪問診療医が語る、患者たちのさまざまな死の記録。日本の終末医療が在宅診療・在宅看取りへと舵を切りつつある今、必読の書。

2018:5./ 203p
978-4-622-08690-1
本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2018/06/17



マルクス資本論〜理論劇画〜

門井 文雄、紙屋 高雪 著
かもがわ出版

「蟹工船」に共感した人には貧困の原因を説き、市場原理主義を拒否する人には代替案を示し、マルクスに挑もうとする人には手がかりを提示する、「資本論」第 1 巻を劇画でわかりやすく解説。

2009:4./ 191p
978-4-7803-0257-8
本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2018/06/17



川上音二郎と貞奴〜明治の演劇はじまる〜

井上 理恵 著
社会評論社

世情を風刺した「オッペケペ節」で知られる川上音二郎は、「日本近代演劇の祖」と位置づけることができる。内外の新資料を駆使して、女優・貞奴と共に歩んだ彼の舞台を詳細に追跡し、2 人の波乱に充ちた人生をも赤裸々にする。

2015:2./ 302p
978-4-7845-1135-8
本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2018/06/17



川上音二郎と貞奴<2> 世界を巡演する

井上 理恵 著
社会評論社

アメリカを横断し、ヨーロッパを巡演する川上一座の新演劇。彼らは明治という時代に生きる<現代の言葉と身体>を、世界の同時代人に見せた。内外の新資料を駆使して、彼らのさまざまな演劇的冒険と創造の全容を明らかにする。

2015:12./ 271p,15p
978-4-7845-1138-9
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2018/06/17



川上音二郎と貞奴<3> ストレートプレイ登場する

井上 理恵 著
社会評論社

日本の貞奴は世界のスターになり、その人気に日本国家は便乗した。川上音二郎と貞奴という稀有な演劇人の行動を跡付けることで、これまで明らかにされなかった明治演劇史の一断面を描出する。

2018:2./ 268p,11p
978-4-7845-1140-2

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2018/06/17



高村光太郎論

中村 稔 著
青土社

近代日本の彫刻・詩の世界に重大な足跡を残した高村光太郎の作品を雑纂に至るまで検討。欧米留学、「智恵子抄」の背後に潜む暗黒、戦後の独居自炊の「自己流瀆」の実相など、高村光太郎の全貌の真相を抉りだした画期的評伝。

2018:3./ 534p

978-4-7917-7055-7

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2018/06/17



危機の中の EU 経済統合～ユーロ危機、社会的排除、ブレグジット～

嶋田 巧、高屋 定美、棚池 康信 著
文眞堂

EU は 2016 年にイギリスの離脱(Brexit)という深刻な危機を迎えた。その要因を、経済通貨同盟の問題点、社会的欧州の現実、反 EU・反移民勢力の台頭など多面的に分析し、今後の EU のめざすべき道を探る。

2018:4./ 5p,299p

978-4-8309-4984-5

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2018/06/17



文学とアダプテーション～ヨーロッパの文化的変容～

吉村 和明 編
春風社

文学から映画へ、ミュージカルへ、漫画へ、オペラへ。フランス、ドイツ、イギリス、ロシア、イタリア、ボスニアにおける作家・作品の諸相を探り、再創造としてのアダプテーションがもつ豊かな可能性を明らかにする。

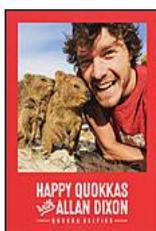
2017:10./ 384p,10p

978-4-86110-559-3

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2018/06/17



HAPPY QUOKKAS with ALLAN DIXON～QUOKKA SELFIES～

アラン・ディクソン 著
大誠社

笑っているようなキュートな表情から「世界一幸せな動物」と称されるクオッカ。動物セルフィーでインスタグラムフォロワー60 万人の著者が、笑顔溢れるクオッカを iPhone で撮影した写真集。著者のインタビューも掲載。

2018:5./ 111p

978-4-86518-076-3

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/06/17



認知症鉄道事故裁判～閉じ込めなければ、罪ですか?～

高井 隆一 著
ブックマン社

認知症だった亡父の鉄道事故に関し、JR 東海より 720 万円の損害賠償請求を受けた著者が、2016 年に最高裁にて逆転勝訴判決を得るまでの 8 年間に及ぶ闘いの日々を綴った記録。援軍 10 人の寄稿文も収録。

2018:4./ 287p

978-4-89308-897-0

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/06/17



資本論(講談社まんが学術文庫 0004)

マルクス 著
講談社

資本論の基本的なテクニカルタームの意味を、胸を打つ恋物語とともにわかりやすく描く。「健康・教育・希望」を得るには金が必要資本主義社会。資本家は神なのか？ 現代まで続くマルクスの問題提起。

2018:4./ 223p
978-4-06-510667-9
本体 ¥680+税



毎日新聞 2018/06/17、朝日新聞 2018/06/30



球殻～花谷清句集～(藍叢書 48)

花谷 清 著
ふらんす堂

胸から降りて乱さぬ水面ふゆかもめ くらげ縮むたび月光の遠くなる どこからが虹どこまでが滝しぶき 2011 年以降に発表した作品の中から、347 句を選び、ほぼ編年体で収めた第 2 句集。

2018:5./ 195p
978-4-7814-1063-0
本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2018/06/18



ファクトチェックとは何か(岩波ブックレット No.982)

立岩 陽一郎、楊井 人文 著
岩波書店

「フェイクニュース」のあふれる現代社会で、情報の真偽を確かめるための有効なツールである「ファクトチェック」。その作法や原則、国際的な潮流などについて解説する。

2018:4./ 70p
978-4-00-270982-6
本体 ¥580+税



毎日新聞 2018/06/24



シベリア出兵の史的研究(岩波現代文庫 学術 137)

細谷 千博 著
岩波書店

無名の師。そう呼ばれた派兵は日本の歴史的転換点となった。今日の日米関係を考えるうえで示唆に富む例証がここにある。名著の誉高き書が半世紀の歳月をへて甦る。

2005:1./ 328p
978-4-00-600137-7
本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2018/06/24



日本はなぜ敗れるのか～敗因 21 カ条～(角川 one テーマ 21)

山本 七平 著
角川書店

毎日新聞 2018/06/24

2004:3./ 313p
978-4-04-704157-8
本体 ¥781+税



木喰上人(講談社文芸文庫 や P1)

柳 宗悦 著
講談社

かつてない表情をたたえる木喰仏に魅入られた著者の情熱により、江戸後期の知られざる行者の驚くべき生涯が明らかに。各地で忘れられていた多くの木喰仏が発掘される調査の過程が、後の民藝運動の礎となった記念的研究の書。

2018:4./ 397p
978-4-06-290373-8
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/06/24



かくれキリシタン〜長崎・五島・平戸・天草をめぐる旅〜(とんぼの本)

後藤 真樹 著
新潮社

受難の歴史をのりこえ、秘かに脈々と信仰を伝えてきた「かくれキリシタン」。長崎・外海、五島列島、平戸、熊本・天草…。現在もかくれキリシタンを続けている人々などを訪ね歩き、貴重な証言と共に、聖地や史跡をたどる。

2018:4./ 127p
978-4-10-602281-4
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/06/24



シベリア出兵〜近代日本の忘れられた七年戦争〜(中公新書 2393)

麻田 雅文 著
中央公論新社

ロシア革命後、反革命軍救出を名目にロシアへ派兵した日本は、バイカル湖畔まで占領。だが、パルチザンや赤軍に敗退、虐殺にも遭遇し…。増派と撤兵に揺れる内政、酷寒の地での7年間にわたる戦争の全貌を描く。

2016:9./ 6p,266p
978-4-12-102393-3
本体 ¥860+税



毎日新聞 2018/06/24



流れる星は生きている 改版(中公文庫)

藤原 てい 著
中央公論新社

毎日新聞 2018/06/24

2002:7./ 322p
978-4-12-204063-2
本体 ¥686+税



人口減少社会の未来学

内田 樹 編

池田 清彦、井上 智洋、内田 樹、小田嶋 隆、姜 尚中、隈 研吾、高橋 博之、平川 克美、平田 オリザ、ブレイディみかこ、藻谷 浩介 著
文藝春秋

21世紀末の総人口は6000万人と推計されている日本。社会のかたちはどう変わってゆくのか。それに対して何ができるのか。何をなすべきか。11人の論者が人口減少社会に起きると予測される出来事と、対処法を論じる。

2018:4./ 287p
978-4-16-390832-8
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/06/24



6月の軌跡〜'98 フランス W 杯日本代表 39 人全証言〜(文春文庫)

増島 みどり 著
文芸春秋

毎日新聞 2018/06/24

2001:11./ 383p
978-4-16-765701-7
本体 ¥514+税



ウィルソン外交と日本〜理想と現実の間 1913-1921〜

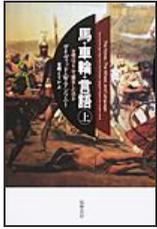
高原 秀介 著
創文社

日米英の外交史料を駆使して、20世紀アメリカ外交に理念的裏づけを与えたウィルソン政権による対日政策を、アメリカの東アジア政策史の系譜に位置づけながら、4つの重要問題の検証を通じて、その特質と実態を明らかにする。

2006:3./ 318p,117p
978-4-423-71067-8
本体 ¥8,000+税



毎日新聞 2018/06/24



馬・車輪・言語～文明はどこで誕生したのか～<上>

デイヴィッド・W.アンソニー、東郷 えりか 著
筑摩書房

農耕か牧畜か、戦車か資源か。文明の命運を分けたものは何だ？ 印欧語族の最も古い祖語の中に現れる「馬」「車輪」「羊毛」といった単語を追跡し、ユーラシア全域を股にかけ、文明誕生前夜の世界を生き生きと描き出す。

2018:5./ 414p
978-4-480-86135-1
本体 ¥2,900+税



毎日新聞 2018/06/24



馬・車輪・言語～文明はどこで誕生したのか～<下>

デイヴィッド・W.アンソニー、東郷 えりか 著
筑摩書房

メソポタミア、ヒッタイトに馬と車輪を持ち込んだのは誰だ？ 印欧語族の最も古い祖語の中に現れる「馬」「車輪」「羊毛」といった単語を追跡し、ユーラシア全域を股にかけ、文明誕生前夜の世界を生き生きと描き出す。

2018:5./ 366p
978-4-480-86136-8
本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2018/06/24



二十一世紀民藝

赤木 明登 著
美術出版社

民藝百年を迎えるにあたり、二十世紀と二十一世紀という百年の時間は、民藝理論を正しく咀嚼し、時代との齟齬を埋めてきたらどうか。民藝が一度見失った、民藝の本質を追求する。『住む。』連載をもとに書籍化。

2018:3./ 247p
978-4-568-14372-0
本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2018/06/24



戊辰戦争の新視点<上> 世界・政治

箱石 大 編
吉川弘文館

518 日間にわたり展開された国内戦争・戊辰戦争を様々な視点から解明する。上は、国際法に従った戦争遂行や政治秩序の再編、キリスト教政策等を検討し、国際的状況下の内戦の姿を照射する。参考文献や関連地図・年表も収録。

2018:1./ 9p,195p
978-4-642-08329-4
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/06/24



戊辰戦争の新視点<下> 軍事・民衆

箱石 大 編
吉川弘文館

518 日間にわたり展開された国内戦争・戊辰戦争を様々な視点から解明する。下は、陸戦の軍備や編制、海軍力、戦費調達、民衆の支援や反発、宗教政策など、新視点で実態に迫る。参考文献や関連地図・年表も収録。

2018:2./ 9p,205p
978-4-642-08330-0
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/06/24



北原白秋の百首～言葉でありながら音楽であること。～(歌人入門 3)

高野 公彦 著
ふらんす堂

あまりす息もふかげに燃ゆるときふと唇はさしあてしかな 北原白秋の短歌を百首取り上げ、一首ずつ丁寧に読みとく。巻末に、最初の歌集「桐の花」から最終歌集「牡丹の木」までの主な特徴について述べた解説も収録。

2018:5./ 203p
978-4-7814-1065-4
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/06/24



ことばの考古学
 コリン・レンフル 著
 青土社
 毎日新聞 2018/06/24

1993:7./ 428p
 978-4-7917-5252-2
 本体 ¥3,495+税

 * 9 7 8 4 7 9 1 7 5 2 5 2 2 *



北朝鮮の博物館
 張 慶姫、池 貞姫、村上 和弘、松永 悦枝 著
 同成社
 北朝鮮の博物館を多数訪ねた韓国の研究者が、国立博物館 13 カ所の考古資料や国宝級の美術品・現代絵画など 300 余点の収蔵品を、オールカラーの写真とともに美術史的な観点から解説。博物館運営の実際等も紹介する。

2018:2./ 271p
 978-4-88621-785-1
 本体 ¥7,000+税

 * 9 7 8 4 8 8 6 2 1 7 8 5 1 *

毎日新聞 2018/06/24



古ヨーロッパの神々
 マリヤ・ギンブタス、鶴岡 真弓 著
 言叢社
 「古ヨーロッパ」こそミノア文化やギリシア文化の神々たちを育んだヨーロッパの原郷であり、「大女神のシンボリズム」と呼ぶべき世界像を有していたことを多くの図版の図像解釈によって語る。89年刊の新装。(ソフトカバー)

1998:7./ 321p
 978-4-905913-62-7
 本体 ¥7,800+税

 * 9 7 8 4 9 0 5 9 1 3 6 2 7 *

毎日新聞 2018/06/24



馬場あき子新百歌
 歌林の会 著
 NHK出版
 「青い夜のことば」から「渾沌の鬱」まで、馬場あき子の歌集から選りすぐった近作 110 首を、「かりん」歌人が 1 人 1 首ずつ鑑賞。馬場あき子の現在を多角的に浮き彫りにする一冊。

2018:5./ 255p
 978-4-14-016258-3
 本体 ¥2,300+税

 * 9 7 8 4 1 4 0 1 6 2 5 8 3 *

毎日新聞 2018/06/25



沖縄平和論のアジェンダ～怒りを力にする視座と方法～
 星野 英一、島袋 純、高良 鉄美、阿部 小涼、里井 洋一、山口 剛史 著
 法律文化社
 沖縄から発信する「平和論」を学ぶテキスト。平和と正義が脅かされる実態と構造の考察を踏まえ、問題の本質を追究する視座を提示する。沖縄戦後史年表が閲覧できる QR コード付き。見返しに地図あり。

2018:4./ 8p,211p
 978-4-589-03909-5
 本体 ¥2,500+税

 * 9 7 8 4 5 8 9 0 3 9 0 9 5 *

毎日新聞 2018/06/30